

平成26年3月28日

お知らせ

資料提供先

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者会
広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成26年度 中国地方整備局関係予算概要

事業実施箇所の当初配分(県別)については、国土交通省のホームページ

<http://www.mlit.go.jp/policy/file000004.html> をご覧下さい

電話でのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

TEL082-221-9231(代表)

(港湾空港関係)

TEL082-511-3900(代表)

【予算一般】	会 計 課 長	片 桐 元 宣	(直通:082-511-6041)
【総 括】	企 画 課 長	田 中 里 佳	(直通:082-511-6111)
【都市・住宅】	都市・住宅整備課長	島 村 泰 彰	(直通:082-511-6191)
【河川・直轄】	河 川 計 画 課 長	榎 谷 有 吾	(直通:082-511-6231)
【河川・補助】	地 域 河 川 課 長	佐 藤 秀 樹	(直通:082-511-6241)
【道路・直轄】	道 路 計 画 課 長	嶋 田 博 文	(直通:082-511-6301)
【道路・補助】	地 域 道 路 課 長	角 田 真 一	(直通:082-511-6311)
【港 湾】	港 湾 計 画 課 長	木 村 俊 介	(直通:082-511-3905)
【空 港】	港湾空港整備・補償課長	服 部 俊 朗	(直通:082-511-3907)
【営 繕】	計 画 課 長	橋 本 一 洋	(直通:082-511-6381)
【交付金】	広 域 計 画 課 長	河 野 忠 雄	(直通:082-511-6131)

(広報担当窓口)

広報広聴対策官
環境調整官

坂 本 繁 幸
高 橋 利 彰

目 次

I. 予算の全体概要

1. 配分方針	1
2. 予算の規模	2
3. 予算の概要	2
4. 平成26年度中国地方整備局予算総括表	
(1) 全体総括表	7
(2) 補助事業県別内訳表	8

II. 直轄・補助事業の概要 ※社会資本総合整備事業を含まない

1. 平成26年度主な完成予定事業一覧	9
2. 主要事業箇所	10
○主要事業箇所【県別】	11
○事業別一覧表	16
○トピックス	18

III. 社会資本総合整備事業の概要

1. 社会資本総合整備事業	101
2. 予算の概要	101
○都道府県・政令市が管理する道路の 平成26年度供用予定事業	103
○トピックス	104

I. 予算の全体概要

1. 配分方針

- (1) 平成26年度国土交通省関係予算については、巨大台風や巨大地震に備えるための防災・減災対策、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化対策、アジア諸国の成長が著しい中、激化する都市間競争に勝ち抜くための国際競争力の強化など我が国が直面する課題に緊急に取り組むため、「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」及び「経済・地域の活性化」の3分野に重点化し計上したところです。
- (2) これを踏まえ、一般公共事業等予算の配分にあたっては、国民の命と暮らしを守る防災・減災、老朽化対策を進めるとともに、基幹的交通インフラ整備の推進による我が国の国際競争力の強化、都市の再生や公共交通の活性化等による地域の活性化と豊かな暮らしの実現に対応することとします。

具体的には、

- ・ 公共施設の耐震化、津波対策等による強靱化
- ・ 社会資本の戦略的な維持管理・更新
- ・ 地域における総合的な事前防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援（防災・安全交付金）
- ・ 効率的な物流ネットワークの強化
- ・ 競争力強化のための社会資本の総合的整備（社会資本整備総合交付金）

などについて、地域の実情や要望等を勘案し、配分を行います。

2. 予算の規模

中国地方整備局関係予算総事業費 4,622億円 (前年比0.99倍)

うち { 直轄事業費 1,752億円(前年比0.98倍)
補助事業費 2,870億円(前年比0.99倍)

<内 訳>

・河川関係	426億円
・道路関係	1,309億円
・港湾空港関係	223億円
・都市・住宅関係	93億円
・営繕関係	6億円
・社会資本総合整備	2,566億円

{ 国土交通省全体事業費 7兆5,409億円(前年比1.03倍)
うち { 直轄事業費 2兆4,429億円(前年比1.05倍)
補助事業費 5兆0,980億円(前年比1.01倍)

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

※港湾及び海岸（港湾分）には、下関市関係を含まない。

※社会資本総合整備に配分されている事業費は、配分する国費をもとに推計したものである。

3. 予算の概要

<河川関係> [426億円(1.05)]

国民の生活の安全・安心を確保するため、災害の起こりやすさや災害が発生した際に想定される被害の程度を考慮しつつ、近年の水害・土砂災害の発生等を踏まえ、再度災害防止対策を集中的に実施するとともに堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策等の予防的な治水対策を重点的に実施します。あわせて、河川管理施設の状態により延命化を図るなどトータルコストの縮減に努めつつ、経年劣化等により機能が低下した河川管理施設等の補修・更新等を推進します。

また、豊かな河川環境を保全・再生し、川の魅力を活かした都市・地域づくりをさらに進めるため、地方公共団体や住民等と連携した総合的な取組を実施します。

◇平成26年度主な新規着手事業

たかはしがわ
高梁川一般河川改修事業（大規模）（小田川合流点付替え）
【岡山県・直轄】（P32）

やばらがわ
矢原川ダム建設事業

【島根県・補助】(P28)

なるたにがわ
鳴谷川特定緊急砂防事業

【島根県・補助】(P29)

かみ う づ ね かみかわ
上宇津根上川特定緊急砂防事業

【山口県・補助】(P51)

◇平成26年度主な完成予定事業

ひいかわ
斐伊川一般河川改修事業（境港地区）

【鳥取県・直轄】(P20)

たかつがわ
高津川一般河川改修事業（大塚地区）

【島根県・直轄】(P26)

たかつがわ
高津川一般河川改修事業（河成地区）

【島根県・直轄】(P27)

ごうのかわ
江の川総合水系環境整備事業（畠敷地区）

【広島県・直轄】(P36)

おおたがわ
太田川一般河川改修事業（中組地区）

【広島県・直轄】(P39)

おおたがわ
太田川一般河川改修事業（脇田地区）

【広島県・直轄】(P40)

おおたがわ
太田川総合水系環境整備事業（観音・祇園地区）

【広島県・直轄】(P42)

あさがわ
厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業

【山口県・補助】(P48)

<道路関係> [1, 309億円(0.95)]

国民の命と暮らしを守るため、老朽化する道路ストックを適切に維持管理できるよう、安全性の徹底調査・総点検、老朽化対策を重点的に実施するとともに、道路の防災・震災対策等や、代替性の確保のための道路ネットワークの整備などを推進します。

あわせて、物流ネットワークなど基盤ネットワークの整備を推進し、中国地方の成長のための基盤を強化するとともに、通学路対策など暮らしの安全に資する事業を推進します。

◇平成26年度主な完成予定事業

にま ゆのつ
山陰道 仁摩・温泉津道路

【島根県・直轄】(P59)

はまだ みすみ
山陰道 浜田・三隅道路（部分完成）

【島根県・直轄】(P60)

たましま かさおか
国道2号 玉島・笠岡道路

【岡山県・直轄】(P65)

おのみちまつえ おのみち みよし
中国横断自動車道尾道松江線（尾道～三次）

【広島県・直轄】(P71)

ひがしひろしま くれ
国道375号 東広島・呉道路

【広島県・直轄】(P72)

やない
国道188号 柳井バイパス

【山口県・直轄】(P78)

しものせききた
国道191号 下関北バイパス

【山口県・直轄】(P79)

※下線の事業は全線開通予定

◇平成26年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向け、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。

【主な調査箇所】

詳細ルート・構造の検討
(都市計画・環境アセスメントの準備を行う調査)

島根県 山陰道 福光～浅利

概略ルート・構造の検討
(計画段階評価を進めるための調査)

鳥取県 山陰道 はわい～大栄東伯

優先区間の絞り込み調査

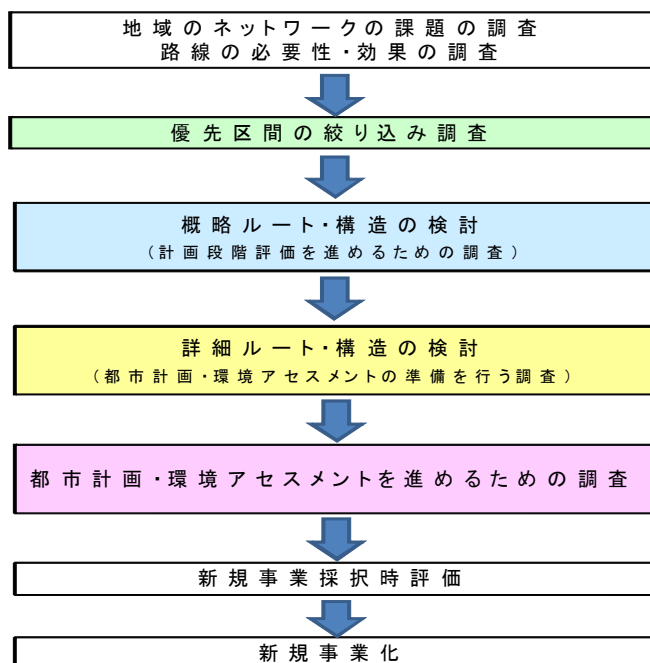
島根県・山口県 山陰道 須子～萩

山口県 山陰道 三隅～小月

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めることとしています。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

道路調査の流れ



＜港湾空港関係＞〔223億円（1.11）〕

製造業の国際競争力を強化するため、原材料やエネルギー等の安定かつ低コストな輸送に資する国際物流ターミナルや臨港道路等の整備を推進します。港湾海岸においては、切迫性の高い南海トラフ地震等の地震被害や頻発する台風等の高潮に備えるため、海岸防護機能の強化等を推進します。また、既存港湾ストックの老朽化が進む中、将来にわたりその機能を発揮できるよう港湾施設の効率的・戦略的な老朽化対策を実施します。

また、航行船舶の安全確保や海域環境の保全を図るため、海面清掃船「おんど2000」により、瀬戸内海に浮遊するごみの回収を実施します。

更に、広島空港において、滑走路及び誘導路の老朽化による舗装の強度低下やひび割れが発生していることから、航空機の安全運航を維持するための改良整備を推進します。また機材故障や悪天候による緊急着陸時に使用する予備スポットが大型機に対応できていないため、本来必要な大型機対応の予備スポットを拡張整備します。

◇平成26年度主な新規着手事業

広島空港エプロン拡張整備事業

【広島県・直轄】(P94)

◇平成26年度主な完成予定事業

広島空港エプロン拡張整備事業

【広島県・直轄】(P94)

みたじりなかのせき

三田尻中関港国際物流ターミナル整備事業

【山口県・補助】(P98)

＜都市・住宅関係＞〔93億円（1.87）〕

集約型都市構造への転換、都市交通の戦略的な施策の実施、低炭素都市まちづくりなど、地域の活性化に向けた取り組みを推進するとともに、下水道・街路・都市公園の整備や住宅・建築物の耐震化、住宅セーフティネットの構築など、地域の創意工夫を活かしたまちづくり・すまいづくりを推進します。

＜営繕関係＞〔6億円（0.59）〕

官庁施設の地震対策を推進するため、防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等を図ります。

また、既存官庁施設を安全により長く利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業の実施（ハード対策）、効果的・効率的に機能維持する保全手法等の検討（ソフト対策）の両面から、官庁施設の長寿命化を図ります。

＜社会資本総合整備事業関係＞〔2, 566億円（0.97）〕

※「社会資本総合整備事業」は、「社会資本整備総合交付金」、「防災・安全交付金」をいう。

社会資本総合整備事業については、地方公共団体等が作成した社会資本総合整備計画に基づき、同計画の目標を実現するための事業に対し、地方公共団体の要望を踏まえ、下記の方針のとおり所要額を配分します。

1. 社会資本整備総合交付金

経済・地域の活性化を推進する観点から、都市・地域の競争力を強化する成長基盤の整備、都市機能の街なかへの集約化・集住による都市構造の再構築や多様な世代が交流し、安心して健康に暮らせる住環境の実現、観光振興の取組の強化など、PPP／PFIの活用等により官民の多様な関係者が連携して取り組む、あるいは民間投資を喚起する総合的な整備計画に対して重点配分を行います。

2. 防災・安全交付金

国土強靱化等の取組により国民の安全・安心の確保を推進する観点から、大規模地震・津波や頻発する風水害・土砂災害に対する総合的な事前防災・減災対策、総点検を踏まえたインフラ長寿命化計画の推進など総合的な老朽化対策等を緊急に進める総合的な整備計画に対して重点配分を行います。その際、以下の整備計画への配分に特に配慮します。

- 各事業の重点配分の対象事業を総合的に組み合わせて以下のイメージのように横串・大括り化した整備計画
 - ・ 防災・減災に関する総合的な計画に基づき、広域的かつ関係機関が共同して分野横断的に、ハード・ソフト事業に取り組む整備計画
 - ・ インフラ長寿命化基本計画の考え方に則って、地方公共団体の区域内のインフラを総点検した上で、地方公共団体等が策定した長寿命化計画に基づいて取り組む整備計画
- 効果促進事業を効果的に組み合わせて効率的に目標を達成する創意工夫がなされている整備計画

4. 平成26年度 中国地方整備局予算総括表

(1) 全体総括表

【事業費】

(単位：百万円)

区 分	平成26年度			平成25年度			(a/b)
	本省配分	一括配分	計(a)	本省配分	一括配分	計(b)	
治 水	28,034	13,071	41,105	26,528	12,709	39,236	1.048
直 轄	17,377	13,071	30,448	17,443	12,709	30,151	1.010
補 助	10,657	0	10,657	9,085	0	9,085	1.173
海 岸	1,539	0	1,539	2,183	0	2,183	0.705
直 轄	1,539	0	1,539	2,183	0	2,183	0.705
道 路	99,840	31,066	130,906	103,720	33,796	137,516	0.952
直 轄	89,410	31,066	120,476	91,796	33,796	125,592	0.959
補 助	10,430	0	10,430	11,924	0	11,924	0.875
港湾整備	20,698	200	20,898	18,036	200	18,236	1.146
直 轄	20,028	0	20,028	17,323	0	17,323	1.156
補 助	670	200	870	713	200	913	0.952
空港整備	388	0	388	263	0	263	1.474
直 轄	388	0	388	263	0	263	1.474
住宅対策	4,065	4,075	8,140	3,321	0	3,321	2.451
補 助	4,065	4,075	8,140	3,321	0	3,321	2.451
市街地整備	265	0	265	798	0	798	0.332
補 助	265	0	265	798	0	798	0.332
都市水環境整備	7	919	926	24	885	908	1.020
直 轄	7	919	926	24	885	908	1.020
国営公園等	864	0	864	846	0	846	1.021
直 轄	864	0	864	759	0	759	1.138
補 助	0	0	0	87	0	87	0.000
社会資本整備総合交付金	98,388	0	98,388	110,758	0	110,758	0.888
補 助	98,388	0	98,388	110,758	0	110,758	0.888
防災・安全交付金	158,234	0	158,234	153,704	0	153,704	1.029
補 助	158,234	0	158,234	153,704	0	153,704	1.029
一 般 公 共 計	412,321	49,331	461,652	420,181	47,589	467,770	0.987
直 轄	129,613	45,056	174,669	129,791	47,389	177,180	0.986
補 助	282,709	4,275	286,984	290,390	200	290,590	0.988
官庁営繕	0	558	558	0	954	954	0.585
直 轄	0	558	558	0	954	954	0.585
合 計	412,321	49,889	462,210	420,181	48,543	468,724	0.986
直 轄	129,613	45,614	175,227	129,791	48,343	178,134	0.984
補 助	282,709	4,275	286,984	290,390	200	290,590	0.988

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

※港湾及び海岸（港湾分）には、下関市関係を含まない。

※本省配分とは本省において全国的な観点から箇所付けを行うもの

※一括配分とは本省配分以外の事業について、地方整備局が管轄区域内において主体的に箇所付けを行うもの

※社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金に配分されている事業費は、配分する国費をもとに推計したものである。

(2) 補助事業 県別内訳表

(事業費ベース 単位：百万円)

	鳥 取 県			島 根 県			岡 山 県		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
治 水	0	0	0	5,538	0	5,538	0	0	0
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道 路	3,720	0	3,720	0	0	0	4,056	0	4,056
港 湾 整 備	199	0	199	0	200	200	30	0	30
住 宅 対 策	38	1,678	1,716	37	84	121	125	737	862
市 街 地 整 備	0	0	0	0	0	0	265	0	265
下 水 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会資本整備総合交付金	11,258	0	11,258	15,183	0	15,183	17,473	0	17,473
防災・安全交付金	21,575	0	21,575	32,771	0	32,771	26,287	0	26,287
合 計	36,789	1,678	38,467	53,529	284	53,813	48,236	737	48,973

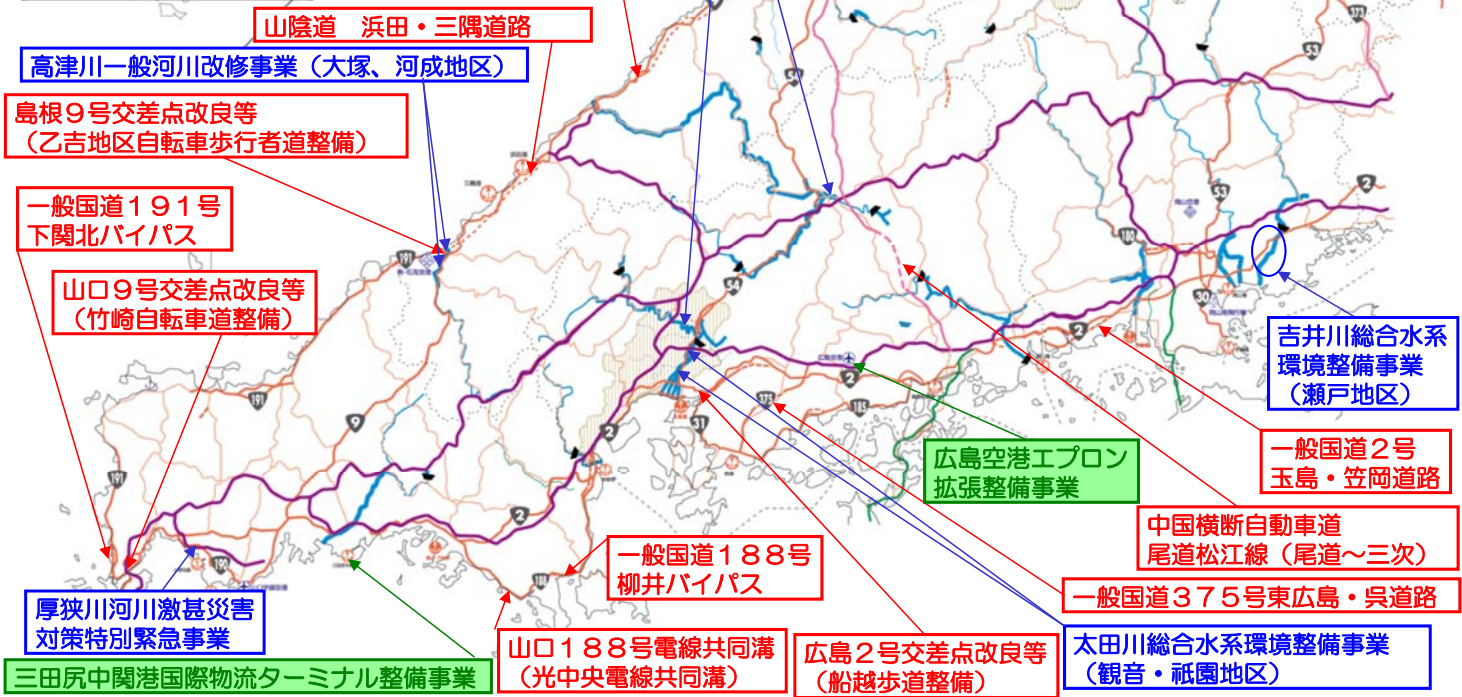
	広 島 県			山 口 県			合 計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
治 水	1,197	0	1,197	3,922	0	3,922	10,657	0	10,657
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道 路	714	0	714	1,940	0	1,940	10,430	0	10,430
港 湾 整 備	0	0	0	441	0	441	670	200	870
住 宅 対 策	3,759	911	4,670	106	665	771	4,065	4,075	8,140
市 街 地 整 備	0	0	0	0	0	0	265	0	265
下 水 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会資本整備総合交付金	31,576	0	31,576	22,898	0	22,898	98,388	0	98,388
防災・安全交付金	38,966	0	38,966	38,635	0	38,635	158,234	0	158,234
合 計	76,212	911	77,123	67,942	665	68,607	282,708	4,275	286,983

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

II. 直轄・補助事業の概要

1. 平成26年度 主な完成予定事業一覧

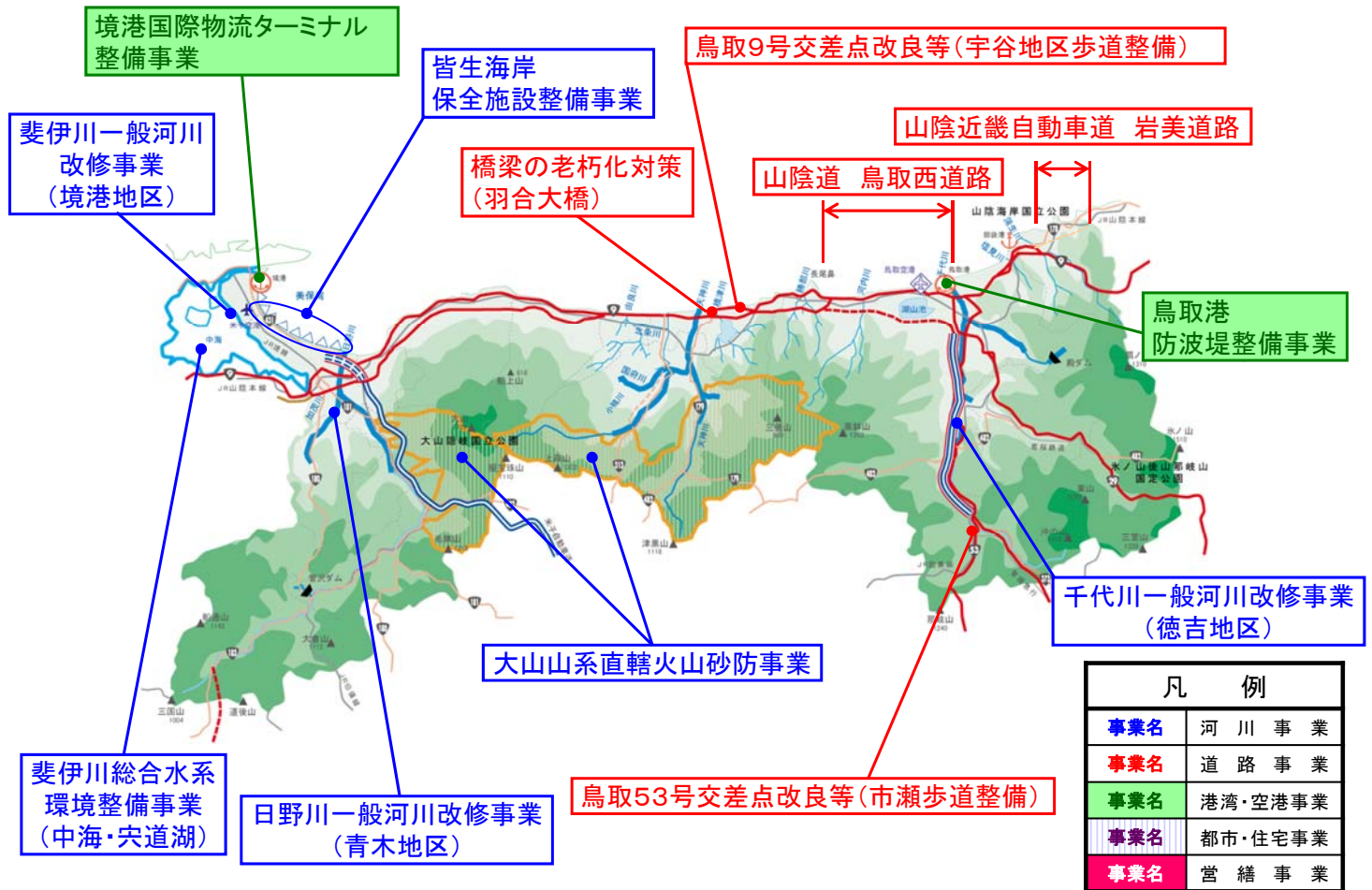
凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港湾・空港事業
事業名	都市・住宅事業
事業名	営 繕 事 業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度	番号
鳥取県					
斐伊川一般河川改修事業（境港地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-3
鳥取9号交差点改良等（宇谷地区歩道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-3
鳥取53号交差点改良等（市瀬歩道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-4
島根県					
高津川一般河川改修事業（大塚地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-9
高津川一般河川改修事業（河成地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-10
山陰道 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H26完成予定 （仁摩・石見銀山IC～湯里IC・全線開通）	道-8
山陰道 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26完成予定 （原井ランプ（仮称）～西村IC（仮称））	道-9
島根9号交差点改良等（林視距改良）	道路	直轄		H26完成予定	道-11
島根9号交差点改良等（乙吉地区自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-12
岡山県					
吉井川総合水系環境整備事業（瀬戸地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-16
一般国道2号 玉島笠岡道路・笠岡バイパス	道路	直轄		H26完成予定 （唐船IC（仮称）～金光IC（仮称））	道-14
広島県					
江の川総合水系環境整備事業（畠敷地区（三次市八次水辺の楽校））	河川	直轄		H26完成予定	河-19
太田川一般河川改修事業（中組地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-21
太田川一般河川改修事業（脇田地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-22
太田川総合水系環境整備事業（観音・祇園地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-24
中国横断自動車道尾道松江線（尾道～三次）	道路	直轄		H26完成予定 （世羅IC～吉舎IC・全線開通）	道-20
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H26完成予定 （黒瀬IC～馬木IC・全線開通）	道-21
広島2号交差点改良等（船越歩道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-24
広島空港エプロン拡張整備事業	空港	直轄		H26完成予定	港-11
山口県					
厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	河川	補助	山口県	H26完成予定	河-30
一般国道188号 柳井バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-27
一般国道191号 下関北バイパス	道路	直轄		H26完成予定 （全線開通）	道-28
山口9号交差点改良等（竹崎自転車道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-30
山口188号電線共同溝（光中央電線共同溝）	道路	直轄		H26完成予定	道-32
三田尻中関港国際物流ターミナル整備事業	港湾	補助	山口県	H26完成予定	港-15

2.主要事業箇所

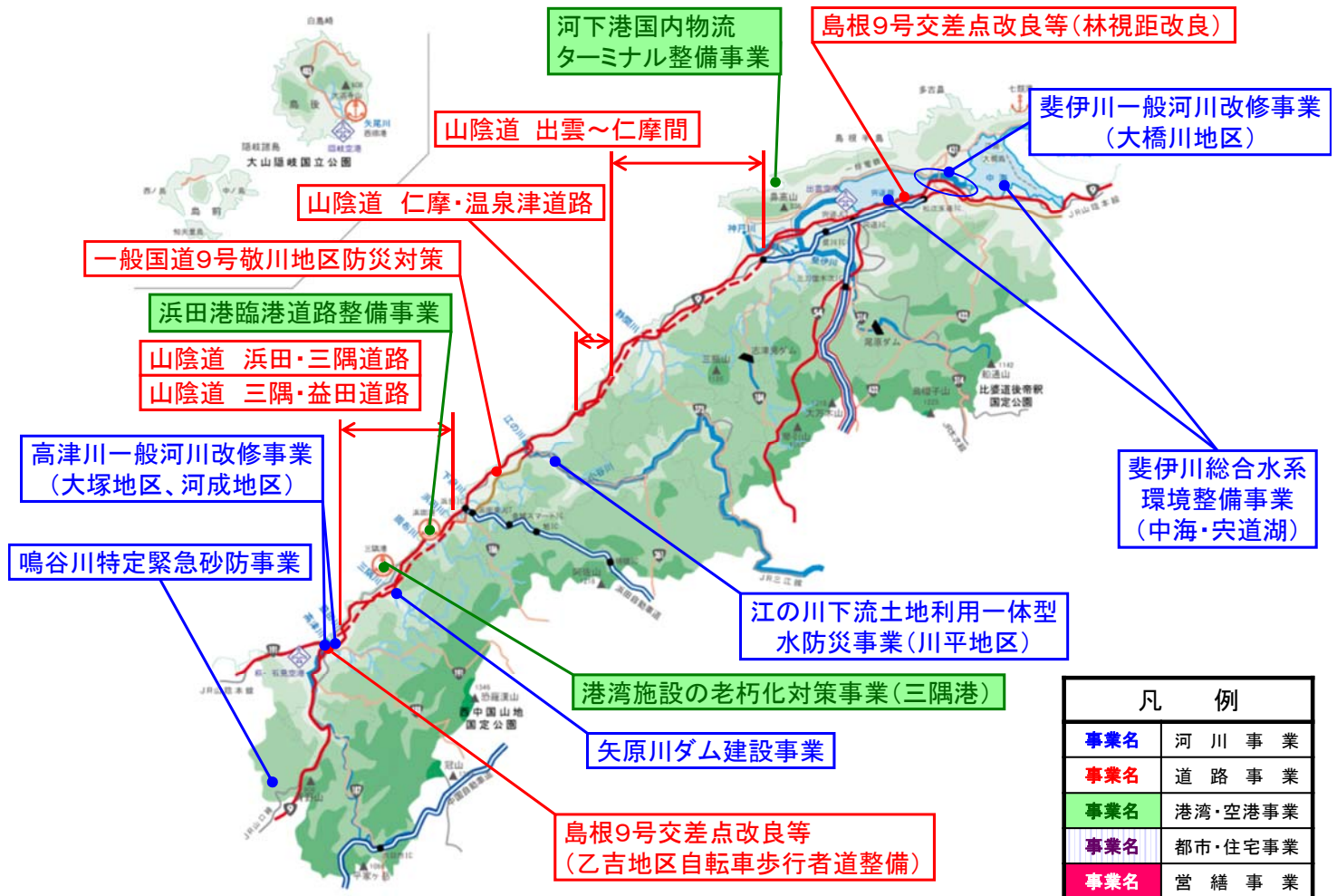
主要事業箇所【鳥取県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
千代川一般河川改修事業（徳吉地区）	河川	直轄		—	河-1
日野川一般河川改修事業（青木地区）	河川	直轄		—	河-2
斐伊川一般河川改修事業（境港地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-3
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）	河川	直轄		—	河-4
大山山系直轄火山砂防事業	河川	直轄		—	河-5
皆生海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-6
橋梁の老朽化対策（羽合大橋）	道路	直轄			道-1
山陰道 鳥取西道路	道路	直轄		H29完成予定※ （吉岡温泉IC（仮称）～青谷IC）	道-2
鳥取9号交差点改良等（宇谷地区歩道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-3
鳥取53号交差点改良等（市瀬歩道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-4
山陰近畿自動車道 岩美道路	道路	補助	鳥取県		道-5
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄・補助	国・鳥取県	H27完成予定	港-1
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		H28完成予定	港-2

※用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査がH27年度迄に完了する場合

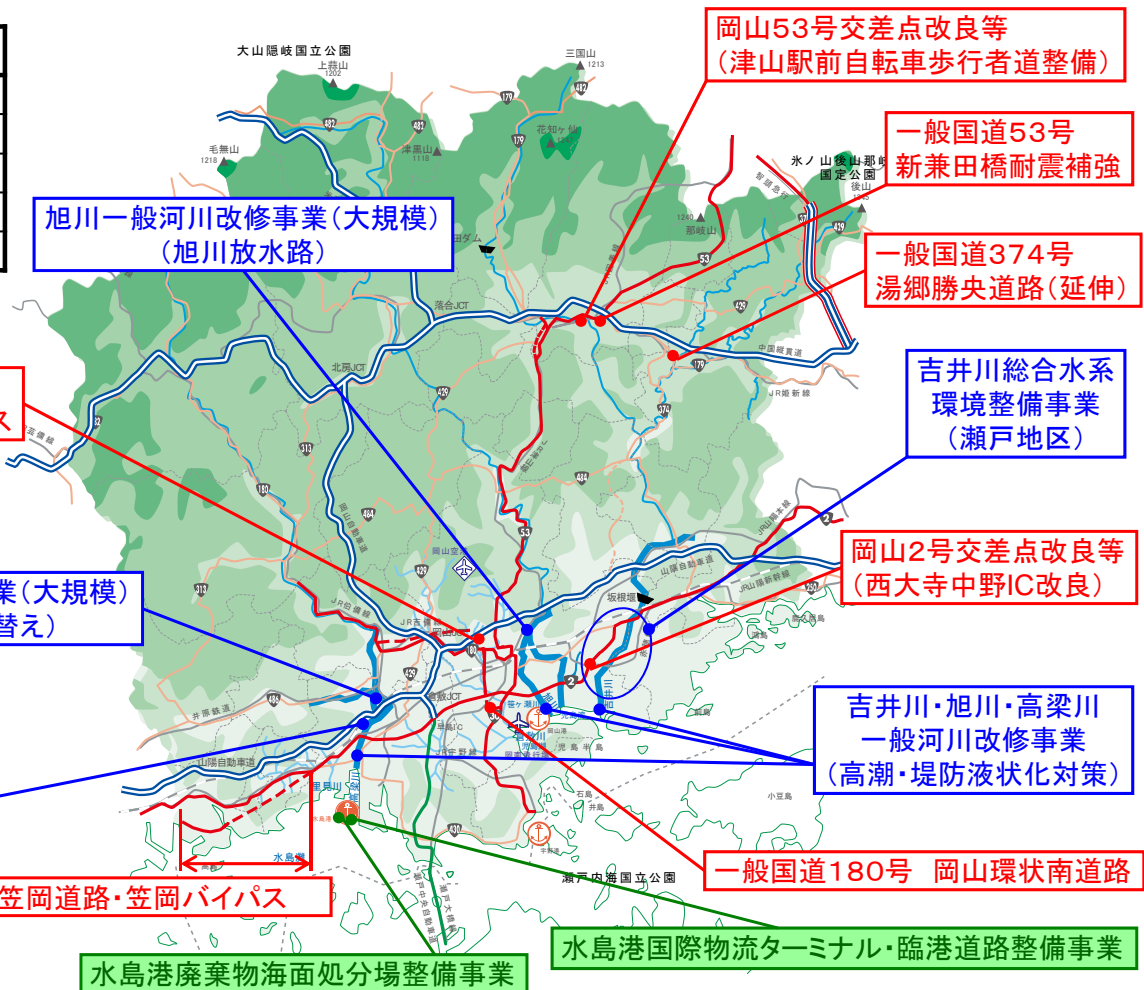
主要事業箇所【島根県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
斐伊川総合水系環境整備事業(中海・宍道湖)	河川	直轄		—	河-4
斐伊川一般河川改修事業(大橋川地区)	河川	直轄		—	河-7
江の川下流土地利用一体型水防災事業(川平地区)	河川	直轄		—	河-8
高津川一般河川改修事業(大塚地区)	河川	直轄		H26完成予定	河-9
高津川一般河川改修事業(河成地区)	河川	直轄		H26完成予定	河-10
矢原川ダム建設事業	河川	補助	島根県	—	河-11
鳴谷川特定緊急砂防事業	河川	補助	島根県	—	河-12
一般国道9号 敬川地区防災対策	道路	直轄		—	道-6
山陰道 出雲～仁摩間	道路	直轄		H30完成予定※ (多伎IC(仮称)～大田IC(仮称))	道-7
山陰道 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H26完成予定 (仁摩・石見銀山IC～湯里IC・全線開通)	道-8
山陰道 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26完成予定 (原井ランプ(仮称)～西村IC(仮称)) H28完成予定 (西村IC(仮称)～三隅IC(仮称))	道-9
山陰道 三隅・益田道路	道路	直轄		—	道-10
島根9号交差点改良等(林視距改良)	道路	直轄		H26完成予定	道-11
島根9号交差点改良等(乙吉地区自転車歩行者道整備)	道路	直轄		H26完成予定	道-12
浜田港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-3
河下港国内物流ターミナル整備事業	港湾	補助	島根県	—	港-4
港湾施設の老朽化対策事業(三隅港)	港湾	直轄		—	港-17

主要事業箇所【岡山県】

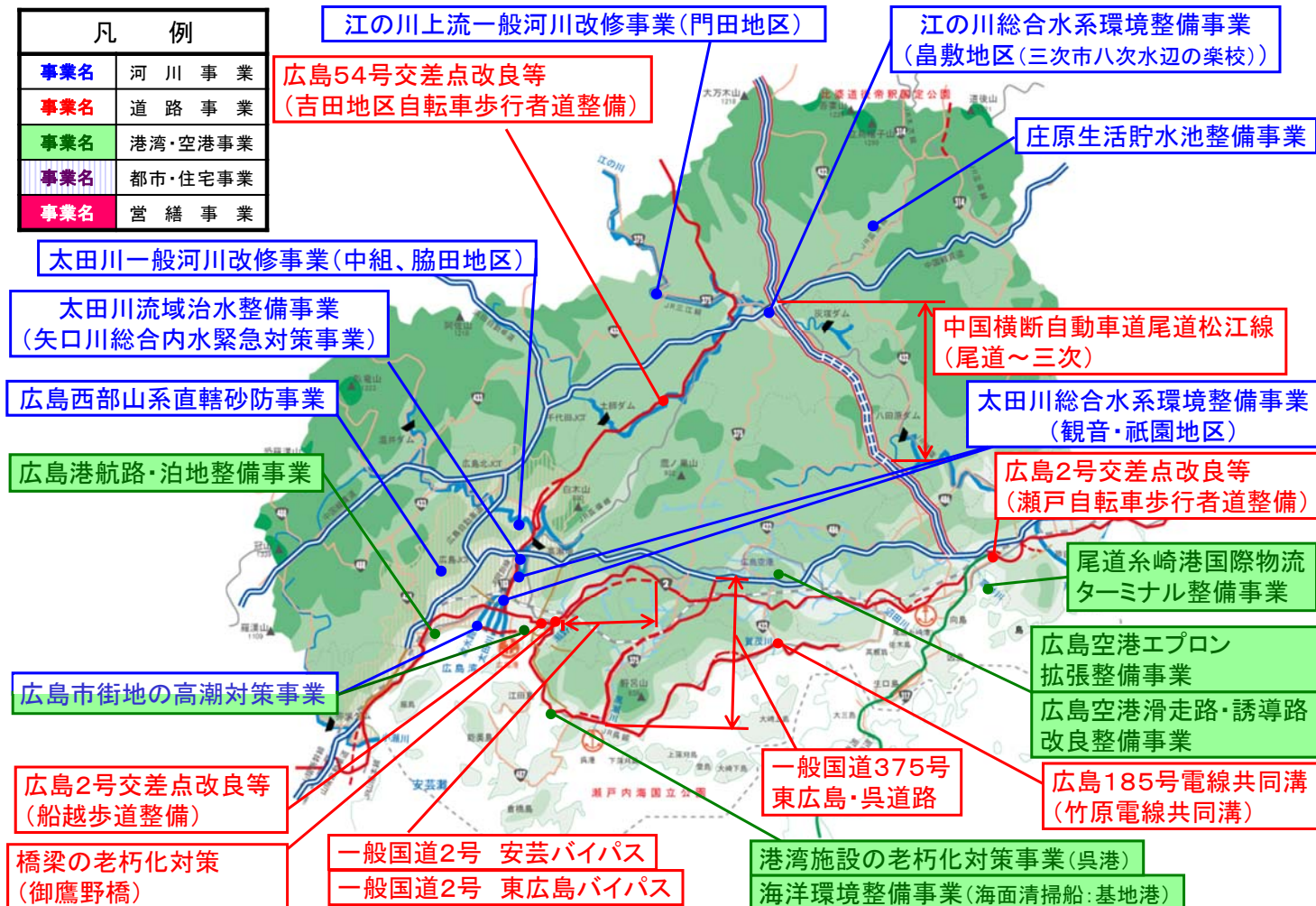
凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港湾・空港事業
事業名	都市・住宅事業
事業名	営 繕 事 業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業 (高潮・堤防液状化対策)	河川	直轄		—	河-13
旭川一般河川改修事業 (大規模) (旭川放水路)	河川	直轄		—	河-14
高梁川一般河川改修事業 (大規模) (小田川合流点付替え)	河川	直轄		—	河-15
吉井川総合水系環境整備事業 (瀬戸地区)	河川	直轄		H26完成予定	河-16
高梁川総合水系環境整備事業 (高梁川下流地区)	河川	直轄		—	河-17
一般国道53号 新兼田橋耐震補強	道路	直轄			道-13
一般国道2号 玉島笠岡道路・笠岡バイパス	道路	直轄		H26完成予定 (唐船IC (仮称) ~金光IC (仮称))	道-14
一般国道180号 岡山環状南道路	道路	直轄		—	道-15
一般国道180号 総社・一宮バイパス	道路	直轄		H27完成予定 (岡山市北区楷津~北区一宮山崎)	道-16
岡山2号交差点改良等 (西大寺中野IC改良)	道路	直轄		H28完成予定	道-17
岡山53号交差点改良等 (津山駅前自転車歩行者道整備)	道路	直轄		—	道-18
一般国道374号 湯郷勝央道路 (延伸)	道路	補助	岡山県	H27完成予定	道-19
水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業	港湾	直轄		H28完成予定 (部分)	港-5
水島港廃棄物海面処分場整備事業	港湾	補助	岡山県	—	港-6

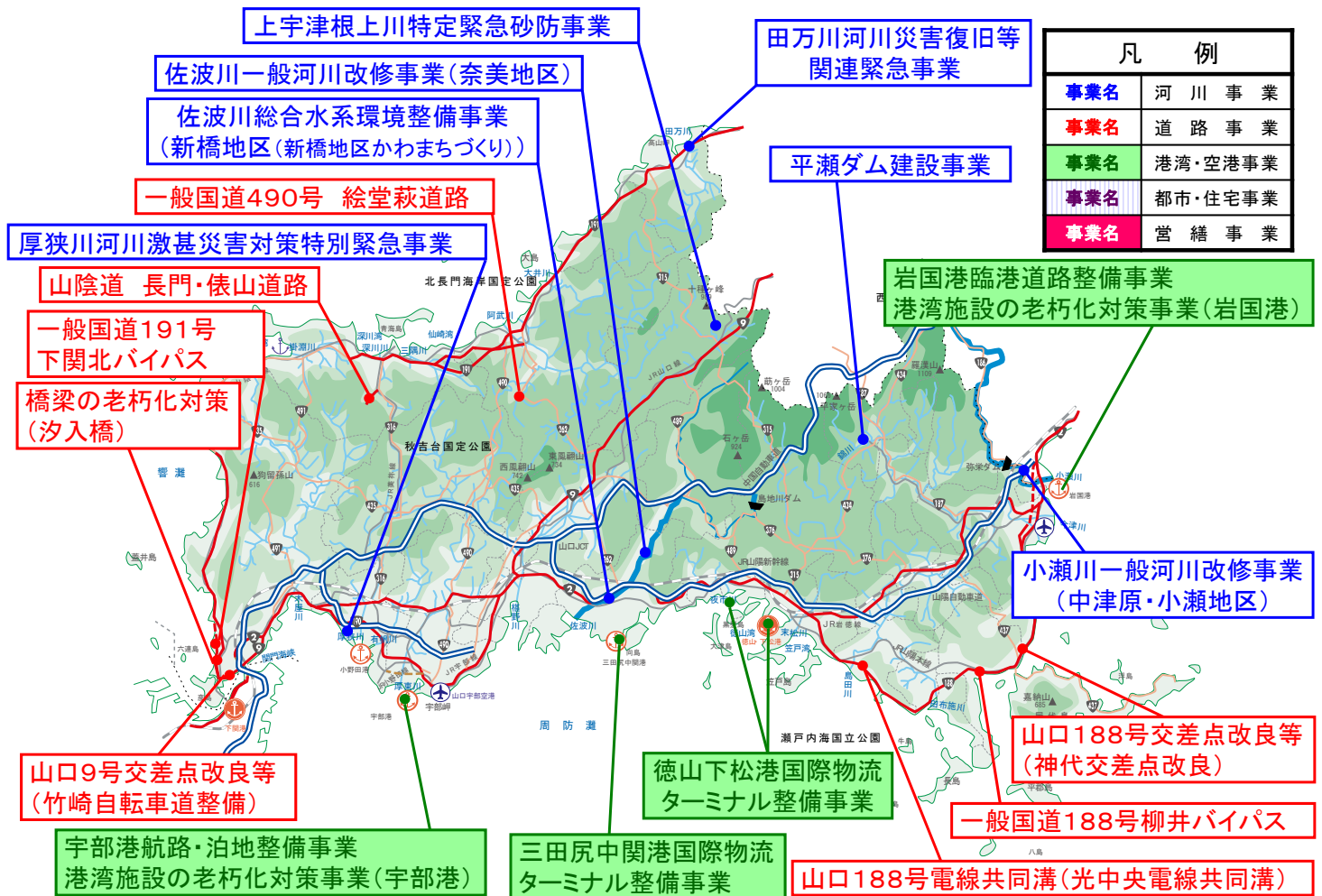
主要事業箇所【広島県】

凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港湾・空港事業
事業名	都市・住宅事業
事業名	営 繕 事 業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
江の川上流一般河川改修事業(門田地区)	河川	直轄		—	河-18
江の川総合水系環境整備事業(畠敷地区(三次市八次水辺の楽校))	河川	直轄		H26完成予定	河-19
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄・補助	国・広島県	—	河-20
太田川一般河川改修事業(中組地区)	河川	直轄		H26完成予定	河-21
太田川一般河川改修事業(脇田地区)	河川	直轄		H26完成予定	河-22
太田川流域治水整備事業(矢口川総合内水緊急対策事業)	河川	直轄		—	河-23
太田川総合水系環境整備事業(観音・祇園地区)	河川	直轄		H26完成予定	河-24
広島西部山系直轄砂防事業	河川	直轄		—	河-25
庄原生活貯水池整備事業	河川	補助	広島県	—	河-26
橋梁の老朽化対策(御鷹野橋)	道路	直轄		—	道-1
中国横断自動車道尾道松江線(尾道～三次)	道路	直轄		H26完成予定 (世羅IC～古賀IC・全線開通)	道-20
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H26完成予定 (黒瀬IC～馬木IC・全線開通)	道-21
一般国道2号 安芸バイパス・東広島バイパス	道路	直轄		—	道-22
広島2号交差点改良等(瀬戸自転車歩行者道整備)	道路	直轄		H28完成予定	道-23
広島2号交差点改良等(船越歩道整備)	道路	直轄		H26完成予定	道-24
広島54号交差点改良等(吉田地区自転車歩行者道整備)	道路	直轄		—	道-25
広島185号電線共同溝(竹原電線共同溝)	道路	直轄		—	道-26
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		H27完成予定	港-7
尾道系崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄		—	河-19 港-9
海洋環境整備事業	港湾	直轄		—	港-10
広島空港エプロン拡張整備事業	空港	直轄		H26完成予定	港-11
広島空港滑走路・誘導路改良整備事業	空港	直轄		H32完成予定	港-12
港湾施設の老朽化対策事業(呉港)	港湾	直轄		—	港-17

主要事業箇所【山口県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
佐波川一般河川改修事業(奈美地区)	河川	直轄		—	河-27
佐波川総合水系環境整備事業 (新橋地区(新橋地区かわまちづくり))	河川	直轄		—	河-28
小瀬川一般河川改修事業(中津原・小瀬地区)	河川	直轄		—	河-29
厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	河川	補助	山口県	H26完成予定	河-30
田万川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	山口県	—	河-31
平瀬ダム建設事業	河川	補助	山口県	—	河-32
上宇津根上川特定緊急砂防事業	河川	補助	山口県	—	河-33
橋梁の老朽化対策(汐入橋)	道路	直轄		—	道-1
一般国道188号 柳井バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-27
一般国道191号 下関北バイパス	道路	直轄		H26完成予定 (全線開通)	道-28
山陰道 長門・俵山道路	道路	直轄		—	道-29
山口9号交差点改良等(竹崎自転車道整備)	道路	直轄		H26完成予定	道-30
山口188号交差点改良等(神代交差点改良)	道路	直轄		—	道-31
山口188号電線共同溝(光中央電線共同溝)	道路	直轄		H26完成予定	道-32
一般国道490号 絵堂萩道路	道路	補助	山口県	—	道-33
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-13
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		H27完成予定 (部分)	港-14
三田尻中関港国際物流ターミナル整備事業	港湾	補助	山口県	H26完成予定	港-15
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-16
港湾施設の老朽化対策事業 (岩国港、三田尻中関港、宇部港)	港湾	直轄・補助	国・山口県	—	港-17

事業別一覧表

○河川事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
千代川一般河川改修事業（徳吉地区）	河川	直轄		—	河-1
日野川一般河川改修事業（青木地区）	河川	直轄		—	河-2
斐伊川一般河川改修事業（境港地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-3
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）	河川	直轄		—	河-4
大江山系直轄火山砂防事業	河川	直轄		—	河-5
皆生海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-6
斐伊川一般河川改修事業（大橋川地区）	河川	直轄		—	河-7
江の川下流土地利用一体型水防事業（川平地区）	河川	直轄		—	河-8
高津川一般河川改修事業（大塚地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-9
高津川一般河川改修事業（河成地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-10
矢原川ダム建設事業	河川	補助	島根県	—	河-11
鳴谷川特定緊急砂防事業	河川	補助	島根県	—	河-12
吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業（高潮・堤防液状化対策）	河川	直轄		—	河-13
旭川一般河川改修事業（大規模）（旭川放水路）	河川	直轄		—	河-14
高梁川一般河川改修事業（大規模）（小田川合流点付替え）	河川	直轄		—	河-15
吉井川総合水系環境整備事業（瀬戸地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-16
高梁川総合水系環境整備事業（高梁川下流地区）	河川	直轄		—	河-17
江の川上流一般河川改修事業（門田地区）	河川	直轄		—	河-18
江の川総合水系環境整備事業（畠敷地区（三次市八次水辺の楽校））	河川	直轄		H26完成予定	河-19
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄・補助	国・広島県	—	河-20
太田川一般河川改修事業（中組地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-21
太田川一般河川改修事業（脇田地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-22
太田川流域治水整備事業（矢口川総合内水緊急対策事業）	河川	直轄		—	河-23
太田川総合水系環境整備事業（観音・祇園地区）	河川	直轄		H26完成予定	河-24
広島西部山系直轄砂防事業	河川	直轄		—	河-25
庄原生活貯水池整備事業	河川	補助	広島県	—	河-26
佐波川一般河川改修事業（奈美地区）	河川	直轄		—	河-27
佐波川総合水系環境整備事業（新橋地区（新橋地区かわまちづくり））	河川	直轄		—	河-28
小瀬川一般河川改修事業（中津原・小瀬地区）	河川	直轄		—	河-29
厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	河川	補助	山口県	H26完成予定	河-30
田万川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	山口県	—	河-31
平瀬ダム建設事業	河川	補助	山口県	—	河-32
上宇津根上川特定緊急砂防事業	河川	補助	山口県	—	河-33

○道路事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
橋梁の老朽化対策（羽合大橋）	道路	直轄		—	道-1
山陰道 鳥取西道路	道路	直轄		H29完成予定※1 （吉岡温泉IC（仮称）～青谷IC）	道-2
鳥取9号交差点改良等（宇谷地区歩道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-3
鳥取53号交差点改良等（市瀬歩道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-4
山陰近畿自動車道 岩美道路	道路	補助	鳥取県	—	道-5
一般国道9号 敬川地区防災対策	道路	直轄		—	道-6
山陰道 出雲～仁摩間	道路	直轄		H30完成予定※2 （多岐IC（仮称）～大田IC（仮称））	道-7
山陰道 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H26完成予定 （仁摩・石見銀山IC～湯里IC）	道-8
山陰道 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26完成予定 （原井ランプ（仮称）～西村IC（仮称）） H28完成予定 （西村IC（仮称）～三隅IC（仮称））	道-9
山陰道 三隅・益田道路	道路	直轄		—	道-10
島根9号交差点改良等（林視距改良）	道路	直轄		H26完成予定	道-11
島根9号交差点改良等（乙吉地区自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-12
一般国道53号 新兼田橋耐震補強	道路	直轄		—	道-13
一般国道2号 玉島笠岡道路・笠岡バイパス	道路	直轄		H26完成予定 （唐船IC（仮称）～金光IC（仮称））	道-14

一般国道180号 岡山環状南道路	道路	直轄		—	道-15
一般国道180号 総社・一宮バイパス	道路	直轄		H27完成予定 (岡山市北区椿津～北区一宮山崎)	道-16
岡山2号交差点改良等(西大寺中野IC改良)	道路	直轄		H28完成予定	道-17
岡山53号交差点改良等(津山駅前自転車歩行者道整備)	道路	直轄		—	道-18
一般国道374号 湯郷勝央道路(延伸)	道路	補助	岡山県	—	道-19
橋梁の老朽化対策(御鷹野橋)	道路	直轄		—	道-1
中国横断自動車道尾道松江線(尾道～三次)	道路	直轄		H26完成予定 (世羅IC～吉吉IC・全線開通)	道-20
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H26完成予定 (黒瀬IC～馬木IC・全線開通)	道-21
一般国道2号 安芸バイパス・東広島バイパス	道路	直轄		—	道-22
広島2号交差点改良等(瀬戸自転車歩行者道整備)	道路	直轄		H28完成予定	道-23
広島2号交差点改良等(船越歩道整備)	道路	直轄		H26完成予定	道-24
広島54号交差点改良等(吉田地区自転車歩行者道整備)	道路	直轄		—	道-25
広島185号電線共同溝(竹原電線共同溝)	道路	直轄		—	道-26
橋梁の老朽化対策(汐入橋)	道路	直轄		—	道-1
一般国道188号 柳井バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-27
一般国道191号 下関北バイパス	道路	直轄		H26完成予定 (全線開通)	道-28
山陰道 長門・俵山道路	道路	直轄		—	道-29
山口9号交差点改良等(竹崎自転車道整備)	道路	直轄		H26完成予定	道-30
山口188号交差点改良等(神代交差点改良)	道路	直轄		—	道-31
山口188号電線共同溝(光中央電線共同溝)	道路	直轄		H26完成予定	道-32
一般国道490号 絵堂萩道路	道路	補助	山口県	—	道-33

※1 用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査がH27年度迄に完了する場合

※2 用地取得及び猛禽類の保全対策が速やかに完了する場合

○港湾・空港整備事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄・補助	国・鳥取県	H27完成予定	港-1
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		H28完成予定	港-2
浜田港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-3
河下港国内物流ターミナル整備事業	港湾	補助	島根県	—	港-4
水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業	港湾	直轄		H28完成予定 (部分)	港-5
水島港廃棄物海面処分場整備事業	港湾	補助	岡山県	—	港-6
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		H27完成予定	港-7
尾道系崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄		—	港-9※
海洋環境整備事業	港湾	直轄		—	港-10
広島空港エプロン拡張整備事業	空港	直轄		H26完成予定	港-11
広島空港滑走路・誘導路改良整備事業	空港	直轄		H32完成予定	港-12
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-13
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		H27完成予定 (部分)	港-14
三田尻中関港国際物流ターミナル整備事業	港湾	補助	山口県	H26完成予定	港-15
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-16
港湾施設の老朽化対策事業	港湾	直轄・補助	国・山口県	—	港-17

※河-20に掲載

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

千代川の河川整備は、戦後最大規模(S54.10)の洪水を安全に流すことを目標として整備を進めています。当該地区では、固定堰による洪水時の水位のせき上げや堆積土砂による河川断面不足が生じている状況です。

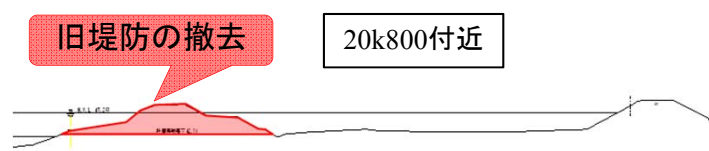
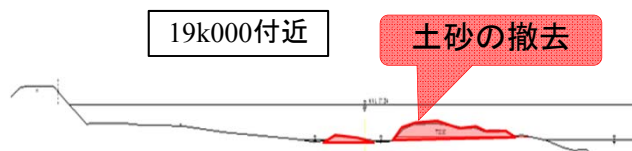
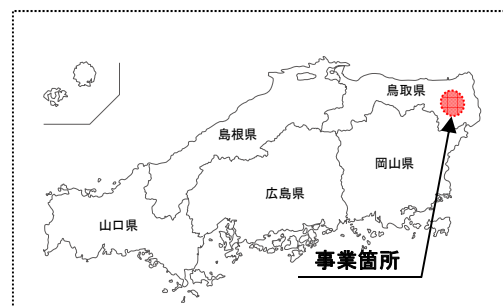
平成26年度は、洪水に対する安全度を向上させるため佐貫地区の河川内に堆積した土砂の撤去並びに、八日市地区の旧堤防の撤去を実施します。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市河原町徳吉地区

3. 平成26年度 予定事業内容

千代川徳吉地区において、河道掘削V=40千m³を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の昭和54年10月洪水が再び発生した場合においても、浸水被害の防止が図られます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

日野川支川法勝寺川は全川にわたって流下能力が低く、下流部の破堤時には米子市街地（鳥取県内人口第2位）に甚大な被害が想定されます。

また、支川小松谷川合流部では法勝寺川の影響等による内水被害が過去10年の内に4回発生しており、流下能力向上および内水被害軽減のための緊急的な対策が必要です。

このため、流下能力確保を図るための河道掘削、背割堤等の整備を実施します。

2. 事業箇所

鳥取県米子市青木地区

3. 平成26年度 予定事業内容

法勝寺川青木地区の背割堤護岸工 L=200m
等を実施します。



4. 期待される整備効果

昭和34年9月の戦後最大洪水が再び発生した場合においても、米子市街地への浸水被害の防止を図るとともに、青木地区における内水被害の軽減が図られます。

ひいかわ
斐伊川一般河川改修事業
 さかいみなと
 (境港地区)

事業費4,007百万円
 ※斐伊川水系全体

河-3
【鳥取県】

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

境港地区は、宅地の地盤高が低く中海の湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害(平成14年、平成15年、平成16年)を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

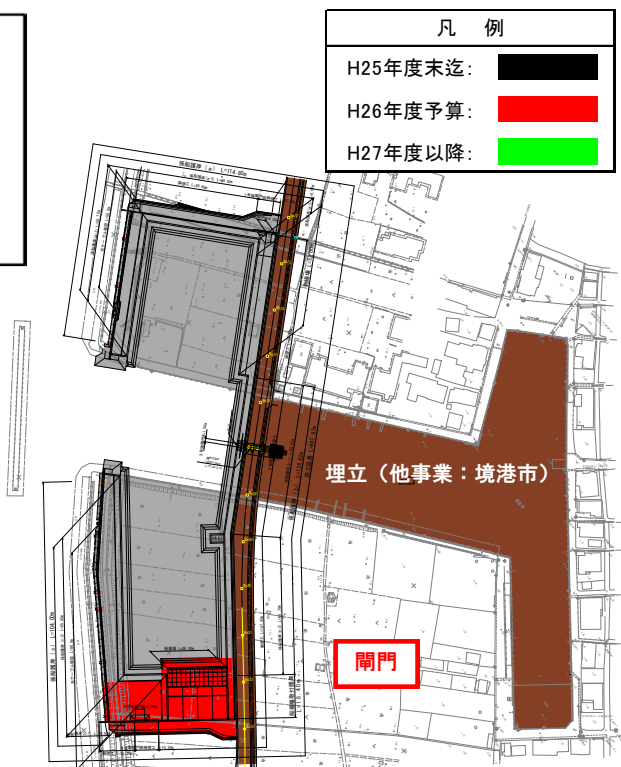
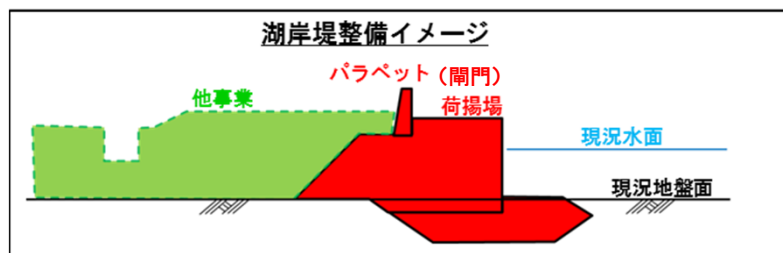
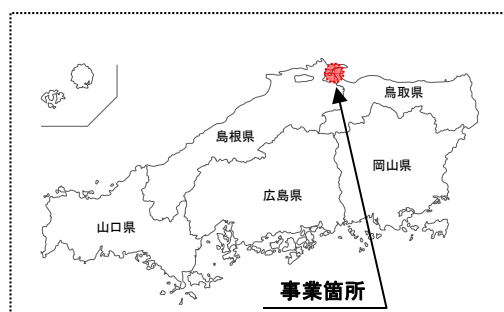
このため、高潮による浸水被害の防止を図るための堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県境港市境港地区

3. 平成26年度 予定事業内容

中海境港地区において、閘門等の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、平成15年9月高潮(既往最高水位)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

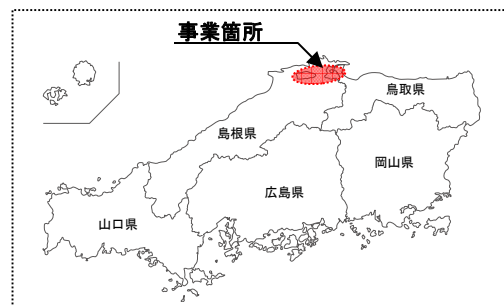
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂も実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県米子市錦海町～ 島根県出雲市小境町地区



3. 平成26年度 予定事業内容

中海：覆砂 A=220千m²

宍道湖：浅場造成 L=260m



4. 期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、ヨシ帯や藻場など湖岸域の浅場環境が再生し、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。

アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

大山山系は火山岩等の脆弱な地質が分布し、荒廃が激しく、山麓斜面には浸食されやすい火山堆積物や風化した花崗岩が厚く堆積しており、土砂流出による災害発生の危険性が高いため、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するとともに、再度災害防止を目的として砂防堰堤等の整備を実施しています。

2. 事業箇所

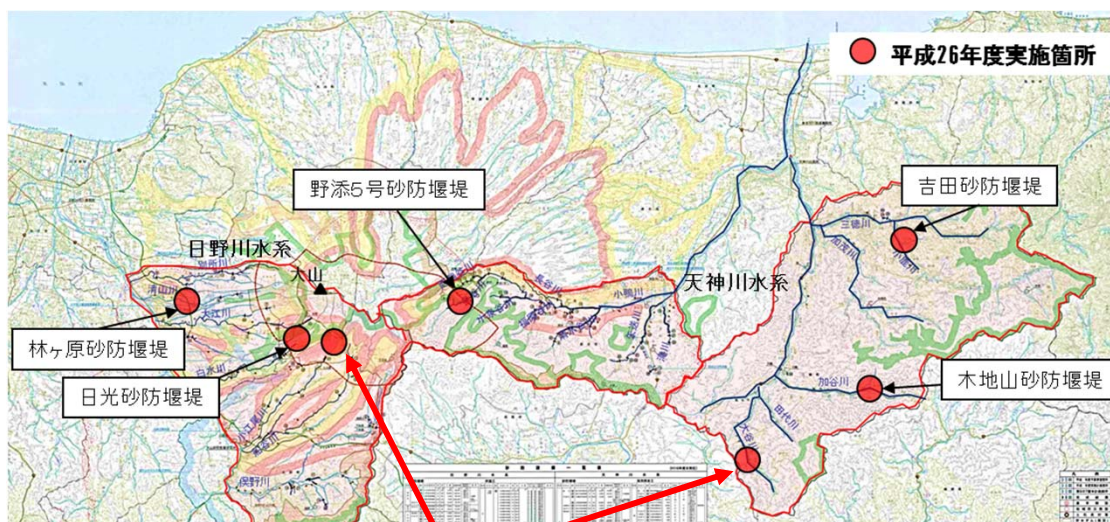
大山山系(天神川) : 鳥取県倉吉市、東伯郡三朝町

大山山系(日野川) : 鳥取県伯耆町、江府町



3. 平成26年度 予定事業内容

天神川水系において砂防施設4基、日野川水系において砂防施設3基の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

砂防施設の整備により、米子市・倉吉市等の下流市街地において、土砂を起因とする洪水はん濫を防止・軽減するとともに再度災害の防止を図ります。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

皆生海岸は、「かな流し」の衰退等に伴い日野川からの流出土砂が減少したことから著しい侵食が生じています。背後には皆生温泉や住宅密集地があり、国道431号線沿いには家屋や商業店が多数進出し人口も増加していることから、砂浜を保全するために沖合施設の設置や養浜を実施しています。

2. 事業箇所

鳥取県米子市～境港市



3. 平成26年度 予定事業内容

皆生海岸の侵食対策として、両三柳地区において沖合施設(離岸堤)1基を設置します。また、富益地区において砂浜を保全するサンドリサイクルを実施します。



サンドリサイクル施工前



サンドリサイクル施工後



4. 期待される整備効果

海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

ひいかわ
斐伊川一般河川改修事業
おおはしがわ
(大橋川地区)

事業費4,007百万円
※斐伊川水系全体

河-7
【島根県】

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

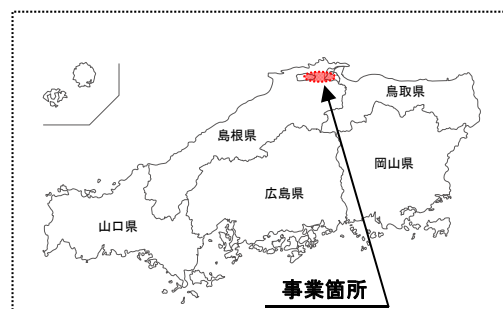
大橋川は「水の都松江」を象徴する風情ある水辺景観を醸し出す川である反面、沿川は堤防が未整備であるとともに、上下流の2箇所にて狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨や、平成18年7月豪雨により、山陰地方の中心都市である県都松江の中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

大橋川改修は、斐伊川治水計画(①上流部のダム建設、②中流部の放水路建設と本川改修、③下流部の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備)の一つで、平成23年8月に大橋川中流の追子地区の堤防整備の工事に着手しました。

今後は堤防整備等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県松江市福富町～松江市東茶町地区



3. 平成26年度 予定事業内容

大橋川において、築堤、天神川上流水門新設、用地補償等を実施します。



(仮称)天神川上流水門 完成イメージ



H18.7浸水状況:東本町(松江市)



4. 期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

川平地区は、昭和47年7月洪水で134戸の家屋浸水被害が発生し、近年でも平成11年に25戸、平成18年に10戸の家屋浸水被害が発生しています。

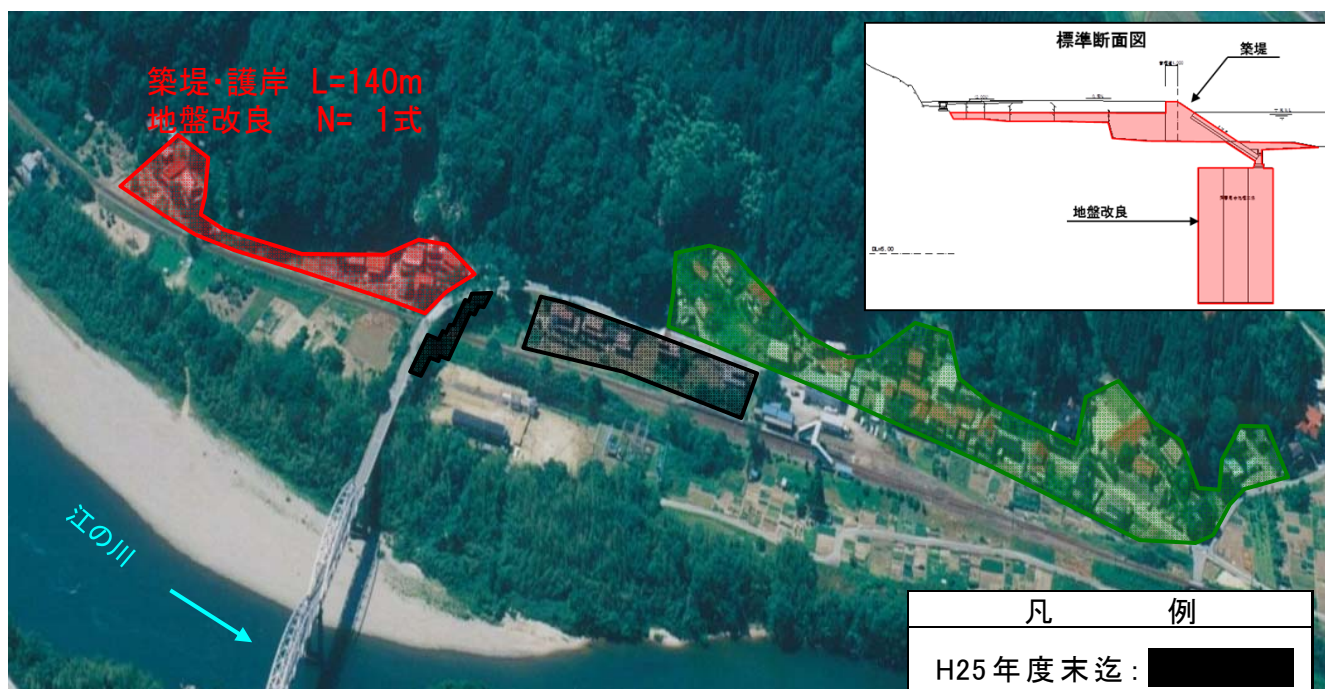
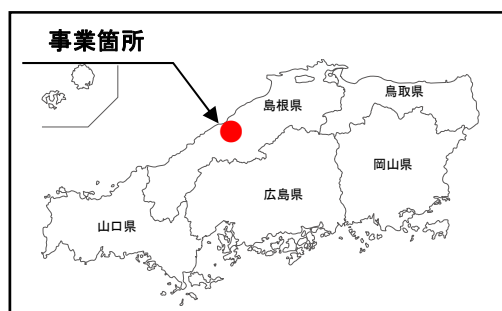
当該地区は、地域の土地利用状況等に配慮し、地域住民合意のもと、宅地嵩上げを主体とする土地利用一体型水防災事業により家屋浸水被害の防止を図ります。

2. 事業箇所

島根県江津市川平地区

3. 平成26年度 予定事業内容

江の川下流川平地区において、築堤L=140m、地盤改良工等を実施します。



凡	例
H25年度末迄:	
H26年度予算:	
H27年度以降:	

4. 期待される整備効果

事業実施により、戦後最大の昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

たかつがわ
高津川一般河川改修事業
おおつか
(大塚地区)

事業費374百万円
※高津川水系全体

河-9

【島根県】

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

大塚地区は、高津川で唯一の無堤箇所であり、昭和47年7月洪水で28戸(浸水面積:約3.2ha)の浸水被害が発生し、近年でも平成9年9月、平成17年9月の洪水において、臨港道路の冠水被害が発生しており、浸水被害の防止が必要です。

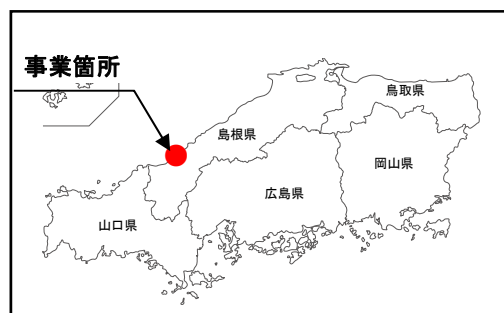
このため、堤防整備により流下能力を確保し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県益田市中島町大塚地区

3. 平成26年度 予定事業内容

高津川大塚地区において、築堤L=140m、排水樋門N=1基等を実施します。



凡	例
H25年度末迄:	黒色
H26年度予算:	赤色
H27年度以降:	緑色



4. 期待される整備効果

事業実施により、河川整備計画の目標である戦後最大の昭和47年7月洪水が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の防止が図られます。

たかつがわ
高津川一般河川改修事業
 こうなり
 (河成地区)

事業費374百万円
 ※高津川水系全体

河-10

【島根県】

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

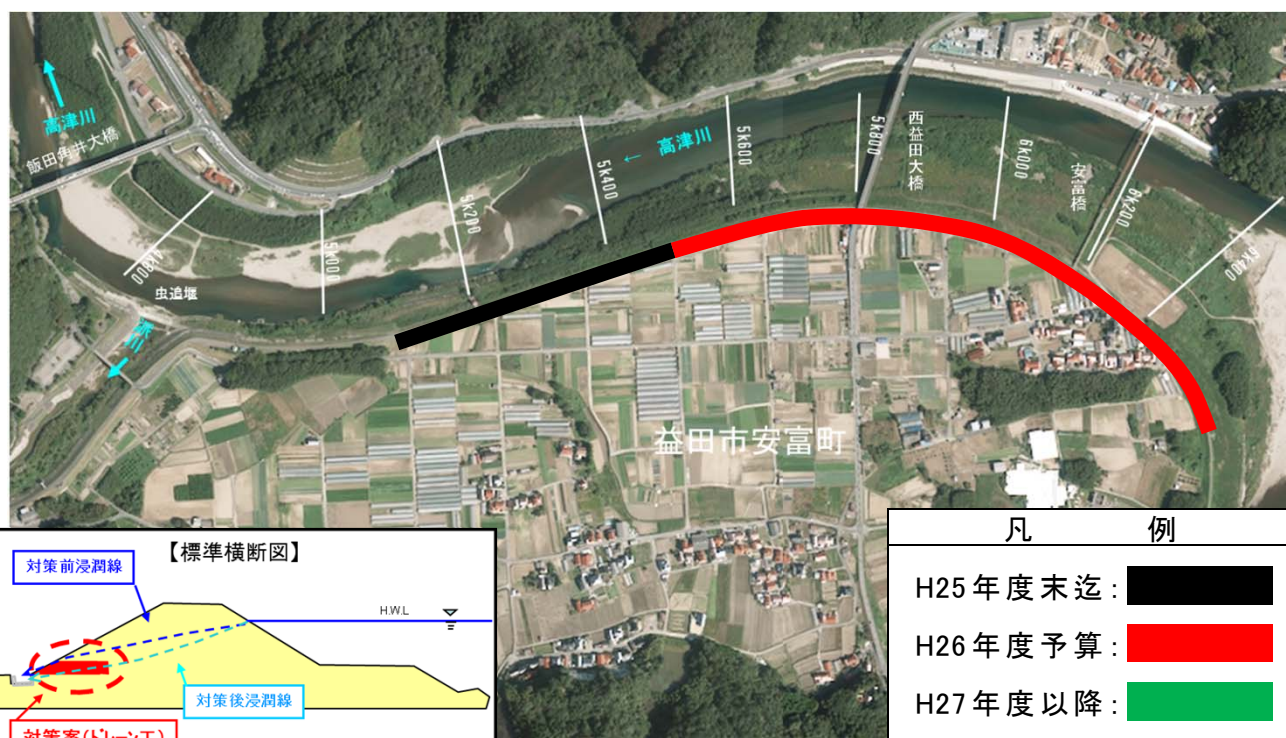
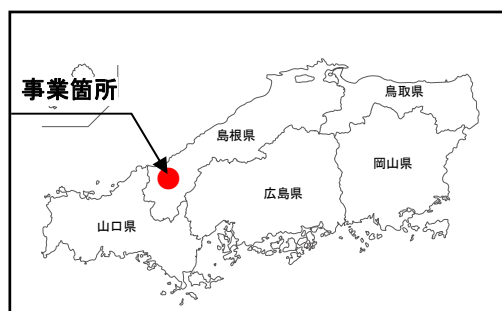
河成地区は、平成9年7月の洪水で堤防からの漏水が発生しました。
 堤防詳細点検の結果、堤防の浸透に対する安全性が不足しています。
 このため、堤防の浸透に対する安全性確保のため、浸透対策を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県益田市安富町河成地区

3. 平成26年度 予定事業内容

高津川河成地区において、浸透対策(ドレーン工
 L=900m)を実施します。



4. 期待される整備効果

事業実施により、浸透による堤防崩壊を防ぎ家屋の浸水被害防止が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

二級河川三隅川は、従来より出水のたびに被害が発生しており、昭和58年7月には、梅雨前線豪雨により全・半壊1,054戸、床上・床下浸水1,026戸などの大きな被害が発生しています。

このため、浜田市三隅町中心部及び三隅川、矢原川沿川地域の洪水被害を軽減するため、支川矢原川に洪水調節を目的とした矢原川ダムを建設します。

新規着手

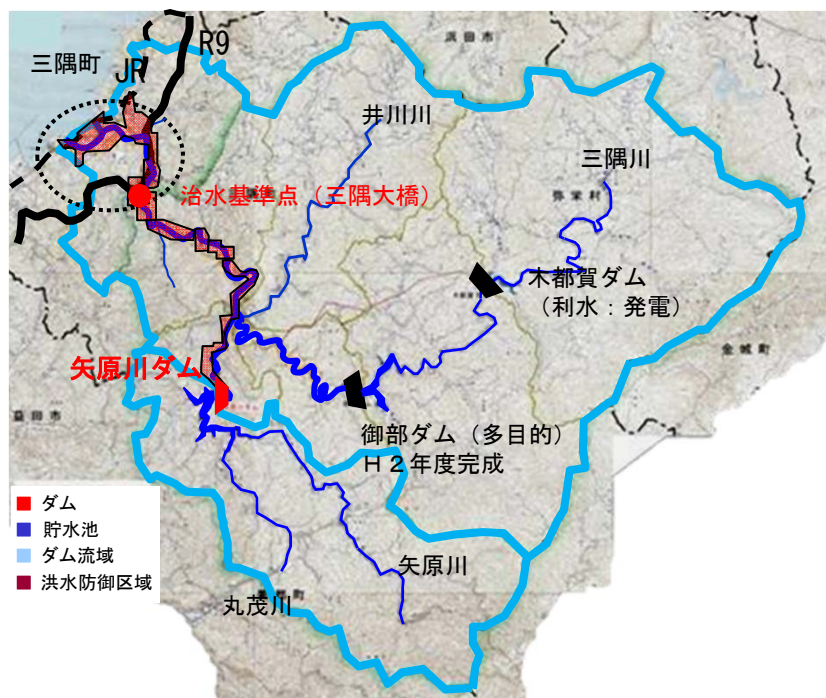
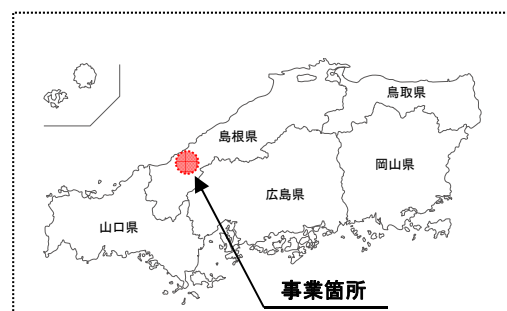
【実施計画調査から
建設事業に移行】

2. 事業箇所

島根県浜田市三隅町矢原地先

3. 平成26年度 予定事業内容

新規建設事業に移行し、ダム本体の設計及び用地調査に着手します。



昭和58年7月22日～23日(梅雨前線豪雨)の被害状況(三隅大橋付近)



矢原川ダム建設予定地(平成26年1月撮影)

4. 期待される整備効果

・洪水の調節

矢原川ダムを建設することで、大雨の時に上流から流れ込む水を一時的に貯めることにより洪水調節を行い、三隅川及び矢原川沿川地域の洪水被害を軽減します。

1. 事業の必要性及び概要

新規着手

平成25年7月28日豪雨により土石流が発生し、下流の県道、人家が被災した。この土石流により溪流が著しく荒廃しており、次期出水時に土砂が流出し甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、災害関連緊急砂防事業により砂防堰堤を整備しております。これに併せ、荒廃した溪岸の侵食による土砂流出を防止する目的で特定緊急砂防事業として溪流保全工(護岸等)を整備するものです。

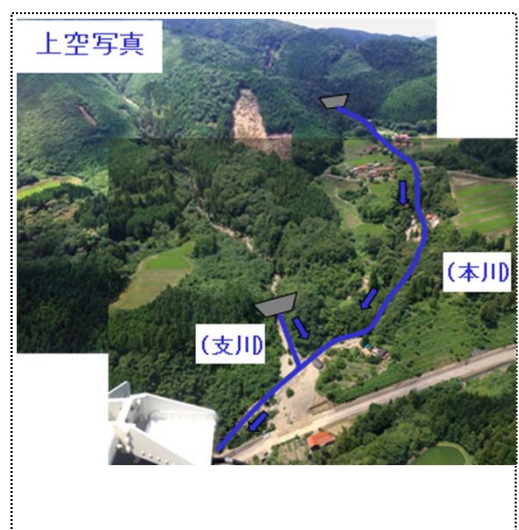
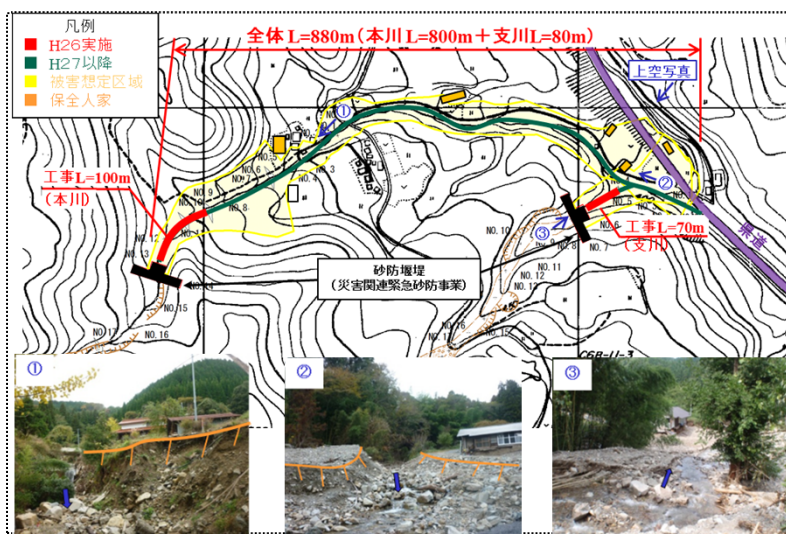
2. 事業箇所

島根県鹿足郡津和野町名賀地区



3. 平成26年度 予定事業内容

測量・調査・設計、用地買収、溪流保全工を実施します。



4. 期待される整備効果

溪流保全工(護岸工等)の整備により、溪岸の侵食が抑制され土砂の流出を防止し、被災した地域の再度災害防止を図ります。

吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業

(高潮対策・堤防液状化対策)

事業費3,657百万円

※3水系全体

河-13

【岡山県】

1. 事業の必要性及び概要

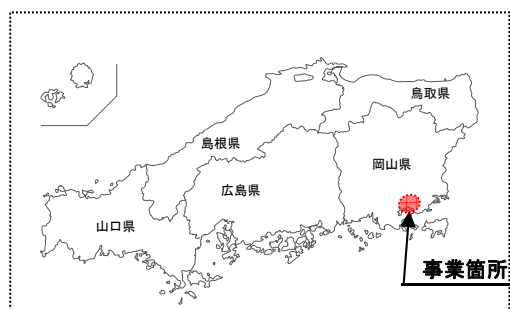
事業推進

岡山平野は、過去からの干拓により形成された「ゼロメートル地帯」が広がっており、吉井川・旭川・高梁川の河口部の沿川地区においては、平成16年の度重なる台風の襲来による高潮の影響により浸水被害を受けました。これらの被害を踏まえ継続的に高潮堤防の整備を進めています。

また、東日本大震災を契機として、東南海・南海地震等に備え、耐震対策を実施しており、早期に安全性の向上を図ります。

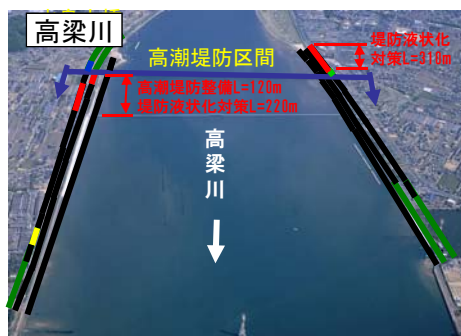
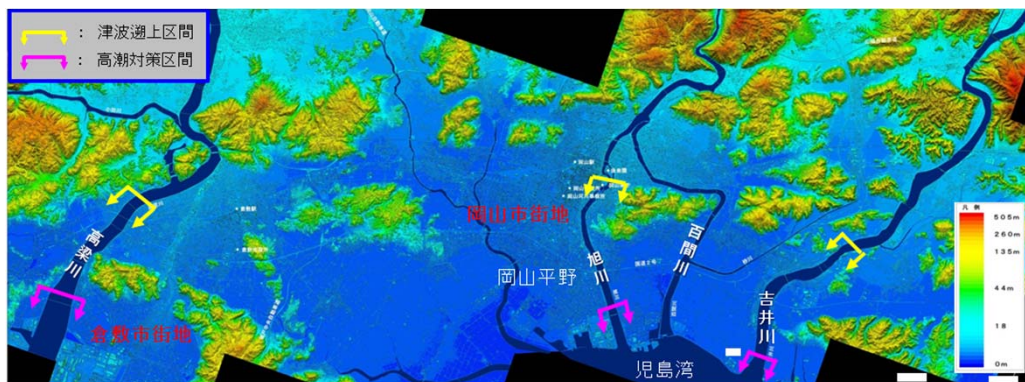
2. 事業箇所

岡山県岡山市東区西幸西、九幡地区
岡山県岡山市南区福島、中区三幡地区
岡山県倉敷市上成、鶴新田地区



3. 平成26年度 予定事業内容

吉井川・旭川・高梁川の下流部において、高潮対策(築堤L=830m)、堤防液状化対策L=850mを実施します。



4. 期待される整備効果

高潮から市街地を守るとともに大規模地震時における液状化等による堤防の被災を軽減することで、堤内地へのはん濫による被害を軽減します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

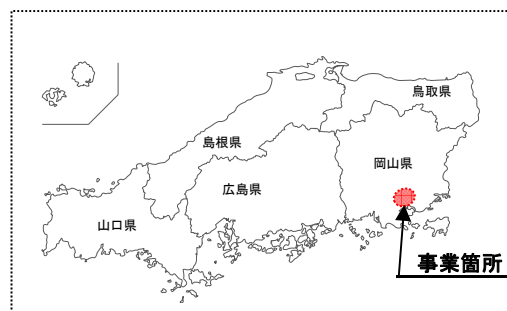
旭川放水路(百間川)は、岡山市街地を洪水被害から守るため、昭和45年度から抜本的な河川改修(大規模工事)に着手し、平成9年には河川堤防が概成しています。

今後は、旭川と百間川の適切な洪水分流機能を確認するために分流部の改修、河道掘削等が必要です。

平成26年度は、流下能力が不足している箇所での河道掘削、護岸整備及び分流部の整備に着手し、早期に安全性の向上を図ります。

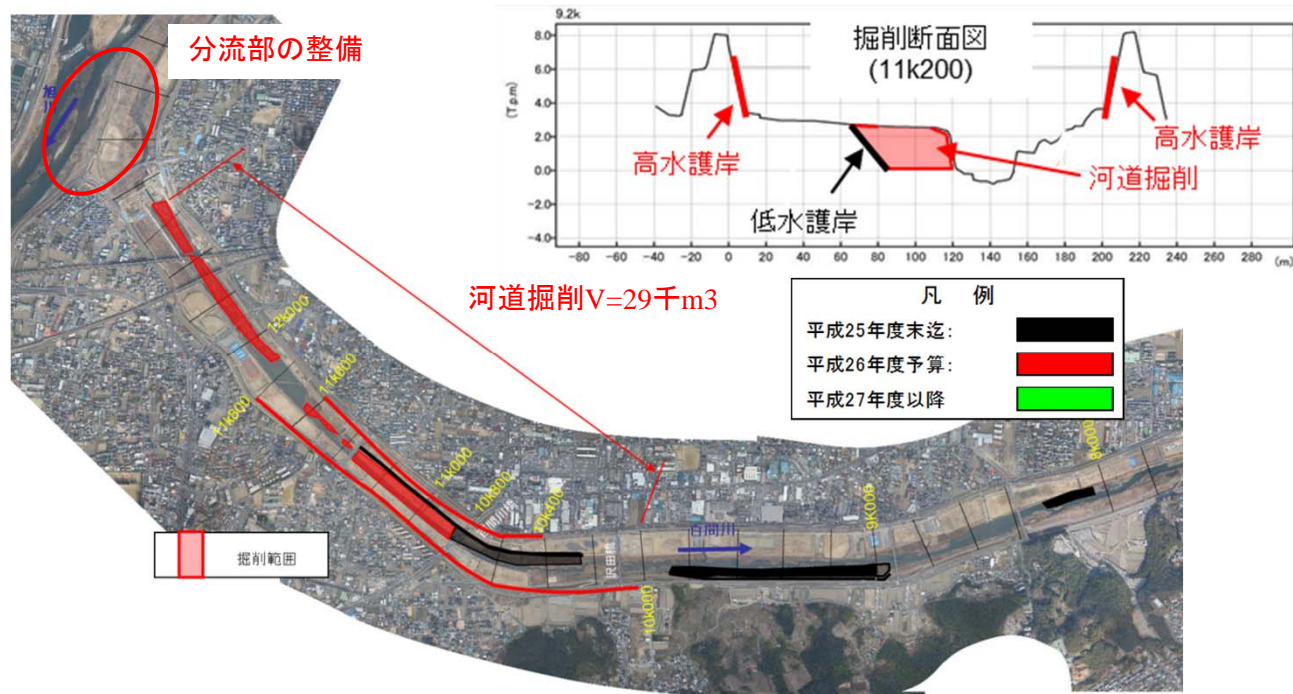
2. 事業箇所

ふじわら
岡山県岡山市中区藤原地区



3. 平成26年度 予定事業内容

旭川放水路(百間川)の上流部において、河道掘削 $V=29$ 千 m^3 を実施し、分流部の整備に着手します。



4. 期待される整備効果

適切な洪水分流機能の確保、流下能力の向上を図ることで、河川整備計画で目標とする洪水流量を安全に流すことが可能となり、浸水被害の軽減が図られます。

新規着手

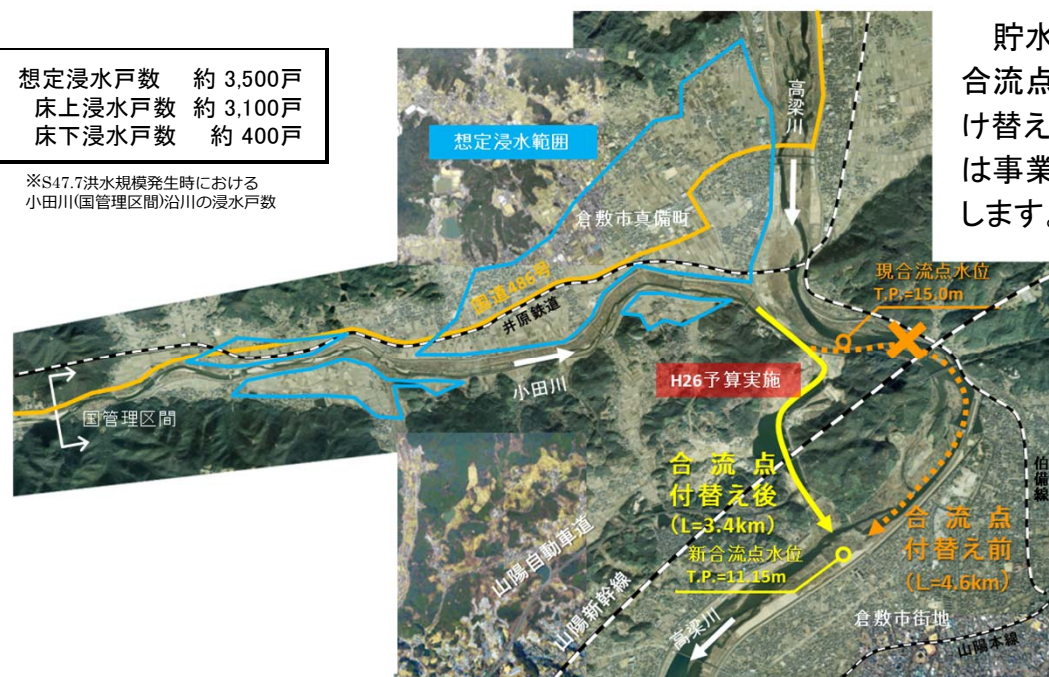
1. 事業の必要性及び概要

小田川は高梁川と比べて勾配が緩く、洪水時には高梁川の水位の影響を受け、水位が長時間高くなる河川です。小田川沿川では、昭和47年7月洪水や昭和51年9月洪水で大規模な浸水被害が発生しており、地域からは抜本的な対策が望まれています。本事業は、戦後最大規模(昭和47年7月)の洪水が再び発生しても、河川水の氾濫による小田川沿川の浸水被害を防止することを目的としています。

3. 平成26年度 予定事業内容

想定浸水戸数 約 3,500戸
 床上浸水戸数 約 3,100戸
 床下浸水戸数 約 400戸

※S47.7洪水規模発生時における
 小田川(国管理区間)沿川の浸水戸数



貯水池を利用して現在の合流点を約4.6km下流に付け替えるもので、平成26年度は事業区域内の補償を実施します。

4. 期待される整備効果

小田川沿川は市街化の進行が著しく、住宅総数は約30年間で1.4倍に増加しており、小田川合流点付替えにより安心安全な生活基盤が形成されます。また、高梁川の酒津地点では洪水がひとたび氾濫すると倉敷市の中心市街地に甚大な被害が発生するおそれがありますが、小田川合流点付替えにより、この水害リスクも低減します。

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

国の天然記念物に指定されているアユモドキは、かつて岡山県内で広く生息していましたが、近年著しく減少しています。吉井川は全国で初めて自然産卵場所が特定され、辛うじて維持されている環境を、専門家や地域が一体となって保全する取組みが行われています。

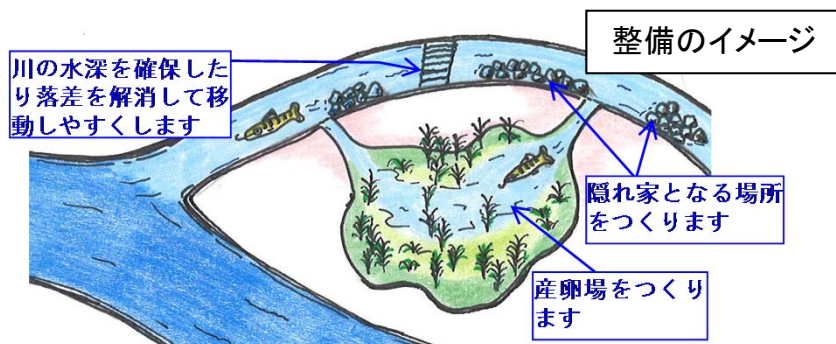
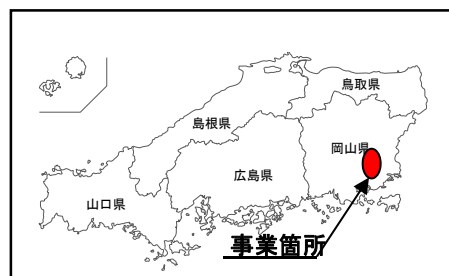
アユモドキは繁殖のため、一時的水域と河川から用水路、水田等を自由に移動できる連続性が必要だと言われています。吉井川を管理する国土交通省では、市民や関係行政機関等と連携したエコロジカルネットワークの整備を推進しています。

2. 事業箇所

岡山県岡山市東区瀬戸地区

3. 平成26年度 予定事業内容

吉井川瀬戸地区においてモニタリング調査を実施します。



アユモドキの生息環境の悪化



工作物による移動の妨げ



魚の隠れ家の減少



外来種による捕食

アユモドキとは



アユモドキはドジョウのなかま
で、形や色がアユに似ている
ことから、この名前がつけました。
琵琶湖淀川水系と岡山県の旭
川・吉井川水系だけに分布する
種です。

4. 期待される整備効果

アユモドキが生息できる良好な環境を再生することで、絶滅の回避・種の保存に繋がります。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

高梁川水系の潮止堰は塩害防止ならびに取水を目的として整備されていますが、近年、天然アユの遡上が減少しています。

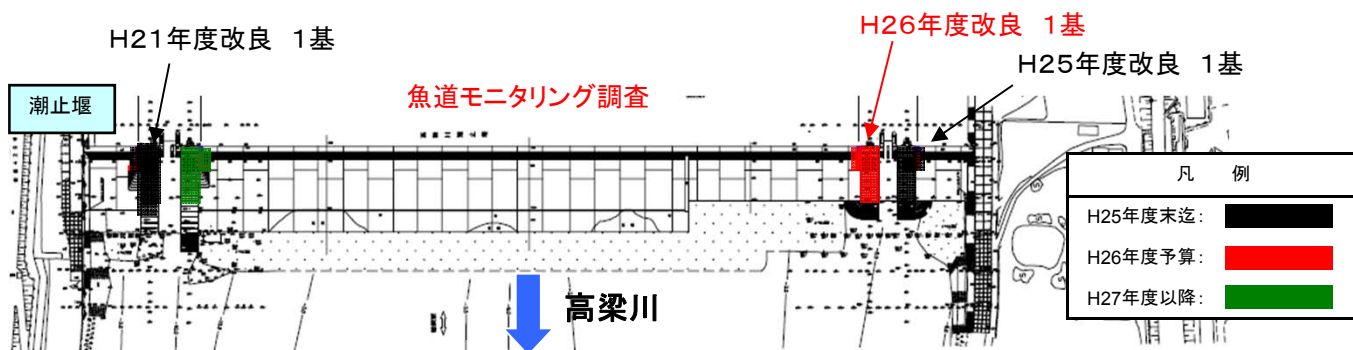
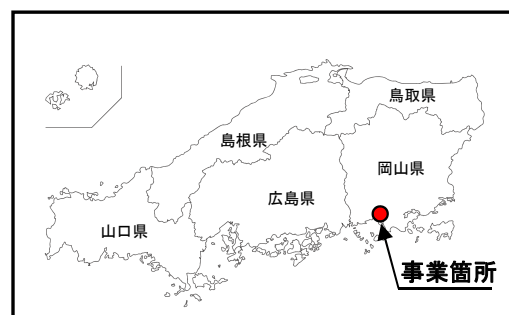
潮止堰には魚道が4基設置されているものの、十分な機能を発揮していないことが過年度調査で判明しているため、魚道改良を実施することにより、生息環境の縦断的な連続性を確保し、魚類等の生息条件の改善を図ります。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市高梁川下流地区

3. 平成26年度 予定事業内容

高梁川下流地区において、魚道整備N=1基、モニタリング調査を実施します。



4. 期待される整備効果

魚道改良の実施により汽水域と淡水域の連続性を確保することで、天然アユ等の降海型の魚類などの生息条件の改善を図ることにより、河川本来が持つ生息・生育環境を確保する機能を回復します。

ごうのかわ
江の川上流一般河川改修事業
 もんで
(門田地区)

事業費336百万円
 ※江の川上流全体

河-18

【広島県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

門田地区は、堤防未整備箇所であり、流下能力が不足しています。昭和47年7月洪水では家屋浸水被害10戸が発生しており、近年でも浸水被害が発生しています。

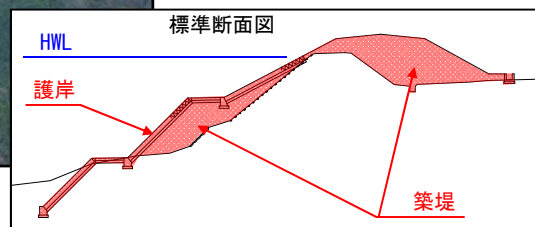
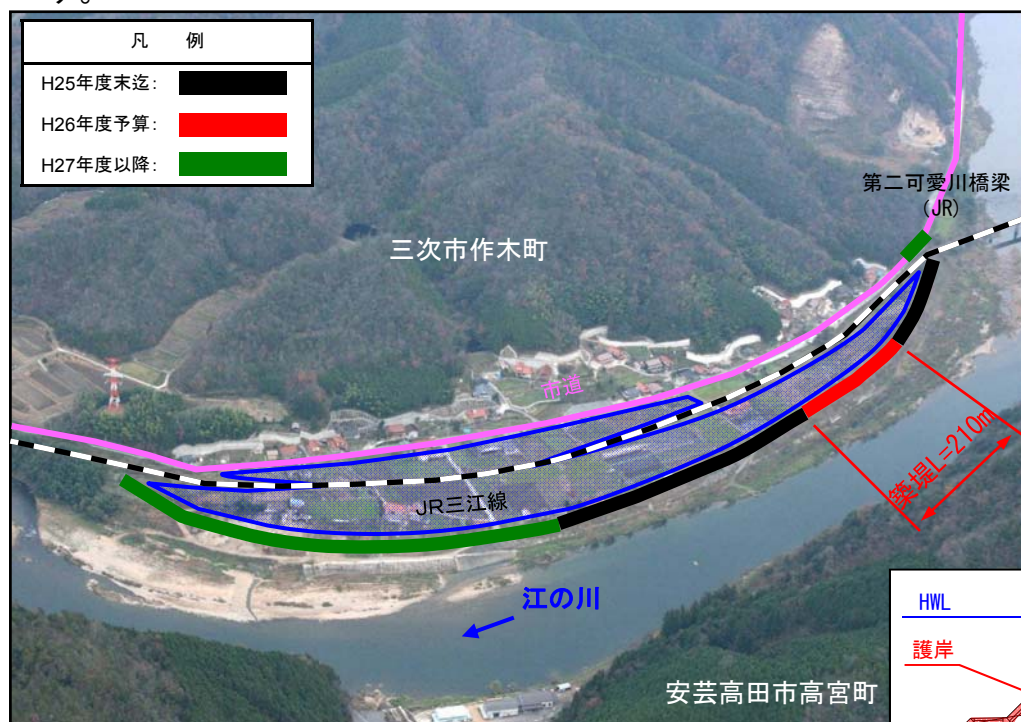
このため、浸水被害の防止が急務となっており、堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

広島県三次市作木町門田地区

3. 平成26年度 予定事業内容

江の川上流門田地区において、築堤L=210mを実施します。



4. 期待される整備効果

戦後最大の昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ごうのかわ
江の川総合水系環境整備事業
 はたじき みよし やつぎ みずべ がっこう
 (畠敷地区(三次市八次水辺の楽校))

事業費68百万円
 ※江の川水系全体

河-19

【広島県】

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

三次市八次子どもの水辺協議会において自然体験活動プランや整備内容を定めた「水辺の楽校構想」が策定され、平成25年3月29日付で「三次市八次水辺の楽校」が水辺の楽校プロジェクトに登録されました。地域の個性やニーズに対応した河川整備を行うため実施している「地域と連携した川づくり」の中のひとつの施策として、地域の方々と協力して子ども達の自然体験や環境学習を支援するための水辺空間の整備を行うこととしています。

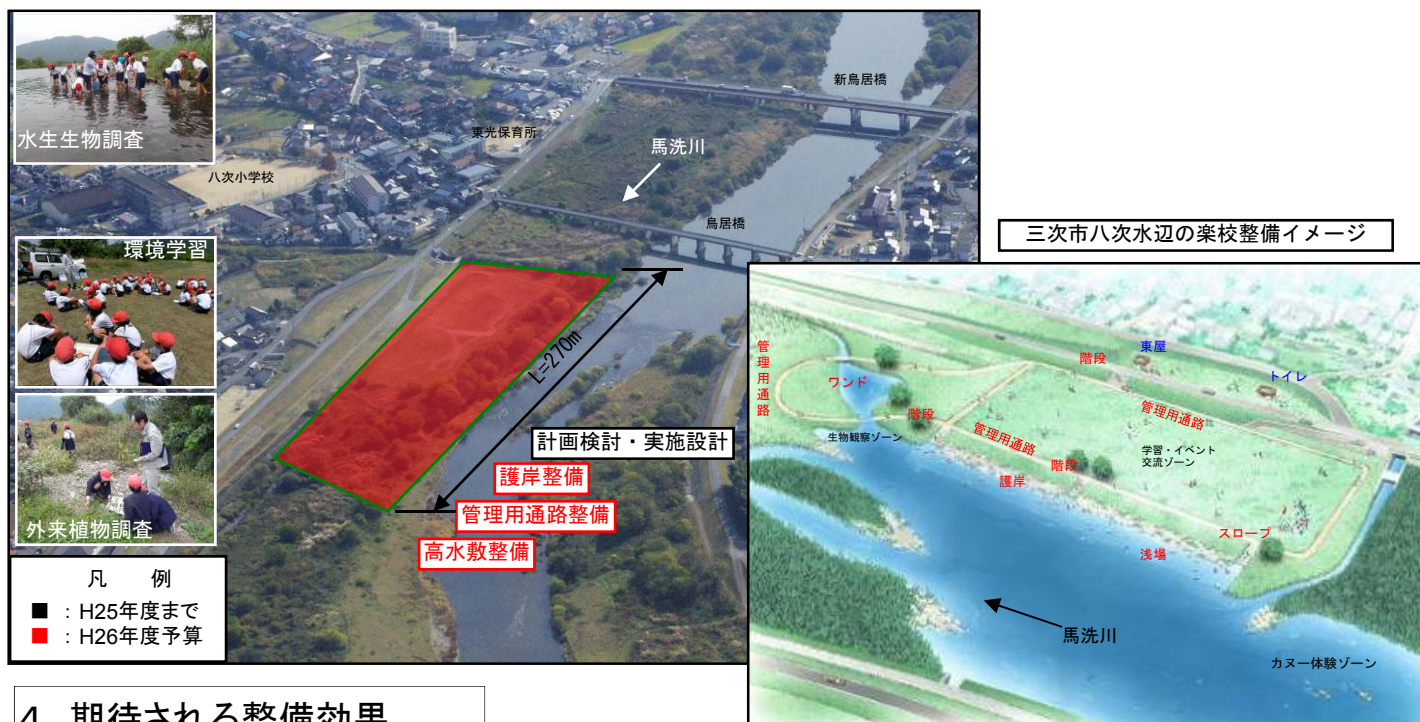
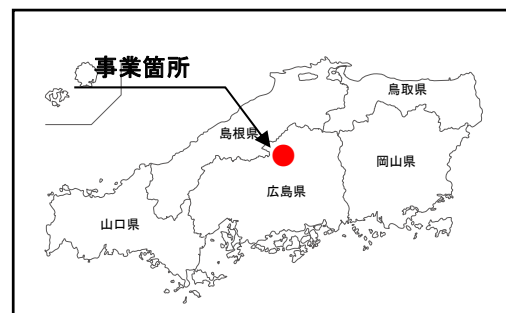
河川管理者である国土交通省では、三次市及び地域と連携し、安全・安心な河川利用ができるようワンド・浅場や通路の整備を実施します。

2. 事業箇所

広島県三次市畠敷地区

3. 平成26年度 予定事業内容

江の川畠敷地区において、護岸、河川管理用通路、高水敷整正の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

河川管理施設の整備及び自治体が東屋・トイレを整備することで、自然体験や環境学習の活動、日常利用など児童や地域住民の河川利用の安全性を確保し、河川利用者及びレクリエーションの増大、地域活性化にも貢献できます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

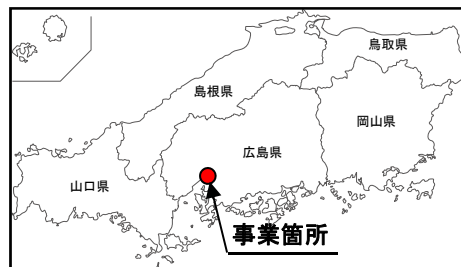
「ゼロメートル地帯」の広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、また、大規模な地震による液状化現象が発生した場合には、堤防等が沈下・崩壊する可能性があり、満潮時には河川水や海水が市街地へ流入し、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。

このため、広島市街地を高潮被害から防御することを目的として、高潮対策事業を実施しています。

なお、早期に事業を完成させるため、市・県・国の河川事業と海岸事業が連携して高潮対策事業を推進しています。

2. 事業箇所

広島県広島市、
安芸郡海田町



凡例:

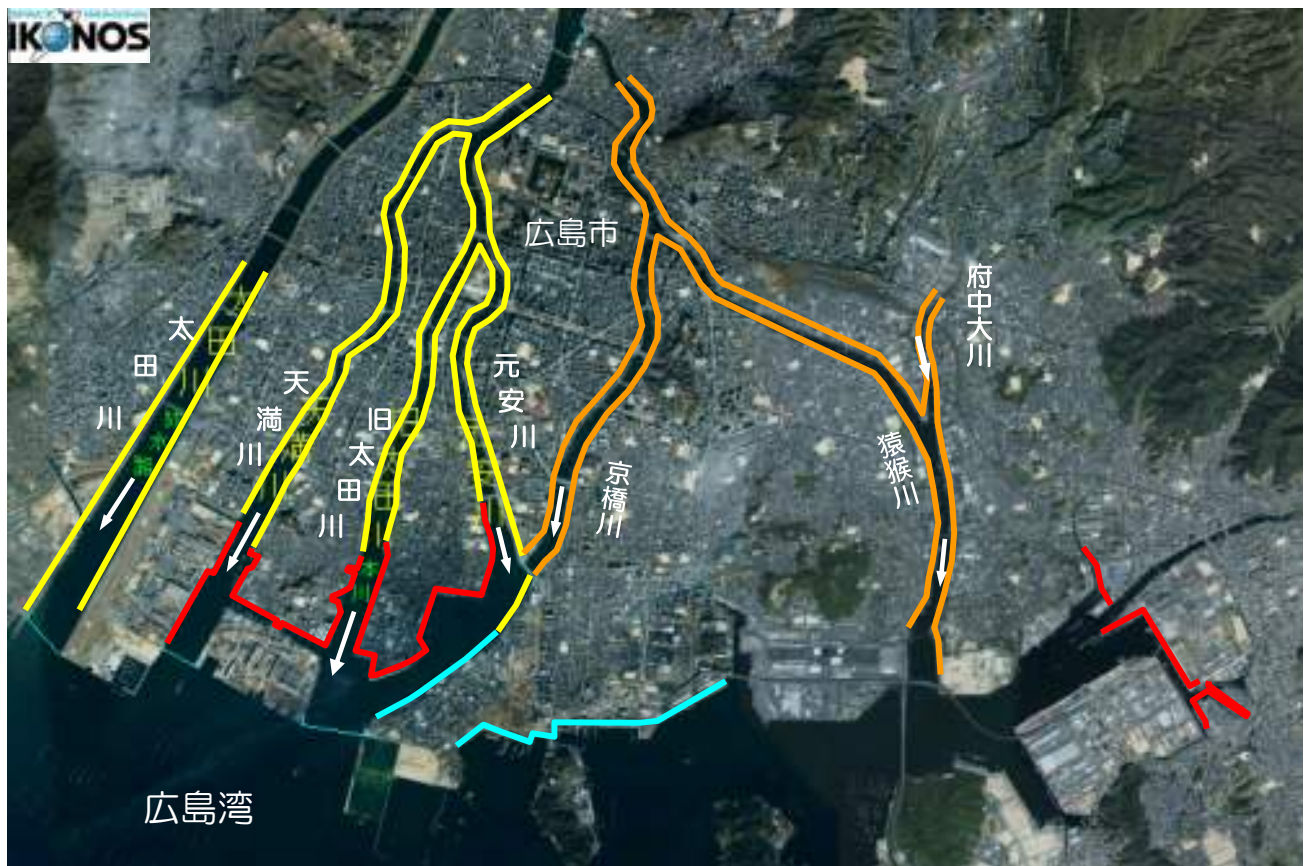
河川直轄整備区間

河川補助計画区間

海岸直轄整備区間

海岸補助計画区間

注) 河川・海岸補助は、社会資本整備総合交付金へ移行



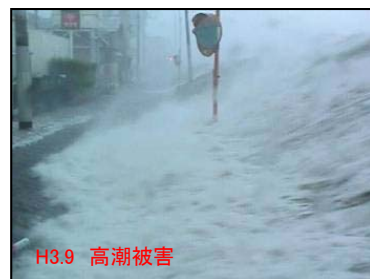
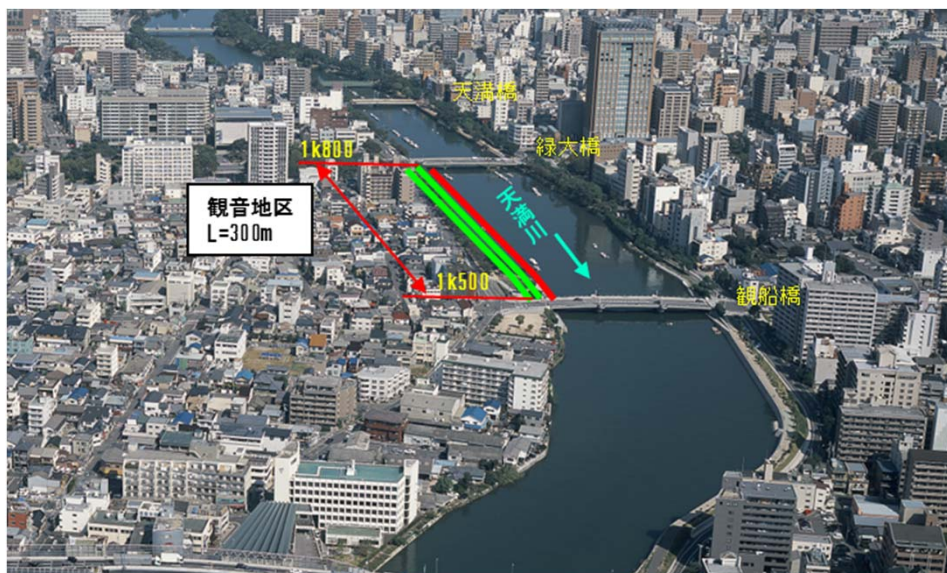
3. 平成26年度 予定事業内容

河川事業区間について

広島市街地では、近年度々(H3、H11、H16(観測史上最高潮位を観測 TP+2.96m))高潮による浸水被害が発生しており、浸水被害が発生した区間を「再度災害防止区間」に位置づけ重点的に整備を進め、平成24年度には当該区間においては、再度災害防止の目標堤防高(T.P.+3.40m)を整備済みです。

てん ま がわ かん おん

平成26年度は、天満川の観音地区において、高潮堤防の整備を実施します。



海岸事業区間について

広島市街地は、平成16年の台風等、過去数次に渡り高潮被害を受けています。また、今後発生が危惧される東南海・南海地震への対策も進める必要があります、さらに平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、海岸事業の重要性がより一層高まっているところです。

かんおん

え ば よしじま

このため、平成23年度整備完了の中央西地区(観音)に続いて、中央西地区(江波、吉島)中央東地区(矢野、船越)において、高潮、津波に対応するため、護岸の嵩上げ、耐震改良を実施します。



4. 期待される整備効果

- 河川・港湾海岸が一体的に高潮対策を実施することで、広島市街地に甚大な浸水被害をもたらした、平成16年高潮が再び発生した場合にも浸水被害の防止・軽減を図ることができます。
- 広島市街地の海岸護岸の嵩上げ、耐震改良、液状化対策を実施することにより、背後の市街地の浸水被害を防止・軽減し、市民の皆様の生命、財産を守ります。

おおたがわ
太田川一般河川改修事業
なかぐみ
(中組地区)

事業費1,623百万円
※太田川水系全体

河-21

【広島県】

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、家屋の床上浸水をはじめとする甚大な被害が沿川で発生しました。

中組地区では、床上浸水家屋5戸、床下浸水家屋5戸をはじめとする約1haの浸水被害が発生しており、再度災害の防止を図る必要があります。

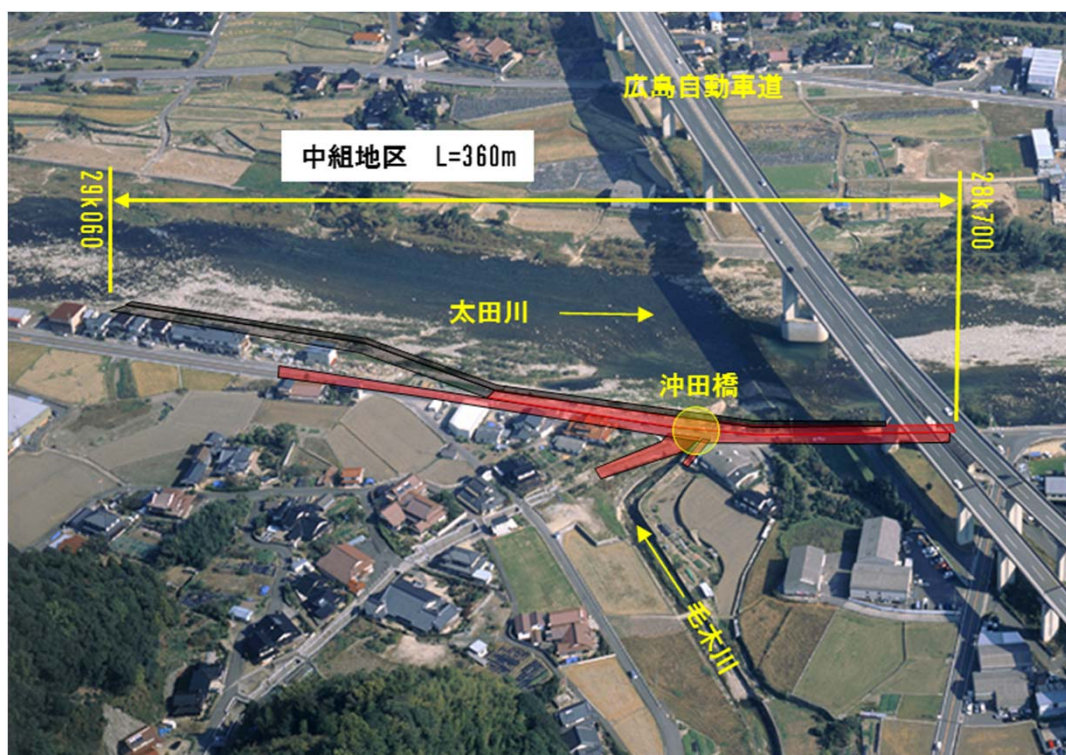
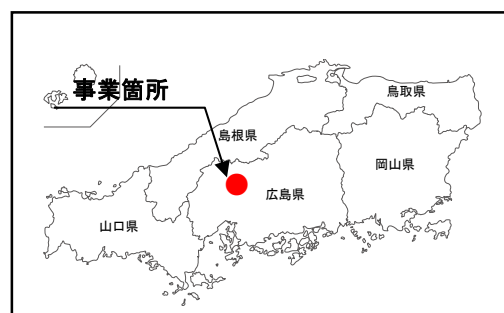
このため、道路改良事業と連携し、堤防整備、橋梁改築等を実施し、平成26年度に事業を完了させる予定です。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区中組地区

3. 平成26年度 予定事業内容

太田川中組地区において、築堤L=200m、橋梁上部を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画で定めた目標である平成17年9月の台風14号による洪水が再び発生した場合においても、家屋の床上浸水被害の防止が図られます。

おおたがわ
太田川一般河川改修事業
わきた
(**脇田地区**)

事業費1,623百万円
※太田川水系全体

河-22

【広島県】

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、家屋の床上浸水をはじめとする甚大な被害が沿川で発生しました。

脇田地区では、床上浸水家屋2戸及び床下浸水家屋2戸をはじめとする約2.5haの浸水被害が発生し、再度災害の防止を図る必要があります。

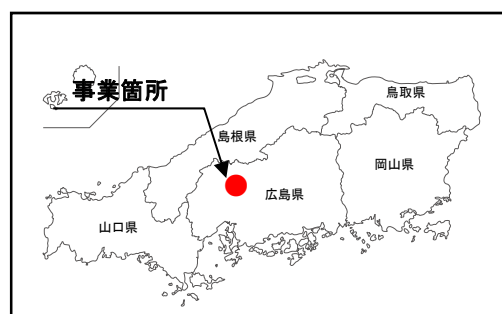
このため、堤防整備等を実施し、平成26年度に事業を完成させる予定です。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区脇田地区

3. 平成26年度 予定事業内容

太田川脇田地区において、築堤 $L=200m$ 、橋梁嵩上げを実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画で定めた目標である平成17年9月の台風14号による洪水が再び発生した場合においても、家屋の床上浸水被害の防止が図られます。

おおたがわ
太田川流域治水整備事業
やぐちがわ
(矢口川総合内水緊急対策事業)

事業費267百万円

河-23

【広島県】

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

矢口川は流域面積 5.2km^2 の一級河川ですが、その下流部は昭和40年代以降に宅地化が進み、平成17年、22年と立て続けに内水による浸水被害が発生しています。

このため、平成24年7月に、国・県・市・地域が協働で内水対策を行う「矢口川総合内水対策計画」を策定し、国は排水機場の増設($4\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 12\text{m}^3/\text{s}$)を実施することとなっています。

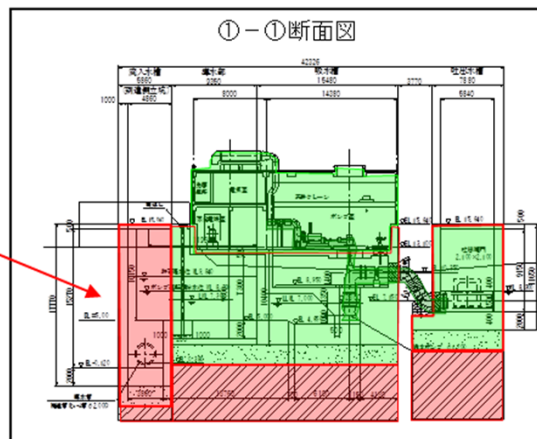
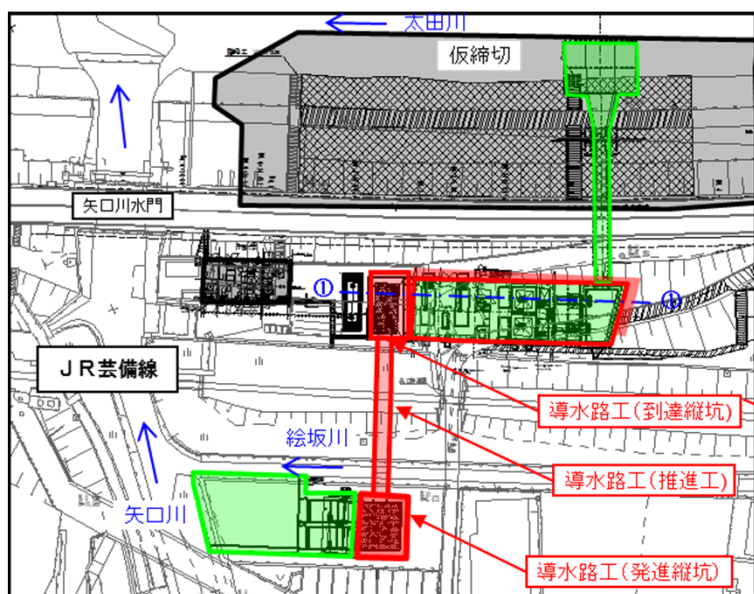
2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区矢口地区



3. 平成26年度 予定事業内容

太田川矢口地区において、導水路、地盤改良等を実施します。



4. 期待される整備効果

矢口川における内水対策の計画規模である年超過確率1/10規模の洪水が発生した場合においても、床上浸水被害の防止が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

堤防上の管理用通路も、水鳥緑道として広島市によって整備がなされていますが、昭和橋(国道54号)において水辺利用の連続性が遮断されています。道路を横断することなく河川沿いを安全に移動できるように、まちづくりと一体となった水辺を散策できる憩える空間の整備としてアンダーパス整備を実施します。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐南区祇園地区

3. 平成26年度 予定事業内容

太田川祇園地区において、管理用通路等の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

昭和橋アンダーパスが完成すれば、唯一残っている交通量が多い道路箇所との平面交差が一連区間内で解消されます。

また、低水路部の河川巡視が容易となり、河川管理の向上が図れるとともに、上下流の自然と触れ合える水辺利用の連続性が確保されます。

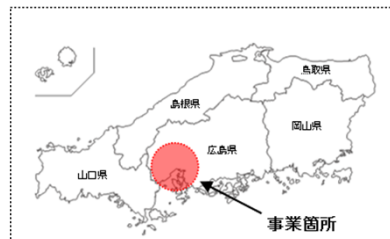
1. 事業の必要性及び概要

事業推進

広島西部山系では、平成11年6月29日に発生した大規模な土砂災害を契機として、平成13年度から直轄砂防事業に着手しており、土砂災害から人命や資産及び主要交通網（山陽自動車道、山陽新幹線等）を保全することを目的とした事業を展開しています。

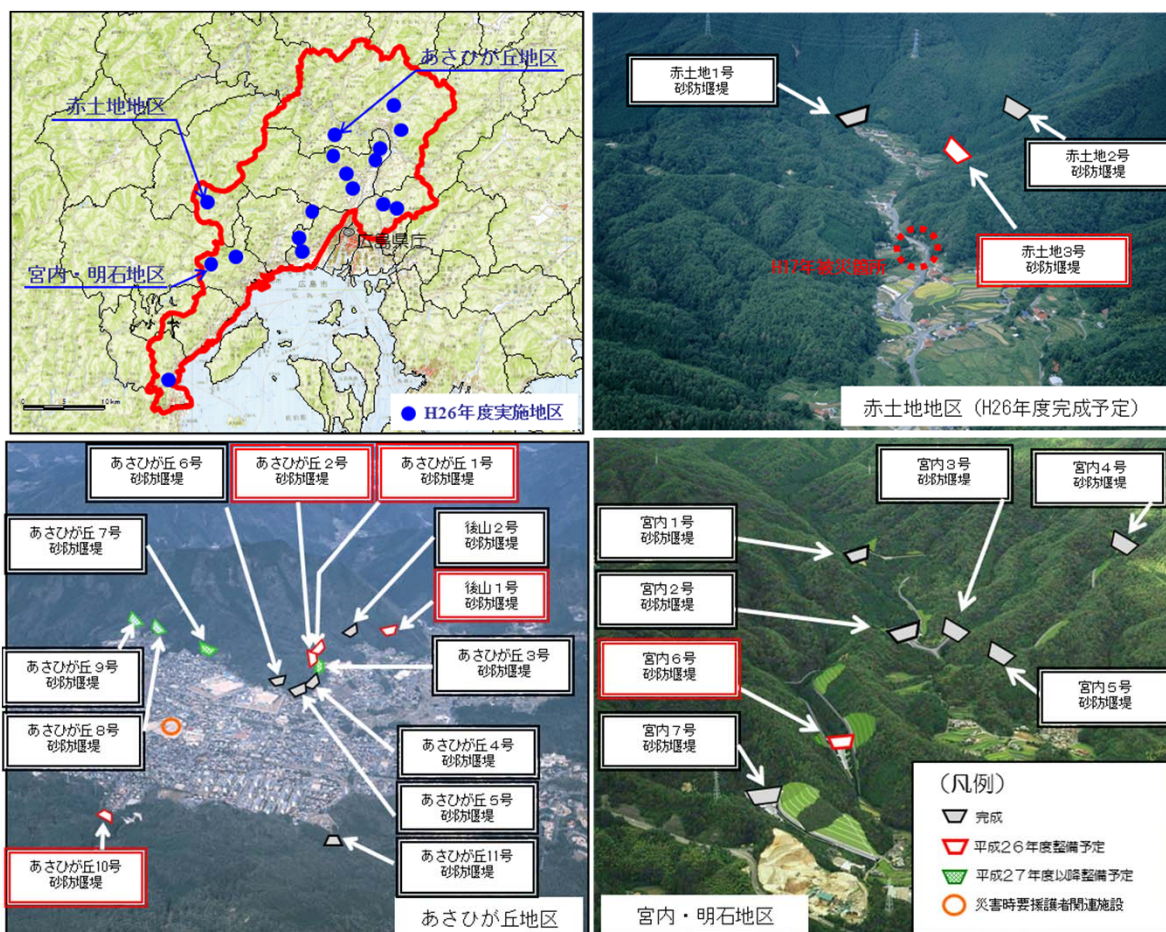
2. 事業箇所

広島県広島市、廿日市市、大竹市



3. 平成26年度 予定事業内容

あさひが丘地区、赤土地地区、宮内・明石地区など17地区で砂防施設の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

土石流が発生する危険性のある溪流の下流に人家や災害時要援護者関連施設等が位置している地区において、集中的に土石流対策を推進し、安全で誰もが安心して暮らせる地域づくりを図ります。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

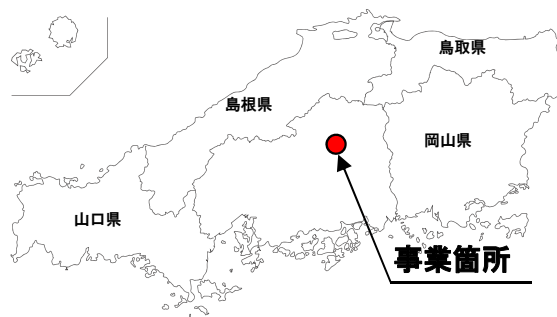
一級河川江の川水系西城川は、過去から度々、洪水被害が発生し、平成22年7月の局地的な豪雨では、庄原市川西町周辺においても大きな被害が発生しました。

また庄原市では、水道の未普及地域の解消や老朽化した明賀池の水源振替として、早期の整備が求められています。

平成26年度は、引き続きダム本体工事を推進し、庄原生活貯水池整備事業の進捗を図る予定です。

2. 事業箇所

広島県庄原市川西町地区



3. 平成26年度 予定事業内容

ダム本体工事, 取水放流設備工事, 管理設備工事を実施します。



ダム本体 (H26年2月撮影)

4. 期待される整備効果

・洪水の調節

庄原生活貯水池整備事業の完成により、西城川及び大戸川沿川地域の洪水被害の軽減を図ります。

・ダム下流の既得用水の安定化及び河川環境の保全のための流量の確保

・水道用水の確保

庄原市に最大4,150m³/日の水道用水を新たに供給します。

さばがわ
佐波川一般河川改修事業
なみ
(奈美地区)

事業費511百万円
※佐波川水系全体

河-27
【山口県】

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

奈美地区は、堤防のない箇所や堤防の高さや幅が不足している箇所が存在しており、昭和47年7月洪水や平成21年7月洪水により、家屋の浸水被害が発生しています。

このため、堤防整備等により流下能力を確保し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

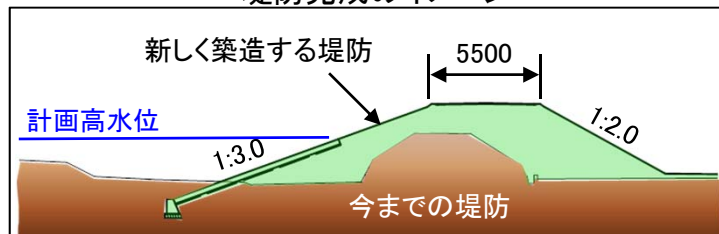
山口県防府市奈美地区

3. 平成26年度 予定事業内容

佐波川奈美地区において、築堤L=1,000m、用地買収を実施します。



堤防完成のイメージ



4. 期待される整備効果

昭和47年7月洪水や平成21年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の軽減が図られます。

さばがわ
佐波川総合水系環境整備事業
しんばし
(新橋地区(新橋地区かわまちづくり))

事業費15百万円
※佐波川水系全体

河-28

【山口県】

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

防府市では、第四次防府市総合計画「防府まちづくりプラン2020」において、歴史や文化の色濃いまちとの回遊散策空間を形成させることで、地域の活性化を推進することとしています。

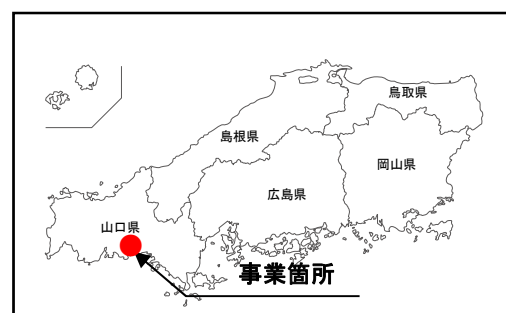
河川管理者である、国土交通省では、防府市及び地域と連携し、水辺・水面利用時の安全性と快適性が確保されるよう河川管理用通路やワンド整備等を実施します。

2. 事業箇所

山口県防府市新橋地区

3. 平成26年度 予定事業内容

工事実施に向けて測量・設計等を実施します。



佐波川・新橋箇所

4. 期待される整備効果

○防府市の賑わいの創出や川に親しむ機会の創出が期待されます。

○佐波川とその周辺地域の自然環境、豊富な歴史や文化資産等を繋ぐ場として、市民や他より訪れる方に活用されることが期待されます。

おぜがわ
小瀬川一般河川改修事業
なかつはら おぜ
(中津原・小瀬地区)

事業費282百万円
※小瀬川水系全体

河-29

【山口県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

小瀬川は、甚大な被害を被った昭和26年のルース台風による洪水等の被害を契機に、本格的に治水事業を実施してきており、堤防の量的整備、洪水調節施設(弥栄(やさか)ダム)、固定堰の可動化(中市堰(なかいちぜき))を実施することで、下流部の流下能力は計画高水流量をほぼ満足しています。

しかし、中津原・小瀬地区は狭窄部であるため、流下能力の確保が必要です。

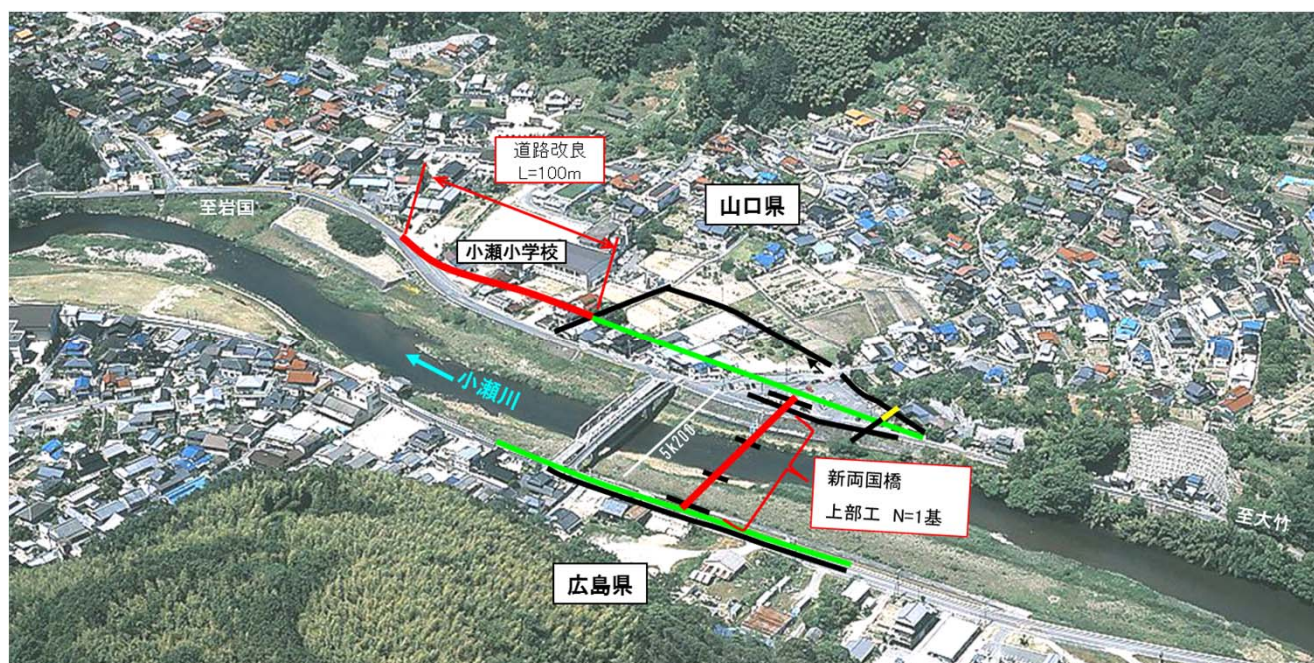
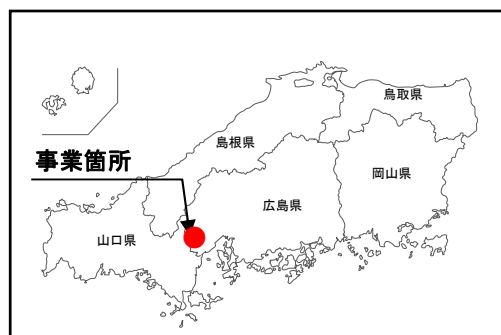
また、当該箇所にかかる両国橋(広島・山口両県を結ぶ主要地方道岩国大竹線)は、幅員拡張と老朽化対策のため、道路管理者において橋梁改築が必要となっています。

2. 事業箇所

広島県大竹市中津原 ～ 山口県岩国市小瀬地区

3. 平成26年度 予定事業内容

小瀬川中津原・小瀬地区において、橋梁上部工等を実施します。



4. 期待される整備効果

資産が集中している小瀬、中津原箇所より下流域において、計画高水流量 $1,000\text{m}^3/\text{s}$ の概ね9割程度の流下能力が確保されることで、浸水被害の軽減が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

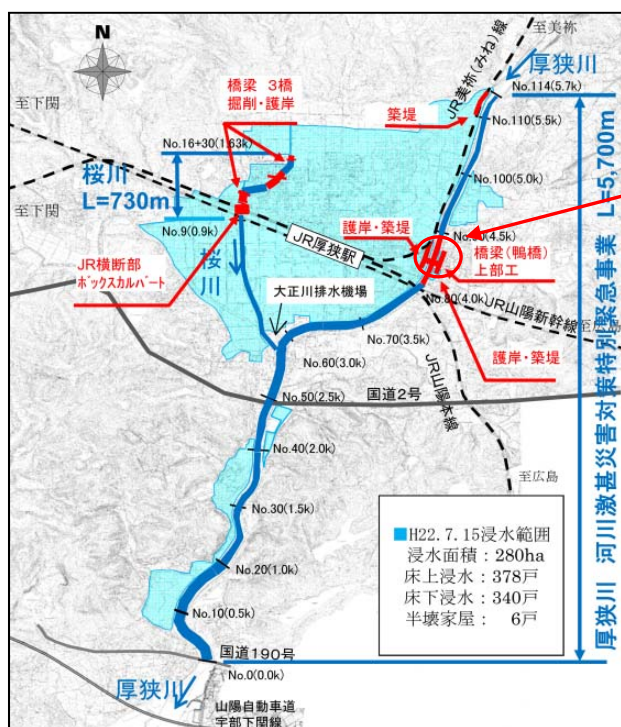
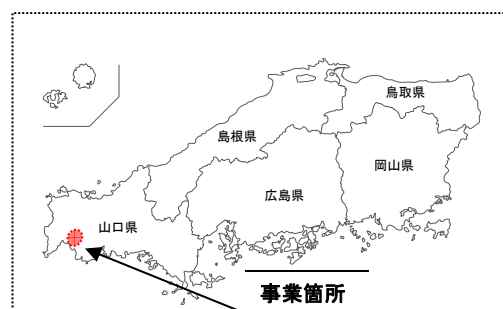
平成21年7月中国・九州北部豪雨により、浸水面積113ha、床上浸水32戸、床下浸水94戸の甚大な被害が発生しました。また、平成22年7月15日の梅雨前線豪雨により、浸水面積280ha、床上浸水378戸、床下浸水340戸、半壊家屋6戸の甚大な被害が発生したため、河川激甚災害対策特別緊急事業により、早急に再度災害防止を図ります。

2. 事業箇所

山口県山陽小野田市厚狭地区

3. 平成26年度 予定事業内容

厚狭川及び支川桜川において、河道拡幅を実施します。



引堤区間
 (鴨橋周辺)



河道拡幅に伴い架け替えられる鴨橋周辺(厚狭川)の完成予想図

凡 例
H26年度予算: ■

4. 期待される整備効果

河道整備を行うことにより、平成22年7月の梅雨前線豪雨による浸水被害の再度災害防止を図ります。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

平成25年7月28日に山口県北東部の旧田万川町(現萩市)において、24時間最大雨量378mm、1時間最大雨量112mmを観測する豪雨となり、田万川流域では越水や堤防欠壊による溢水、家屋浸水等、甚大な被害が発生しました。

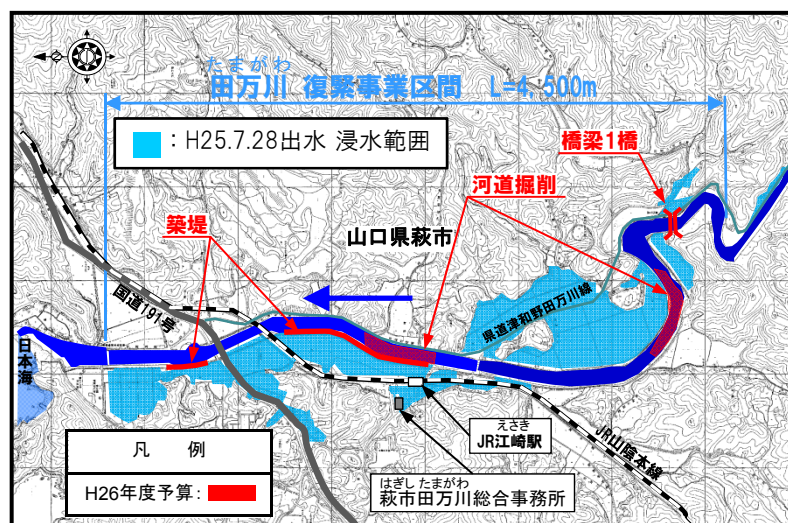
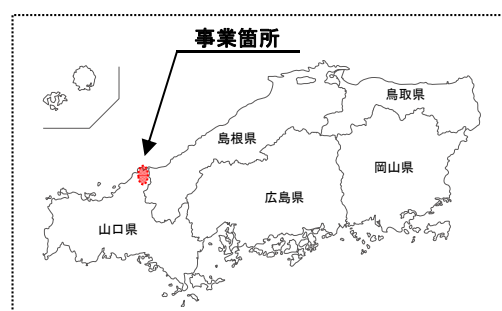
再度災害防止のため、河道掘削や築堤、橋梁架替による河積の拡大を実施します。

2. 事業箇所

山口県萩市下田万～上田万地区

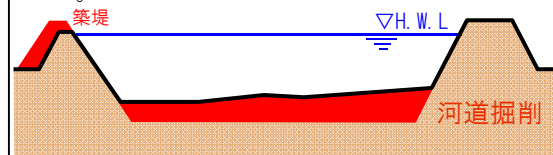
3. 平成26年度 予定事業内容

河道掘削、築堤等を実施します。



田万川復緊事業の対策

○上流の災害助成事業による下流部での流量増加への対応を行うため、河道掘削、築堤及び護岸等を実施します。



4. 期待される整備効果

河道掘削、築堤及び護岸整備をすることにより流下能力を確保し、平成25年7月28日豪雨による家屋の浸水被害132戸(復緊事業区間)の再度災害防止を図ります。

ひらせ 平瀬ダム建設事業（山口県）

事業費1,550百万円

河-32

【山口県】

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

平瀬ダムは二級河川錦川水系錦川に建設する、洪水調節、既得用水の安定化及び河川環境の保全等、水道用水、発電を目的とした多目的ダムです。錦川流域は過去から度々洪水被害を受けており、近年では平成17年に激甚な水害が発生していることから、抜本的な治水安全度の向上を図る必要があります。このため、錦川沿川地域の洪水被害の軽減等を図るため、平瀬ダムを建設します。

2. 事業箇所

山口県岩国市錦町地区

3. 平成26年度 予定事業内容

ダム本体工事、付替道路工事等を実施します。



平面図



平瀬ダム完成イメージ



4. 期待される整備効果

平瀬ダムの建設により、大雨の時に上流から流れ込む水を一時的に貯めることにより洪水調節を行い、錦川沿川の洪水被害を軽減します。また、水道用水の供給、発電等を新たに実施します。

1. 事業の必要性及び概要

新規着手

平成25年7月の豪雨により、土石流が発生し、下流の人家等に被害を及ぼしました。流域内には不安定土砂のほか、溪岸浸食や斜面崩壊が確認されるため、再度災害から集落を保全する必要があります。

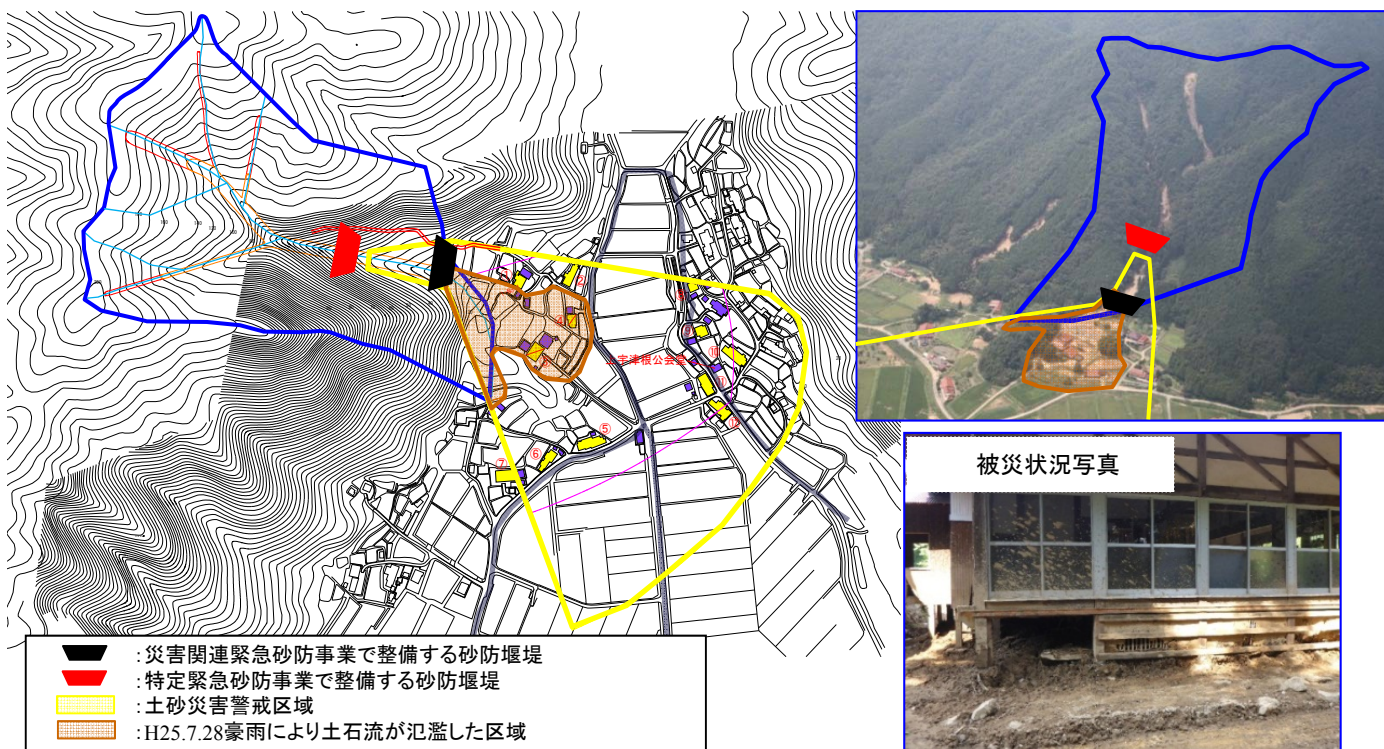
このため、平成25年度の災害関連緊急砂防事業に引き続き、平成26年度から特定緊急砂防事業により砂防堰堤の整備に着手し、平成28年度の完成を目指します。

2. 事業箇所

山口県山口市阿東徳佐中地区

3. 平成26年度 予定事業内容

測量・設計、用地買収、工事用道路を実施します。



被災状況写真



4. 期待される整備効果

土石流により災害が発生した箇所において、一定期間内に集中投資を行い緊急的に砂防堰堤を整備することで、被災した地区の再度災害防止を図ります。

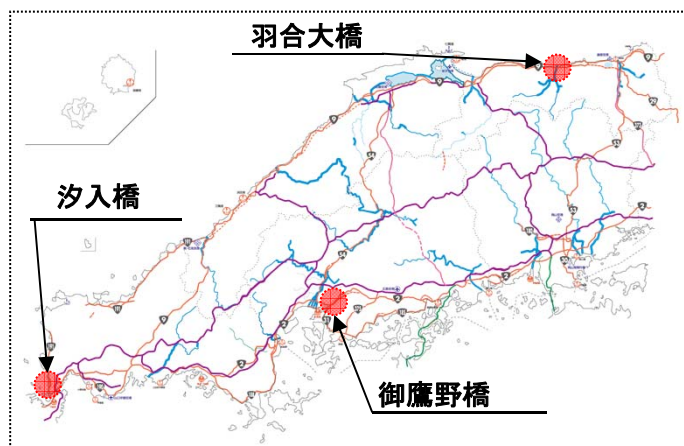
老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

定期点検の結果、修繕が必要と判断された羽合大橋・御鷹野橋・汐入橋を含む102橋の緊急的な修繕を実施することで、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

羽合大橋・御鷹野橋・汐入橋を含む102橋
(鳥取県:12橋、島根県:36橋、岡山県:22橋、
広島県:16橋、山口県:16橋)



3. 平成26年度 予定事業内容

【代表事例】

- ・羽合大橋(鳥取県東伯郡湯梨浜町橋津) : 橋桁の補修
- ・御鷹野橋(広島県安芸郡海田町曾田) : 床版の断面修復
- ・汐入橋(山口県下関市汐入町) : 橋桁の補修

全景



損傷状況



剥離・鉄筋露出

全景



損傷状況



ひび割れ

全景



損傷状況



剥離・鉄筋露出

山陰道 鳥取西道路

事業費17,800百万円

道-2
【鳥取県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

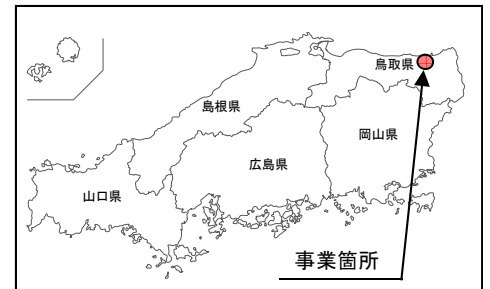
山陰道 鳥取西道路は、災害時の代替路の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的とした、鳥取市本高から同市青谷町青谷に至る延長19.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市本高～鳥取市青谷町青谷

3. 平成26年度 予定事業内容

吉岡温泉IC～青谷IC間の平成29年度の開通に向け、改良工事、橋梁工事、埋蔵文化財調査等を推進します。



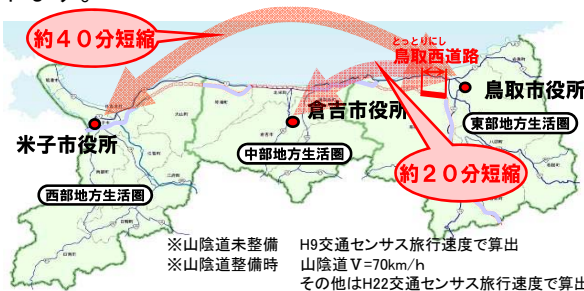
※用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査が平成27年度迄に完了する場合



4. 期待される整備効果

●所要時間の短縮

・鳥取西道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



●災害時等の代替路線の確保

・国道9号では、事故や災害等により通行止めが頻発しています。
・鳥取西道路の整備により、通行止めの影響を回避でき、安心して目的地へ向かうことができます。



鳥取9号交差点改良等 (宇谷地区歩道整備)

道-3

事業費48百万円【鳥取県】

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、沿道に民家が連担し地域の生活道路となっています。また、泊小学校や北浜中学校のバス利用の通学路として利用されていますが、歩道がなく狭い路肩を通行する区間や歩道が狭い区間があり、危険な状況となっています。

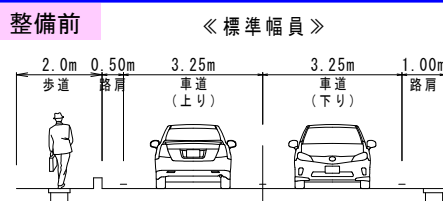
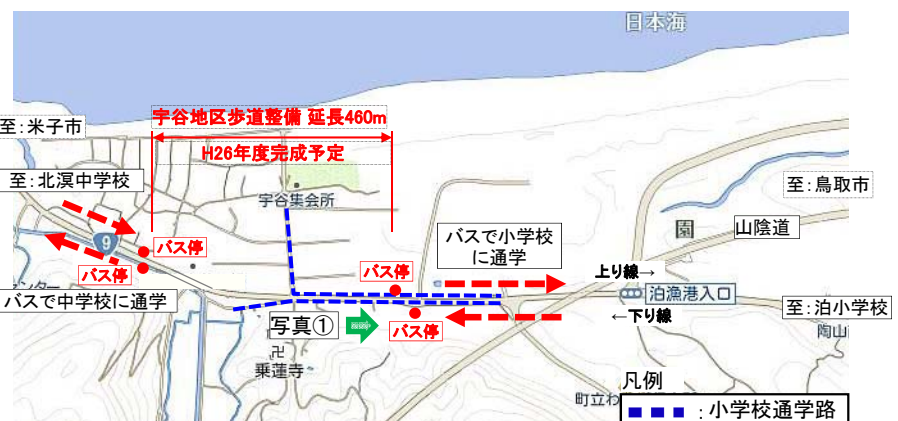
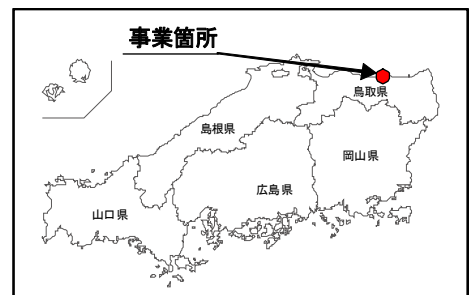
このため、歩道の整備を行い、学童等の歩行者が安心・安全に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

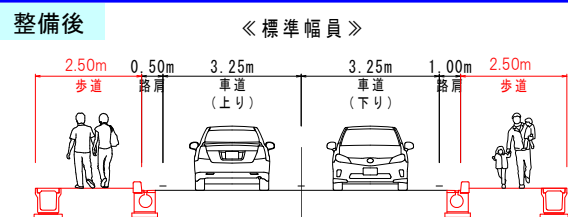
鳥取県東伯郡湯梨浜町宇谷

3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の完成に向け、用地買収、工事を推進します。



写真①通学状況



整備イメージ



鳥取53号交差点改良等 (市瀬歩道整備)

道-4

事業費 45百万円

【鳥取県】

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、智頭小学校のバス利用の通学路として利用されていますが、バス停までの歩道が無く、歩行者は路肩を通行する危険な状況です。

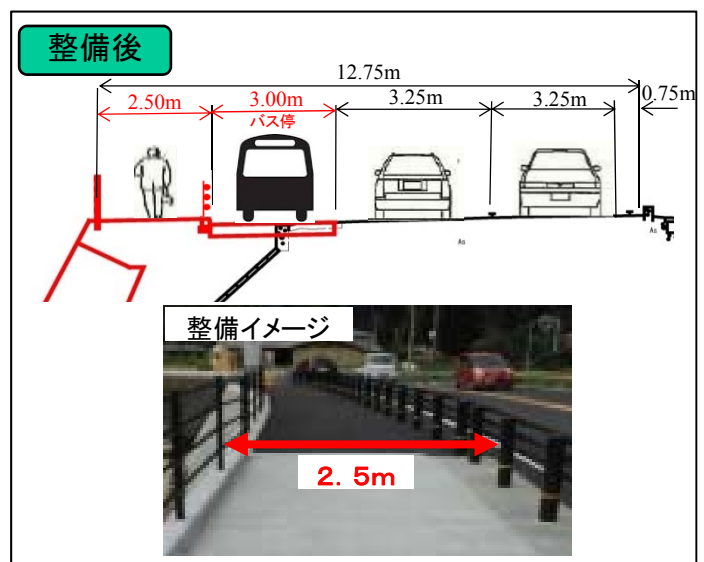
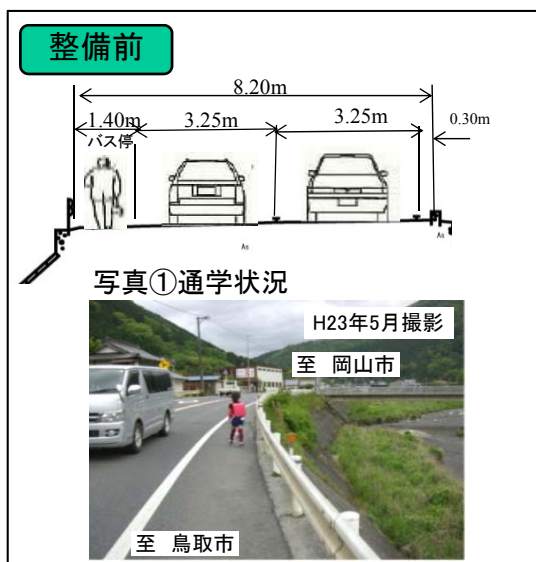
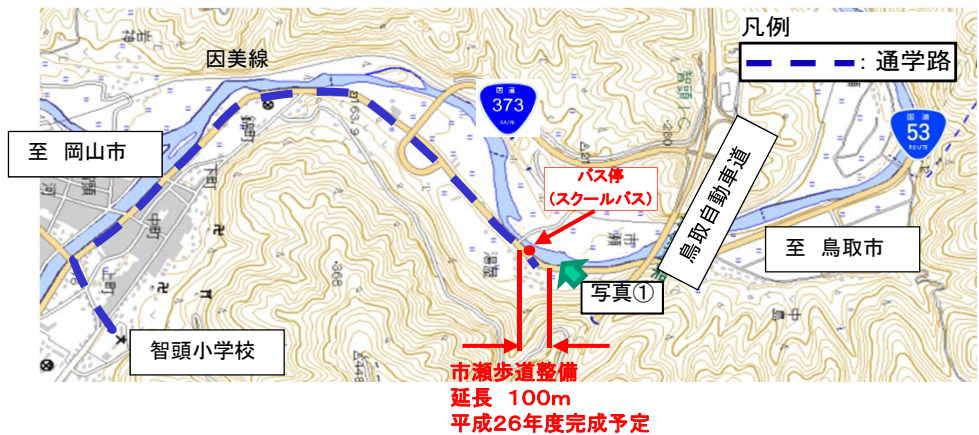
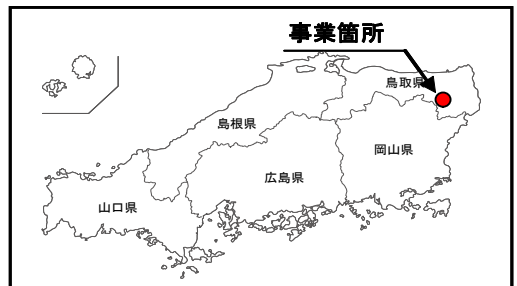
このため、歩道と正規なバス停の整備を行い、通学児童やバス利用者等が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

鳥取県八頭郡智頭町市瀬

3. 平成26年度予定事業内容

平成26年度の完成に向け、工事を推進します。



山陰近畿自動車道 岩美道路（鳥取県）

事業費3,000百万円

道-5

【鳥取県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

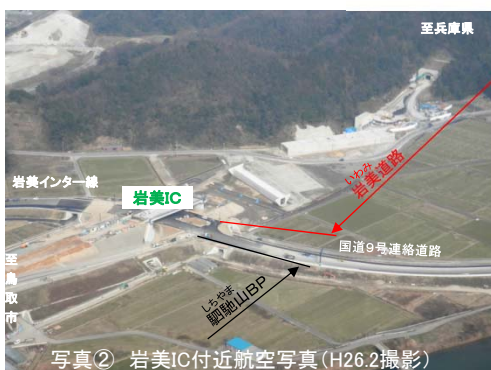
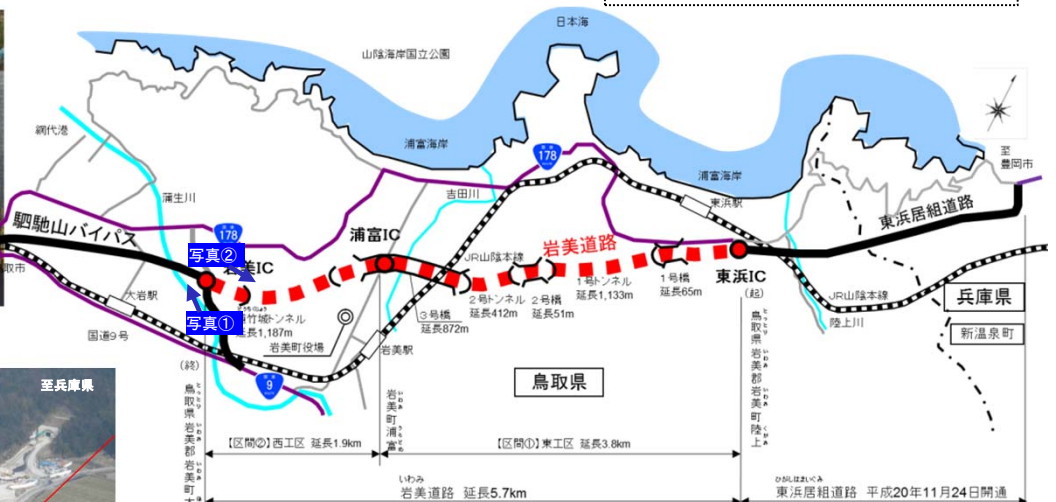
山陰近畿自動車道は、山陰道、鳥取自動車道、北近畿豊岡自動車道及び京都縦貫自動車道と一体となって広域的な循環ネットワークを形成する延長約120kmの地域高規格道路です。そのうち、一般国道178号 岩美道路は、災害時における代替路の確保や山陰海岸ジオパークエリアを活かして広域観光圏の形成等を目的とした延長5.7kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

鳥取県岩美郡岩美町

3. 平成26年度 予定事業内容

改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

■ 防災幹線ルート強化

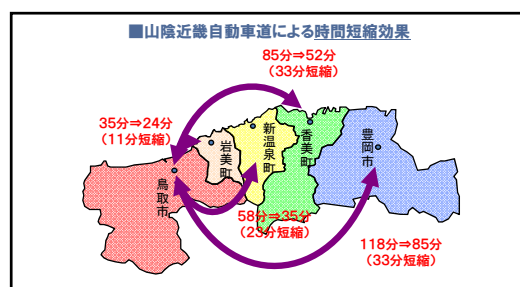
国道178号は、線形不良箇所や異常気象時に冠水する区間があり、通行止め等が頻発しています。岩美道路の整備により、代替路の確保されます。

■ 救急医療の支援

県境地域における消防署・高度医療施設へのアクセスが向上し、迅速な救急活動が可能となります。

■ 広域観光圏の形成

山陰海岸ジオパークエリアを活かした広域観光圏の形成を図り、地域の交流、活性化に寄与します。



事前防災
減災対策

1. 事業の必要性及び概要

うやがわ

敬川地区の防災対策を実施することで、災害発生時における被害を軽減し、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

2. 代表事業箇所

ごうつし うやがわちょう

島根県江津市敬川町

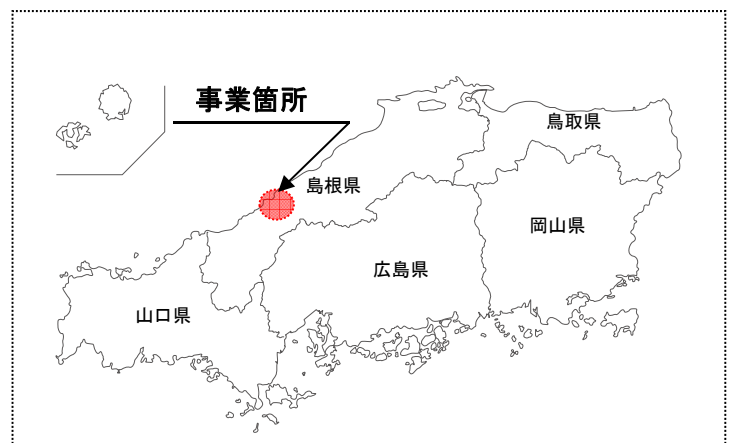
3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の完成に向け、約40m区間の落石防護柵設置・法面保護工事をを行います。

全景



平成25年8月24日の豪雨時に土砂崩れが発生し、通行規制を行いました。



近景

法面保護

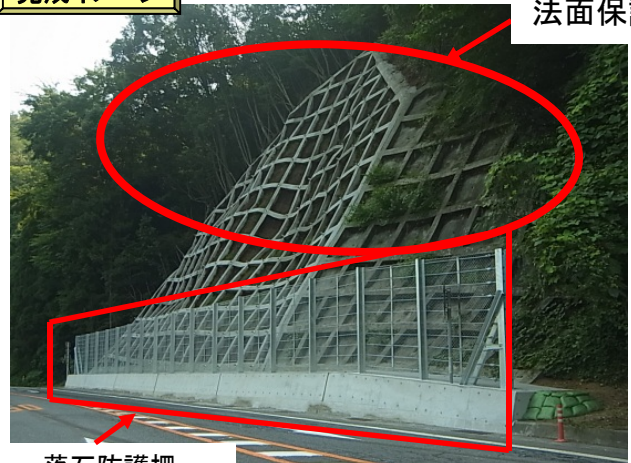


落石防護柵設置

平成25年8月24日の災害において
応急復旧工事を速やかに行いました。

完成イメージ

法面保護



落石防護柵

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 出雲～仁摩間は、島根県の東西の連絡性の強化、災害時の代替路の確保、現道の急カーブや急勾配の解消等を目的とした延長37.1kmの自動車専用道路です。

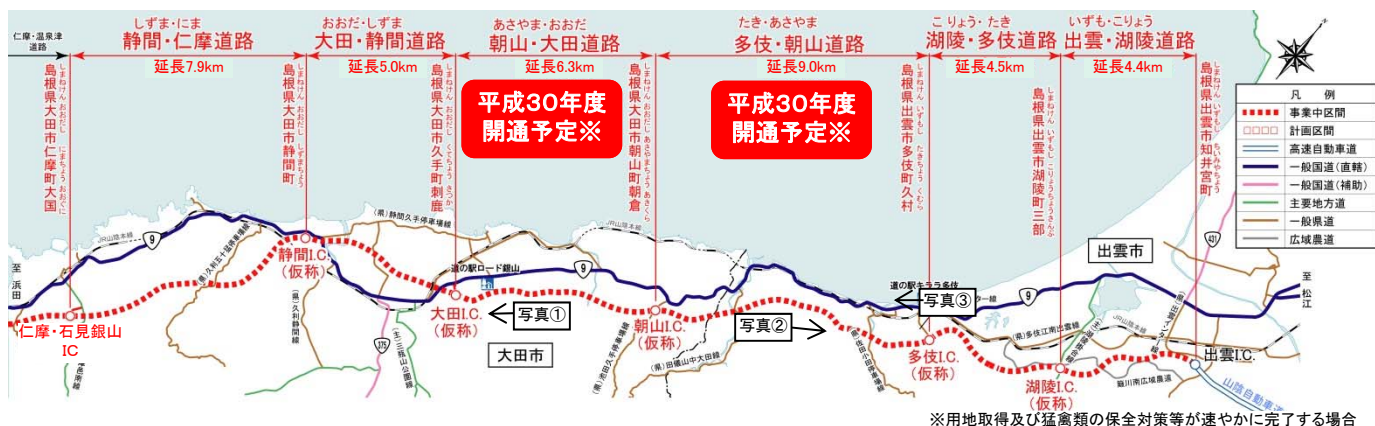
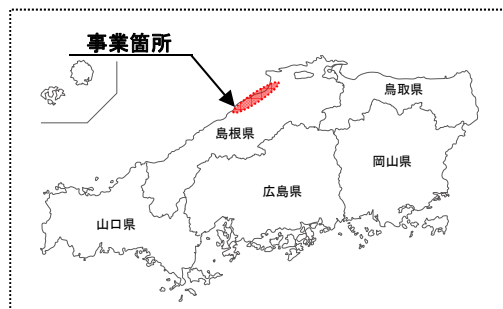
2. 事業箇所

島根県出雲市知井宮町～島根県大田市仁摩町大田

3. 平成26年度 予定事業内容

用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。

そのうち多伎IC～大田IC間は平成30年度の開通に向け、工事を全面展開し、湖陵IC～多伎IC間及び大田IC～静間IC間は、用地買収に着手します。



写真①江谷川橋を西方向に望む
(橋の脚を造っています)



写真②口田儀第1高架橋を東方向に望む
(車が走るところを造っています)



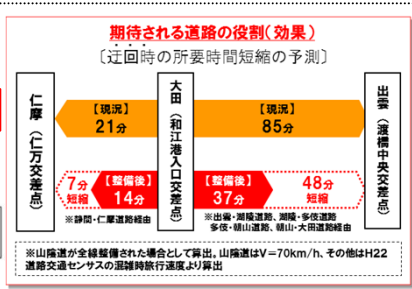
写真③多伎IC(仮称)を西方向に望む
(道路の高さまで山を切っています)

4. 期待される整備効果

■災害時の代替路の確保

当該区間では事故や災害による全面通行止めが生活や物流に大きな支障をきたしています。

山陰道の整備により、代替路が確保され道路の信頼性向上や東西幹線軸の強化が期待されます。



完成予定

山陰道 浜田・三隅道路

事業費5,070百万円

道-9

【島根県】

部分完成

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 浜田・三隅道路は国道9号浜田市内の交通混雑の緩和及び災害時の代替路の確保等を目的とした延長14.5kmの自動車専用道路です。

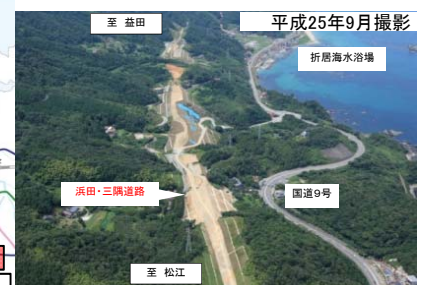
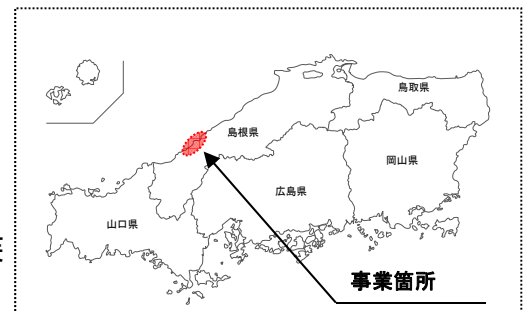
また、国立大学法人広島大学大学院と共同で行ってきた研究をもとに、島根県特産の石州瓦の廃材をコンクリートの材料として利用し品質向上、リサイクルの推進に取り組んでいます。

2. 事業箇所

島根県浜田市原井町～浜田市三隅町森溝上

3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の部分開通及び平成28年度全線開通に向け舗装工事、改良工事等を推進します。



写真①折居地区を望む



写真③折居川橋上部工事の施工状況
(コンクリート製の橋をかけています)



写真②力石地区改良工事の施工状況
(道路の高さまで山を切り、土を盛っています)



写真④廃瓦を用いた構造物
(廃瓦をコンクリートの材料として利用します)

4. 期待される整備効果

□災害時の代替路の確保

国道9号では、交通事故や積雪による全面通行止めが平均で年2回発生しています。

迂回時には浜田市役所と益田市役所間が通常の約1.7倍※の時間がかかります。

浜田・三隅道路の整備により、国道9号の代替路が確保され道路の信頼性向上や東西幹線の強化が期待されます。

※H22道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出



浜田市三隅町森溝上全面通行止めの状況
(平成25年3月)

山陰道 三隅・益田道路

事業費1,700百万円

道-10

【島根県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

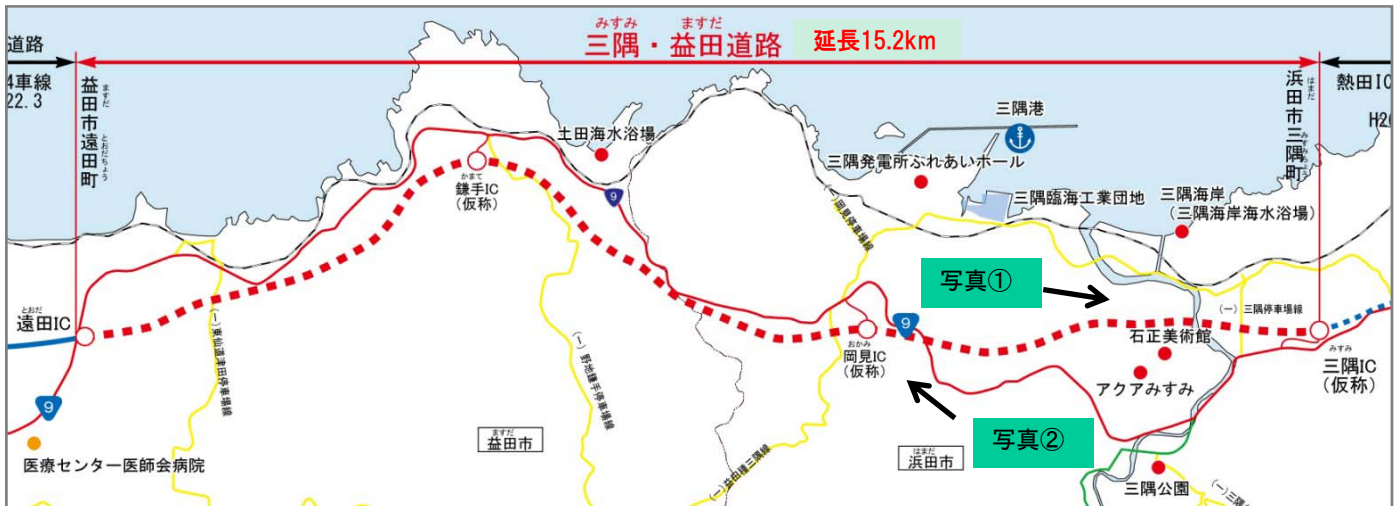
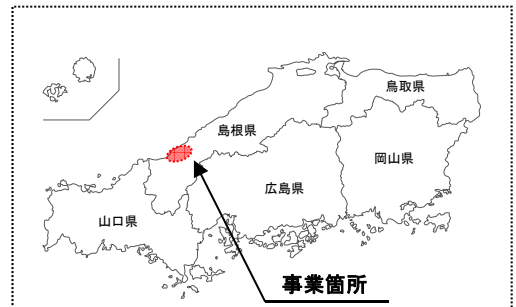
山陰道 三隅・益田道路は浜田市三隅町三隅から益田市遠田町間の緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設へのアクセスの向上等を目的とした延長15.2kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

島根県浜田市三隅町三隅～島根県益田市遠田町

3. 平成26年度 予定事業内容

道路詳細設計、橋梁詳細設計、トンネル詳細設計等を推進するとともに、用地買収に着手します。



4. 期待される整備効果

- 第3次医療施設の速達性の向上
第3次医療施設へのアクセス向上による救急医療サービスの向上や、医療施設間の所要時間が短縮することで、医療施設間の連携強化が期待されます。



60分圏域人口が約5千人増加

凡 例
 60分圏域(現況)
 60分圏域(浜田・三隅道路、三隅・益田道路整備後)

浜田・三隅道路、三隅・益田道路は70km/hで算出

島根9号交差点改良等 (林視距改良)

道-11

事業費393百万円

【島根県】

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

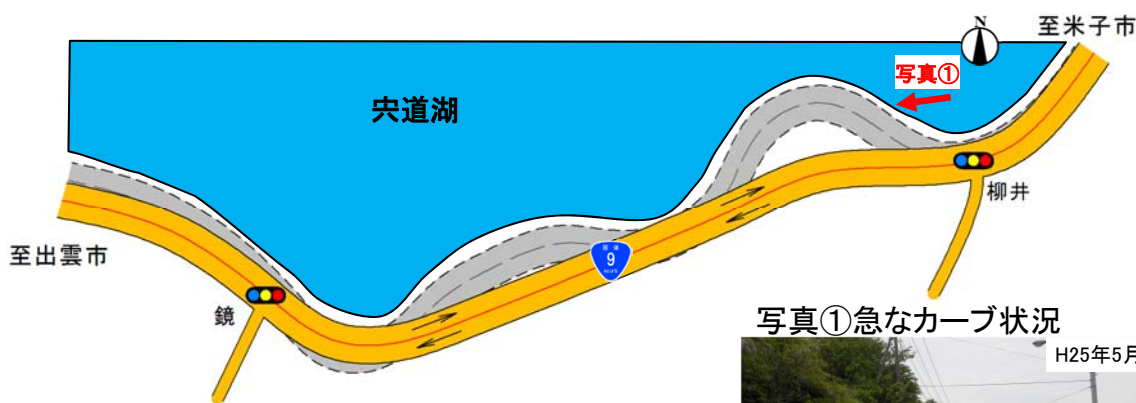
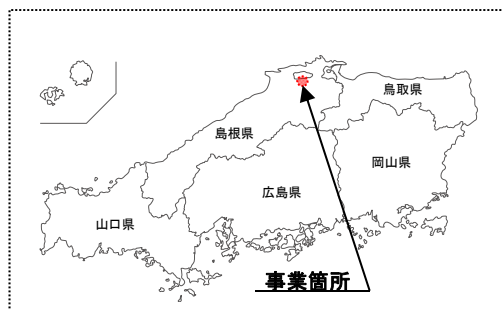
当該箇所は、急なカーブが連続し、見通しも悪く交通事故が多く発生していることから、山を削り急なカーブを解消し、あわせて歩道を設置することにより、安全性の向上を図るものです。

2. 事業箇所

まつえ たまゆちょう
島根県松江市玉湯町

3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の完成に向け、工事を推進します。



写真①急なカーブ状況



(現況の曲線半径140mを370mに改善します)

島根9号交差点改良等 (乙吉地区自転車歩行者道整備)

道-12

事業費45百万円

【島根県】

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、吉田小学校の通学路として利用されていますが、歩道が狭く歩行者の安全性が確保されていない状況です。

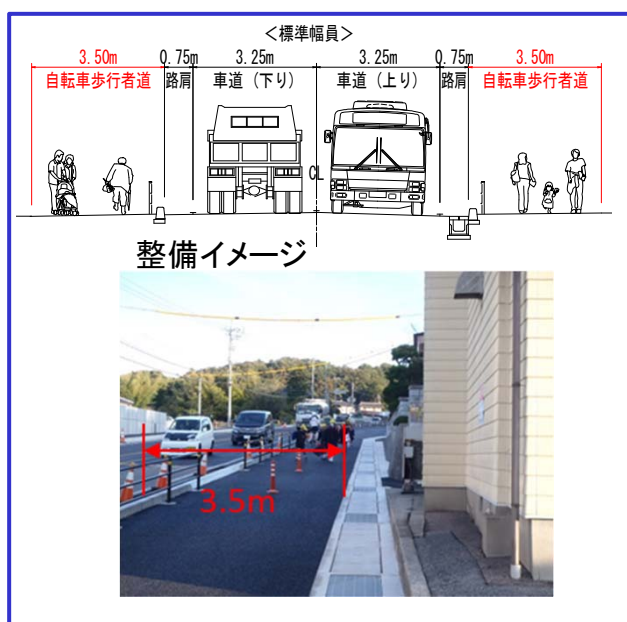
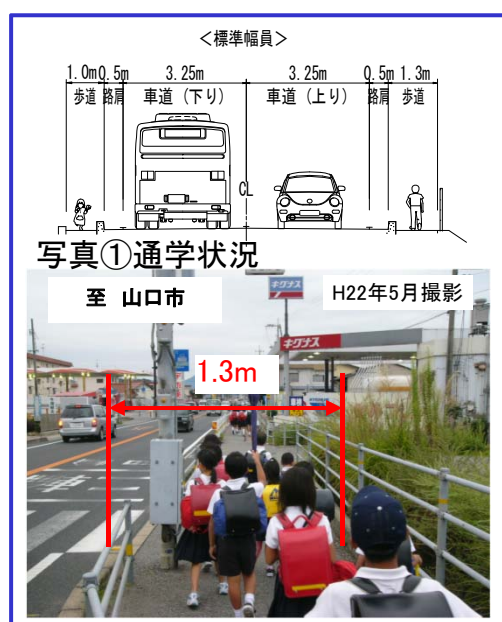
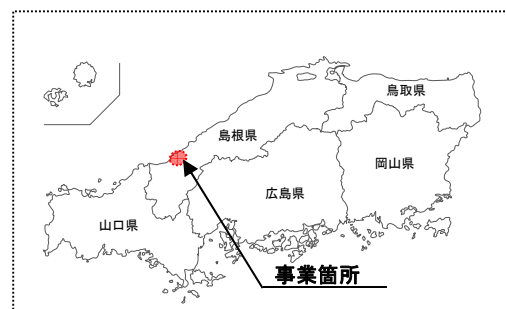
このため、自転車歩行者道の整備を行い、学童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

ますだ おとよしちょう
島根県益田市乙吉町

3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の完成に向け、工事を推進します。



事前防災
減災対策

1. 事業の必要性及び概要

国道53号の新兼田橋^{しんかねだばし}の地震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

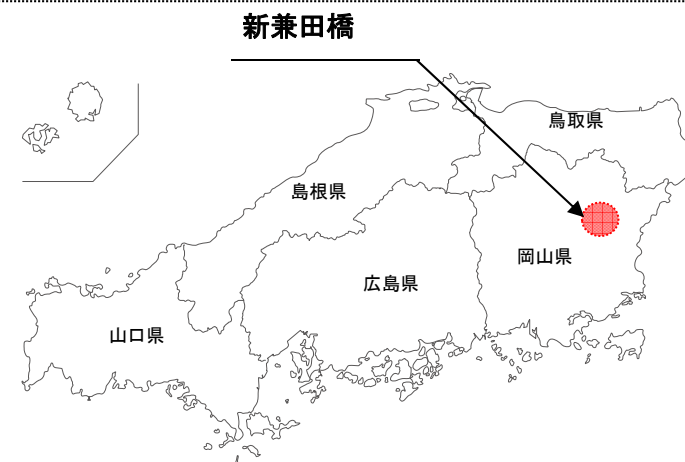
2. 代表事業箇所

岡山県津山市川崎^{つやま かわさき}

3. 平成26年度 予定事業内容

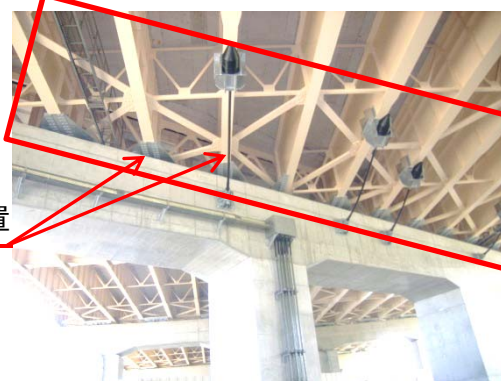
橋梁の耐震補強(橋脚の補強・落橋防止装置設置)を行います。

全景



完成イメージ

落橋防止装置



近景

落橋防止装置



橋脚補強

橋脚補強
(コンクリート巻立て)



一般国道2号 玉島笠岡道路・笠岡バイパス

事業費2,660百万円

道-14

【岡山県】

部分完成

1. 事業の必要性及び概要

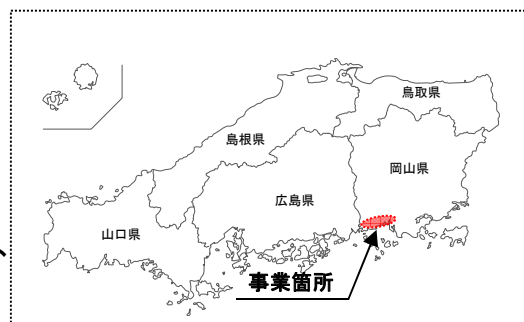
玉島笠岡道路(延長4.5km)、玉島笠岡道路(Ⅱ期)(延長9.4km)、笠岡バイパス(延長7.5km)の3事業(合計延長21.5km)は、慢性的に発生する交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展等を目的とした道路です。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市玉島阿賀崎～笠岡市茂平

3. 平成26年度 予定事業内容

唐船IC～金光IC間の平成26年度の開通に向けて改良工事、舗装工事、道路交通安全施設等を推進します。



写真① 唐船地区を望む(唐船交差点付近)

4. 期待される整備効果



唐船交差点の渋滞状況(東方面を望む)



里庄町新庄の事故発生状況



写真② 大谷東地区を望む(水玉JCT付近)

当該道路の国道2号では、慢性的な渋滞が発生しており、特に唐船交差点では、約1kmの渋滞が発生しています。また、重大事故や災害による影響で、年平均約5回の通行規制が発生しています。

玉島・笠岡道路をはじめ、玉島笠岡道路(Ⅱ期)、笠岡バイパスの整備により、**現道の渋滞の緩和及び交通安全の確保**が期待されています。

一般国道180号 岡山環状南道路

おかやま かんじょう みなみ

事業費890百万円

道-15

【岡山県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

おかやま かんじょう みなみ

岡山環状南道路(延長2.9km)は、岡山市内の交通混雑の緩和等を目的とし、岡山市街地の外環を連絡する岡山環状道路の一部を形成する道路です。

2. 事業箇所

おかやま みなみ ふじた

おかやま みなみ

こしんでん

岡山県岡山市南区藤田～岡山市南区古新田

3. 平成26年度 予定事業内容

道路改良工事、橋梁工事等を推進します。



写真①国道2号大樋橋西詰交差点渋滞状況



写真②大樋橋拡幅工事の施工状況
(道路広げるために橋の脚を広げています)



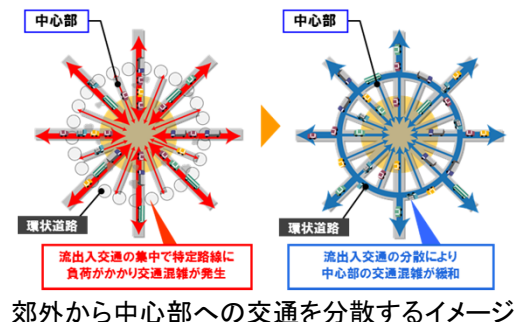
写真③国道30号青江交差点付近渋滞状況

4. 期待される整備効果

口沿道環境の改善

岡山市中心部と玉野市を結ぶ国道30号は主要渋滞箇所が連担しているため、**混雑時の速度低下が著しい**状況です。

岡山環状南道路の整備により国道30号から岡山市中心部及び広島方面へ向かう交通が**分散され、交通混雑の緩和、速度の向上**が期待されます。



郊外から中心部への交通を分散するイメージ

一般国道180号 総社・一宮バイパス 事業費2,470百万円 道-16

【岡山県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

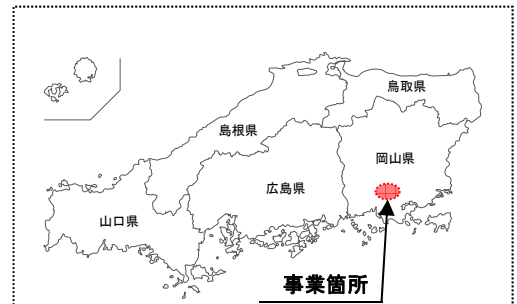
総社・一宮バイパスは、一般国道180号の岡山市北区櫛津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長15.9kmの道路です。

2. 事業箇所

岡山県岡山市北区櫛津～岡山県総社市井尻野

3. 平成26年度 予定事業内容

岡山市北区櫛津～一宮山崎間の平成27年度の部分開通に向け、道路改良工事、橋梁工事等を推進します。



写真③小寺地区改良工事

(歩行者が安全に道路を渡るための横断地下道を造っています)



写真②櫛津地区改良工事

(道路を造る予定の地面を強めています)



写真①櫛津交差点付近渋滞状況

4. 期待される整備効果

国道180号沿線では、商業施設や民家等が連坦しており、各施設の出入り交通が後継車を阻害しています。また、岡山市と総社市の人口は、増加傾向にあり、市街地を形成しています。

総社・一宮バイパスの整備により、交通分散が図られ、**交通混雑の緩和**が期待されます。



沿線施設への出入り交通による後継車の閉塞状況
(総社市総社・高梁市方面望む)

岡山2号交差点改良等 さいだいじなかの (西大寺中野IC改良)

道-17

事業費330百万円

【岡山県】

事業推進

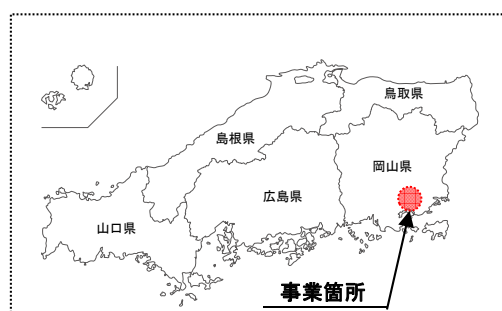
1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、連続高架橋の区間ですが、ランプからの本線合流地点が信号制御となっているため、本線上で信号停止する車両に後続車両が追突する事故が多発しています。平成25年7月には多重追突事故により約4時間にわたり国道2号の上下線が通行止めとなりました。

このため、高架橋を延伸し、信号制御から加速車線により合流する方式に変更することで本線上の信号停止を解消し、追突事故の抑制を図ります。

2. 事業箇所

あさごえ さいだいじなかの
岡山市東区浅越～西大寺中野



3. 平成26年度 予定事業内容

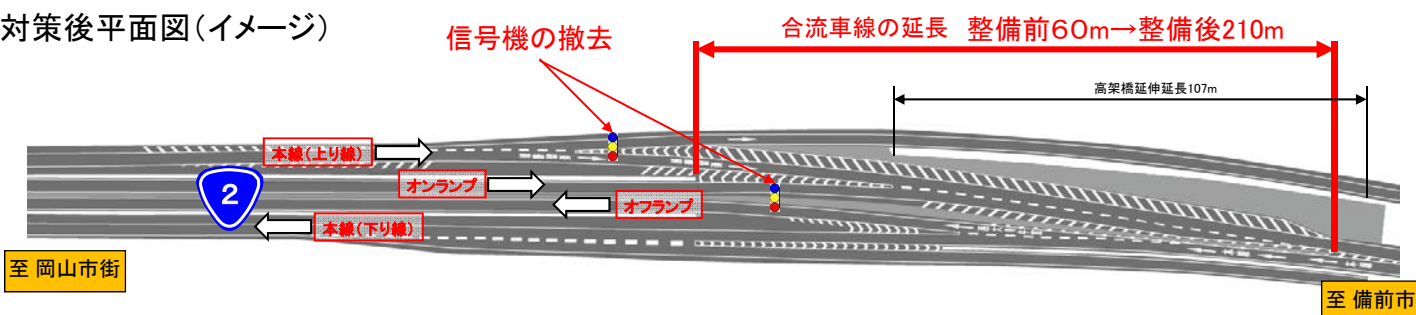
平成28年度の完成に向け、工事に本格着手します。



写真①本線信号停止状況



対策後平面図(イメージ)



岡山53号交差点改良等

つやま
(津山駅前自転車歩行者道整備)

事業費66百万円

道-18

【岡山県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、津山南小学校の通学路として利用されていますが、歩道の幅が狭く、歩行者や自転車と自動車の接触事故が発生しており、平成24年度の通学路緊急合同点検では対策として歩道整備を行うことで合意されています。

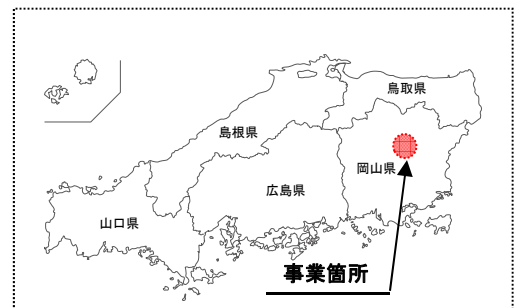
このため、昭和町交差点から南町交差点の延長0.6kmについて、津山市が整備する津山駅前広場整備と連携し、自転車歩行者道の整備を行い、学童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

つやま しょうわまち みなみまち
岡山県津山市昭和町～南町

3. 平成26年度 予定事業内容

用地買収に着手します。



津山駅北口広場のデザインイメージ 提供:津山市

整備前

《標準幅員》



写真①通学状況

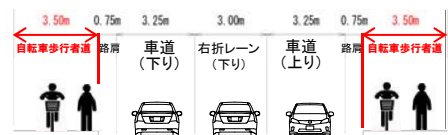


H25年1月撮影

至岡山市

整備後

《標準幅員》



整備イメージ



一般国道374号 湯郷勝央道路(延伸) (岡山県)

道-19

事業費900百万円

【岡山県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

地域高規格道路「美作岡山道路」は中国縦貫自動車道・山陽自動車道・中国横断自動車道岡山米子線と一体となって、岡山県内の循環高速道路網を形成します。

美作岡山道路の一部を形成する湯郷勝央道路(延伸)は、美作圏域と岡山圏域の交流促進により、地域の活性化に寄与するとともに、沿線の交通混雑の解消を目的とした、延長約1.1kmの自動車専用道路です。勝央JCTにて中国縦貫自動車道と接続します。

2. 事業箇所

岡山県勝田郡勝央町黒土

3. 平成26年度 予定事業内容

平成27年度の開通に向け、改良工事、橋梁工事を推進します。

進捗状況写真



写真① 黒土(くろつち)高架橋 (H25.4撮影)

4. 期待される整備効果

■ 慢性的な交通混雑の回避

現道部の明見交差点(朝ピーク時渋滞長400m)をバイパスにより回避することで、定時性を確保します。

また、当該交差点への流入交通が減少することにより、現道部の交通混雑の解消が期待されます。



みょうけん
明見交差点渋滞状況



■ 広域的な循環型ネットワークの形成



中国横断自動車道尾道松江線(尾道～三次)

～平成26年度全線開通！松江から高知までが高速道路で結ばれます～

事業費5,150百万円
【広島県】

道-20

1. 事業の必要性及び概要

尾道松江線は、広島県尾道市から島根県松江市に至る延長約137kmの高速道路です。山陰と山陽を結び、移動時間の短縮や、沿線地域の産業・経済・文化のさらなる発展が期待されます。

平成26年度の世羅IC～吉舎IC間(20.4km)の開通により、全線開通となり、山陰と山陽、四国が高速道路で結ばれます。

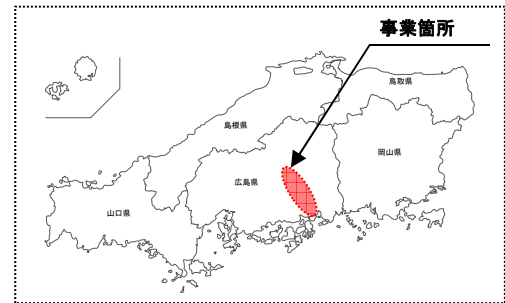
完成予定

2. 事業箇所

広島県尾道市美ノ郷町三成～三次市四拾貫町

3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の全線開通に向け、舗装工事、トンネル設備工事等を推進します。



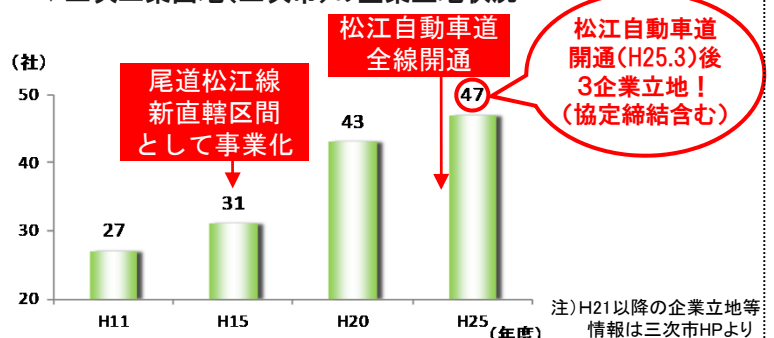
4. 期待される整備効果

□沿線地域の企業立地促進に期待

尾道松江線全線開通による、山陰と山陽間の移動時間短縮、広島空港へのアクセス向上を期待して、企業進出が増えています。

三次市は、東西南北に高速道路が繋がることなどを期待して、平成21年6月より三次工業団地3期(8ha)分譲開始しました。

▼三次工業団地(三次市)の企業立地状況



一般国道375号 東広島・呉道路

～平成26年度全線開通！呉市と山陽道が無料の高速道路で結ばれます～

道-21

事業費6,520百万円
【広島県】

1. 事業の必要性及び概要

東広島・呉道路は、都市間の連携や広域交通拠点との連携強化を図ることを目的とした延長32.8kmの自動車専用道路です。
平成26年度の黒瀬IC～馬木IC間(8.8km)の開通により、全線開通となり、呉市と山陽道が結ばれます。

完成予定

2. 事業箇所

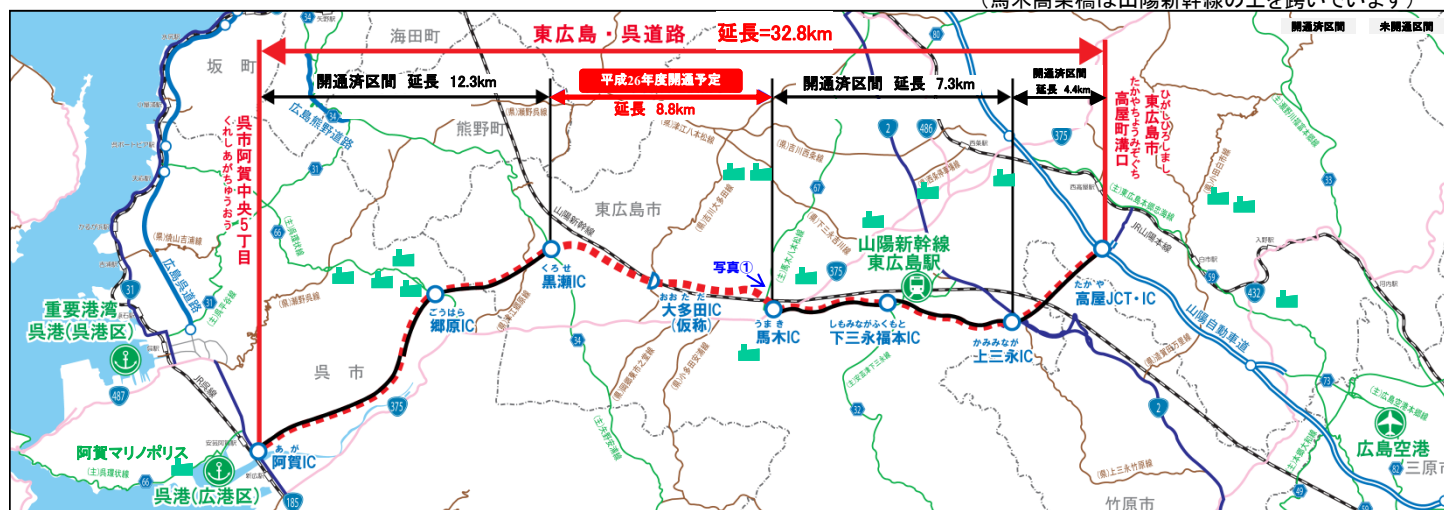
広島県呉市阿賀中央5丁目～東広島市高屋町溝口

3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の全線開通に向け、橋梁工事、舗装工事等を推進します。



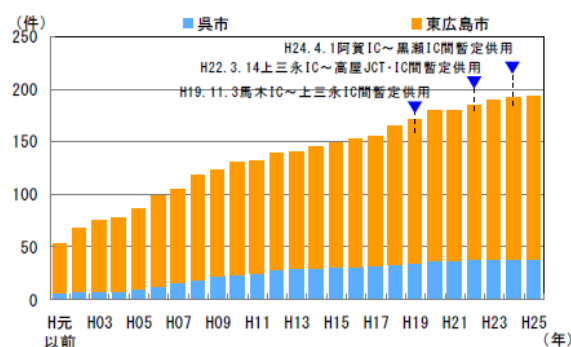
写真①馬木高架橋の施工状況
(馬木高架橋は山陽新幹線の上を跨いでいます)



4. 期待される整備効果

- 東広島・呉道路の整備により、山陽自動車道と産業団地が直結し、物流の効率化が期待されます。
- 呉港、山陽新幹線東広島駅、広島空港などを結び、陸・海・空の交通ネットワークの連携を強めます。
- 国道375号では、全国平均値を超える死傷事故率が発生しており、東広島・呉道路の整備による、交通転換が図られ、死傷事故率の減少が期待されます。

〈沿線工業団地における立地企業数の推移〉



※上記事業所数は図示している工業団地の立地企業数
資料：東広島市提供資料、呉市提供資料

一般国道2号 安芸バイパス・東広島バイパス

事業費2,310百万円

道-22

【広島県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

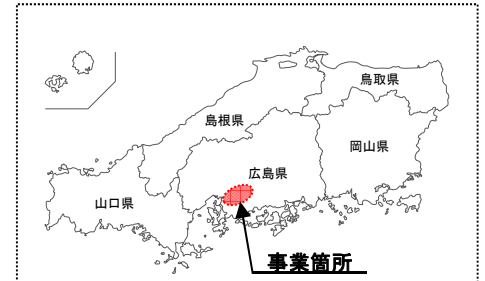
安芸バイパス・東広島バイパスは、東広島市と広島市内の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長17.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

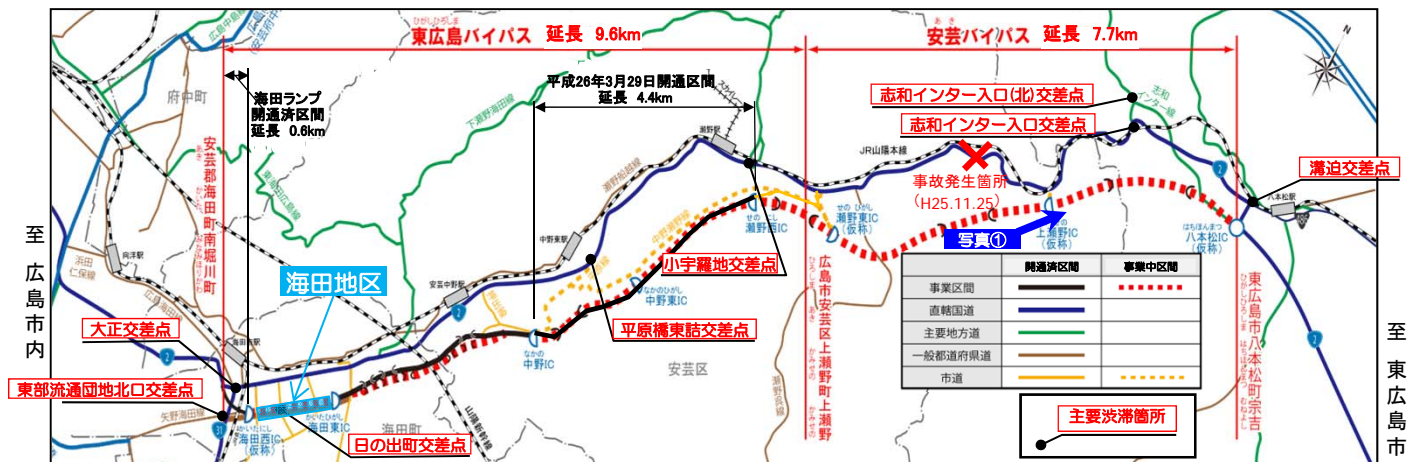
広島県東広島市八本松町宗吉～安芸郡海田町南堀川町

3. 平成26年度 予定事業内容

改良工事、橋梁工事等を推進します。
東広島バイパスの海田地区の工事に着手します。



写真①大山高架橋付近から西方面を望む
(下部工事が完了し、今後橋をかけていきます)



4. 期待される整備効果

○国道2号の混雑緩和

国道2号の交通がバイパスに転換することで、溝迫交差点、志和インター入口交差点、小宇羅地交差点、海田大正交差点を含む国道2号の交通渋滞の緩和が期待されます。

○交通安全・定時性の確保

大型車をはじめとする国道2号の交通量の減少(バイパスへの転換)により、交通事故の減少が期待されます。

○周辺地域との連携強化

広島市、東広島市とその周辺地域との一体化が図られ、テクノポリス計画などの地域開発計画の促進が期待されます。

(事例)国道2号の通行止め時の大幅な迂回

国道2号で平成25年11月25日(金)にトレーラー横転事故により、約8時間の通行止めが発生し、大幅な迂回が必要となり、多大な影響を与えました。

<事故の状況>



広島2号交差点改良等 (瀬戸自転車歩行者道整備)

道-23

事業費243百万円

【広島県】

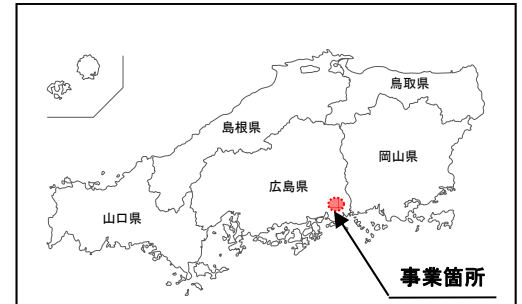
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、周辺に福山中学校や福山高校等があり、歩行者や自転車の通行が多い箇所です。

国道2号の南側は歩道が無く、北側は歩道が狭いため、並行する市道が通学路となっていますが、車両が多く、危険な状況です。

このため、国道2号の自転車歩行者道の整備を行い、学童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

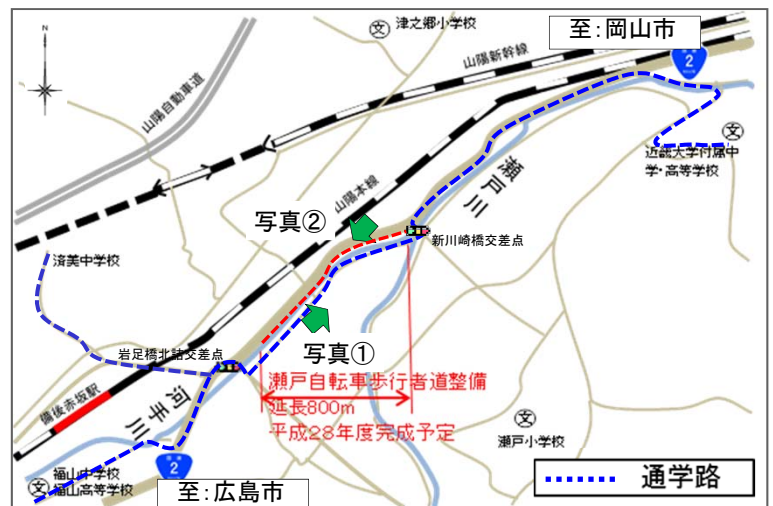


2. 事業箇所

広島県福山市瀬戸町

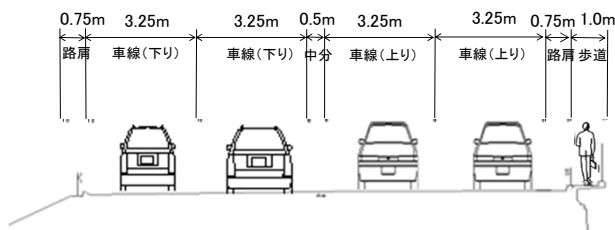
3. 平成26年度 予定事業内容

平成28年度完成に向け、工事を推進します。



整備前

《標準幅員》



写真①国道2号の歩道状況

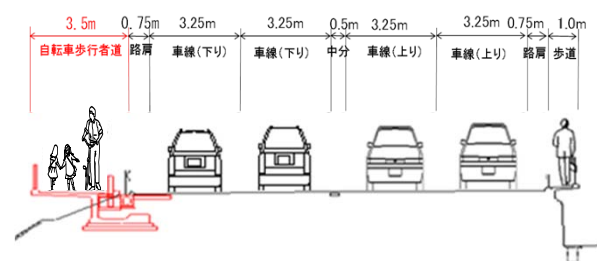


写真②市道通学状況



整備後

《標準幅員》



整備イメージ



広島2号交差点改良等 (船越歩道整備)

道-24

事業費150百万円

【広島県】

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、^{かい}海田高校等へ通学する通行者が多い箇所ですが、歩道のネットワークが途切れており、歩行者は車の多い道路の路肩を通る危険な状況です。

このため、歩道の整備を行い、通学生徒等の歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

完成予定

2. 事業箇所

あき ふなこしみなみ
広島市安芸区船越南



3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の完成に向け、工事を推進します。



整備前

《ランプ部》

500 4000 500
路肩 車道 路肩

写真①現況写真



H24年5月撮影

整備後

《ランプ部》

《歩道部》

500 4000 500 2500
路肩 車道 路肩 歩道

整備イメージ



広島54号交差点改良等 (吉田地区自転車歩行者道整備)

道-25

事業費51百万円 【広島県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、吉田小学校や吉田中学校などの通学路として利用されていますが、歩道が狭く、一部区間は歩道が無い場合、平成24年度の通学路緊急合同点検では対策として歩道整備を行うことで合意されています。

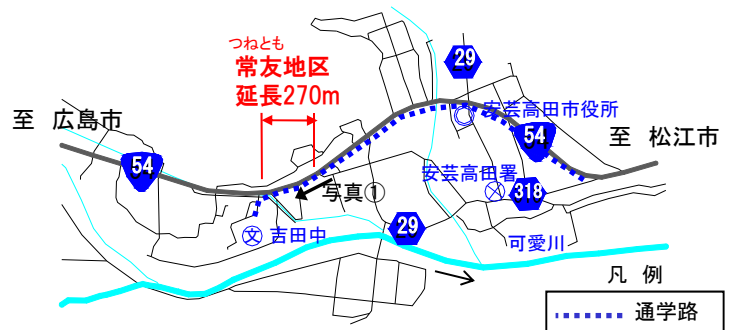
このため、自転車歩行者道の整備を行い、学童等の歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

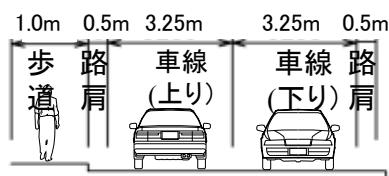
広島県安芸高田市吉田町山手～吉田

3. 平成26年度 予定事業内容

調査設計等を推進します。



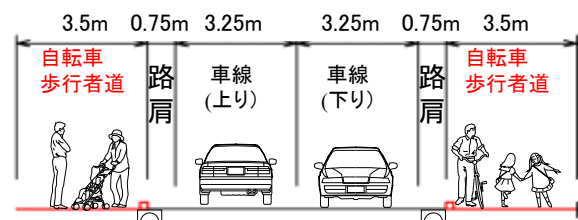
整備前



写真①通学状況



整備後



整備イメージ



たけはら 広島185号電線共同溝(竹原電線共同溝)

事業費20百万円

道-26

【広島県】

新規事業

1. 事業の必要性及び概要

当事業箇所は、市役所やJR竹原駅を中心とした商業地域に位置し、あんしん歩行エリア※に指定されています。

電線類を地中化することにより、**安全で快適な通行空間を確保**するとともに、震災時等におけるライフライン及び緊急輸送道路の**安全性を向上**させ、**良好な都市景観の形成**に向けた街づくりに寄与します。

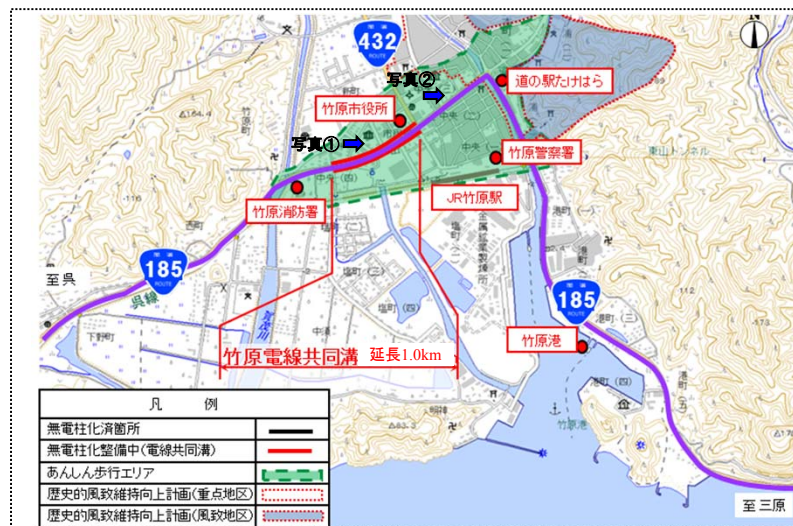
※あんしん歩行エリアとは・・・生活道路において人優先の考えのもと、交通事故対策を集中的に実施することを目的に警察庁と国土交通省が合同で緊急に歩行者・自動車の安全対策が必要な箇所を指定し、都道府県交安委員会と道路管理者が連携して事故対策を実施する地区のこと。

2. 事業箇所

たけはら ちゅうおう たけはら ちゅうおう
広島県竹原市中央5丁目～広島県竹原市中央3丁目

3. 平成26年度 予定事業内容

新規事業として調査設計に着手します。



4. 期待される整備効果

- ・道路上から電柱や電線がなくなることにより、**安全で快適な通行空間の確保**が図られ、災害時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため**都市防災機能が向上**します。また、電線がなくなることにより、**良好な景観形成**が期待されます。

一般国道188号 柳井バイパス

事業費1,730百万円

道-27
【山口県】

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

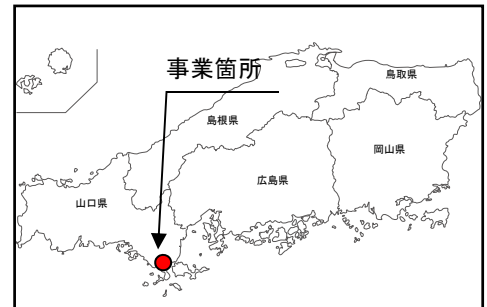
一般国道188号柳井バイパスは、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、柳井市柳井から柳井市南町3丁目に至る延長3.5kmの道路です。平成21年度までに旧道合流部から柳井警察署前交差点までの延長2.5kmが開通し、現道の渋滞が解消しています。

2. 事業箇所

山口県柳井市柳井～柳井市南町

3. 平成26年度 予定事業内容

柳井市柳井地内の平成26年度の4車線化に向け、電線共同溝工事、舗装工事を推進します。



現道拡幅区間の状況



写真①現道拡幅区間の状況

進捗状況写真



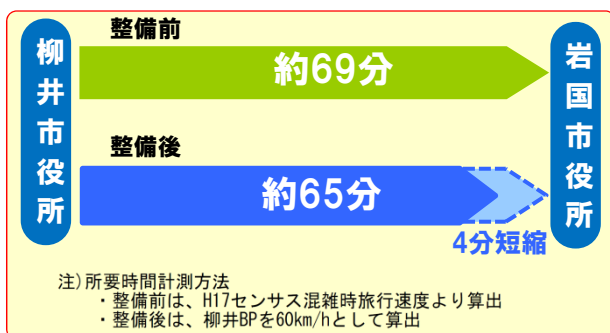
写真②現道拡幅工事の状況



4. 期待される整備効果

●所要時間の短縮

柳井市役所～岩国市役所間の所要時間が約4分短縮することが期待されます。

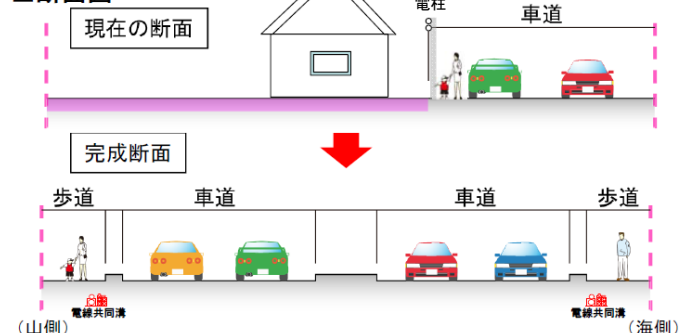


注) 所要時間計測方法
・整備前は、H17センサス混雑時旅行速度より算出
・整備後は、柳井BPを60km/hとして算出

●交通安全の確保

今回整備により、歩道未整備区間の解消が図られます。

■断面図



一般国道191号 下関北バイパス 事業費4,890百万円 ～平成26年度全線開通！国道191号の渋滞が緩和します～

道-28

【山口県】

1. 事業の必要性及び概要

一般国道191号下関北バイパスは、現道部の交通混雑の緩和及び交通安全の向上を目的とした、下関市筋川町から下関市安岡駅前二丁目に至る延長6.8kmの道路です。

平成26年度の下関市汐入町～下関市安岡駅前二丁目間(5.8km)の開通により、バイパスが全線開通となります。

2. 事業箇所

山口県下関市筋川町～下関市安岡駅前二丁目

3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の4車線化開通に向け用地買収及び改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

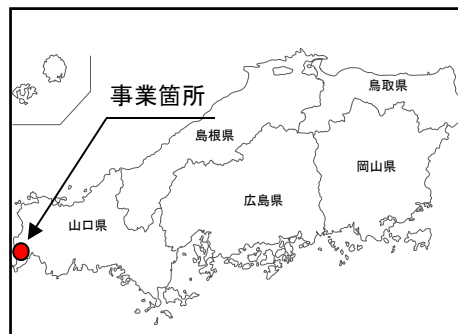
効果)『交通渋滞の緩和及び所要時間の短縮』

国道191号における交通渋滞の緩和及び走行速度の向上が図られ、所要時間が約18分短縮されることが期待されます。



注) 所要時間計測方法
・整備前はH11センサス混雑時旅行速度、現況はH22センサス混雑時旅行速度より算出
・整備後はH22センサス混雑時旅行速度、下関北バイパスを60km/hとして算出

完成予定



現道状況

至長門市

至下関市街

写真①交通混雑状況(山の田交差点)

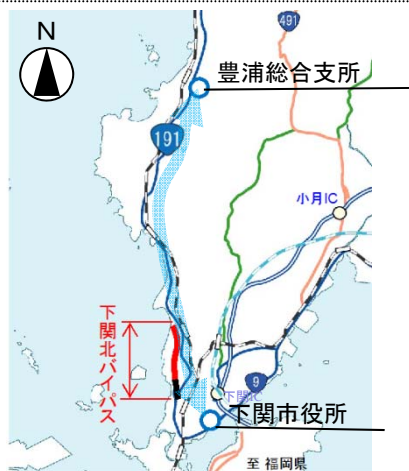


進捗状況写真

H26.3撮影

至長門市

写真②綾羅木地区(綾羅木高架橋)



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

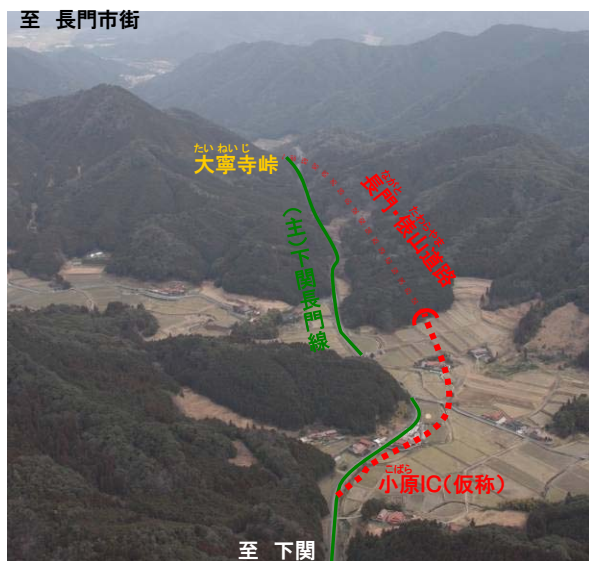
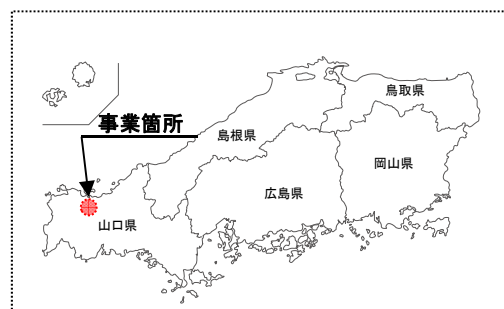
山陰道 長門・俵山道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の要防災対策箇所、事前通行規制区間の解消、俵山地区の災害時の孤立回避を目的とした、延長5.5kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県長門市俵山小原～長門市深川湯本

3. 平成26年度予定事業内容

用地買収を推進するとともに、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等の本線工事に着手します。



写真① 長門市俵山小原から長門市街方面を望む

4. 期待される整備効果

■災害時等の代替路線の確保

平成21年7月の中国・九州北部豪雨では下関長門線大
寧寺峠で大規模な道路崩落が発生し交通が途絶しました。

長門・俵山道路の整備により、災害時における代替路が
確保され、安定的なネットワークの確保が期待されます。

H21年7月中国・九州北部豪雨による
大寧寺峠の被災状況

道路の崩落が発生

全面通行止:平成21年7月21日9:00
～平成21年9月28日13:00

約2ヶ月間

片側通行規制:平成21年9月28日13:00
～平成21年11月30日17:00

約2ヶ月間



山口9号交差点改良等

たけざき
(竹崎自転車道整備)

事業費99百万円

道-30

【山口県】

完成予定

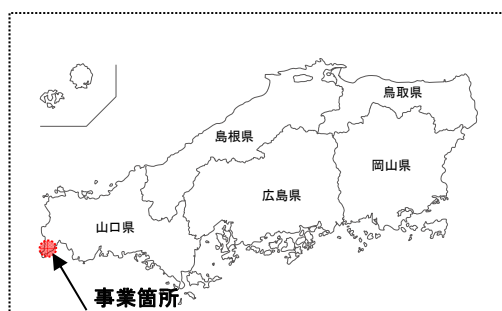
1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、下関市の中心に位置し、歩行者と自転車の利用が多く、付近の王江小学校の通学路としても利用されていますが、特に朝夕の通勤・通学時間帯には、自転車と歩行者が輻輳し危険な状況です。

このため、自転車道の整備を行い、学童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間及び自転車走行区間を確保します。

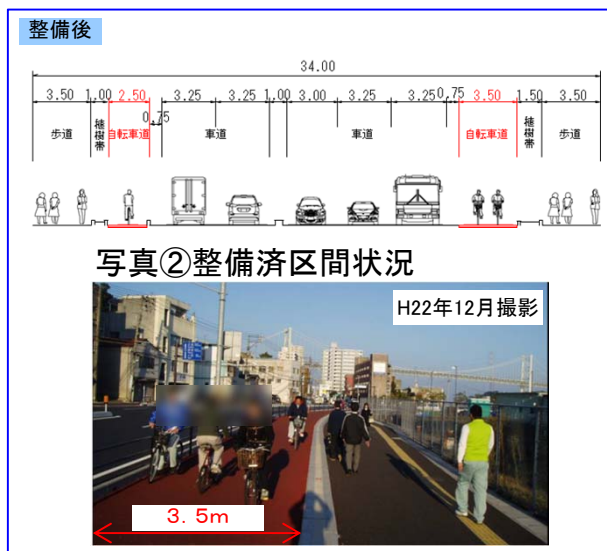
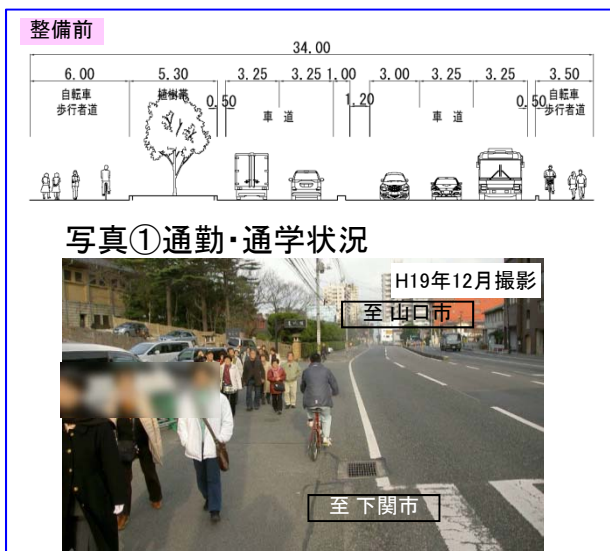
2. 事業箇所

山口県下関市阿弥陀寺町～竹崎町



3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の完成に向け、工事を推進します。



山口188号交差点改良等

こうじろ
(神代交差点改良)

事業費105百万円

道-31

【山口県】

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、国道に右折車線が無く、さらに市道が交差点に鋭角に取り付いているため、追突事故が発生し危険な状況となっています。また、大畠小学校とおおばたけとおおばたけの通学路として利用されていますが、歩道が狭く学童等の利用者の安全性が確保されていない状況です。

このため、右折車線の確保などの交差点改良と自転車歩行者道の整備を行い、交通事故の削減を図るとともに、学童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

やない こうじろ
山口県柳井市神代

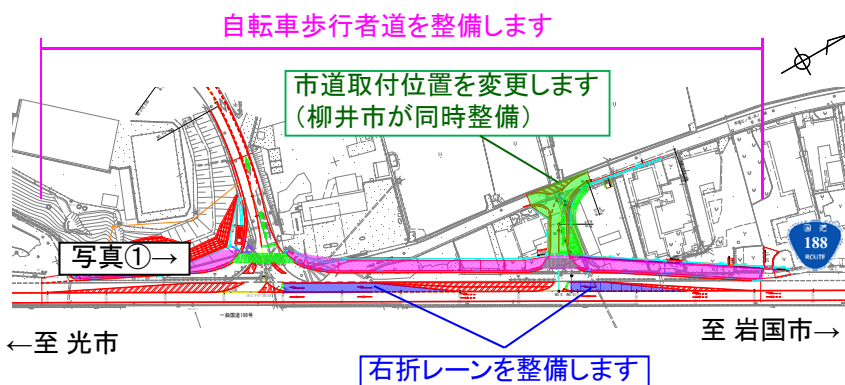


3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の完成に向け、用地買収、工事を推進します。



写真①通勤・通学状況



山口188号電線共同溝

ひかりちゅうおう
(光中央電線共同溝)

道-32

事業費921百万円

【山口県】

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

ひかりちゅうおう

光中央電線共同溝は、電線類を地中化し、歩道の電柱を無くすことにより、安全で快適な通行空間の確保、災害時における緊急輸送道路の確保、都市景観の向上を目的とした事業です。

2. 事業箇所

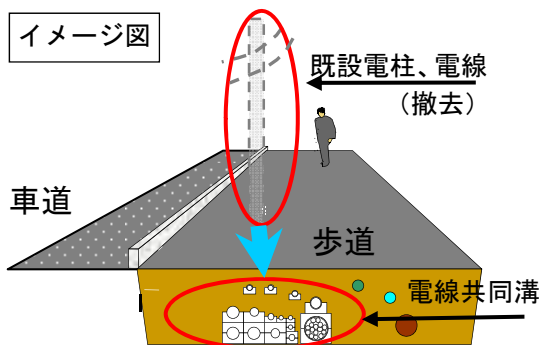
ひかり みついで ひかり ちゅうおう
山口県光市光井4丁目～光市中央5丁目

3. 平成26年度予定事業内容

平成26年度の完成に向け、本体工事、舗装工事を推進します。



イメージ図



施工前



施工後(イメージ)

4. 期待される整備効果

- ・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な通行空間の確保が図られ、災害時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため都市防災機能が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な景観形成が期待されます。

一般国道490号 絵堂萩道路（山口県）

道-33

事業費100百万円

【山口県】

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

小郡萩道路は、県央の交通の要衝である山口市小郡、主要観光地である秋吉台、山陰の中心都市である萩市を結び、中国縦貫自動車道等と連結する延長約30kmの地域高規格道路です。

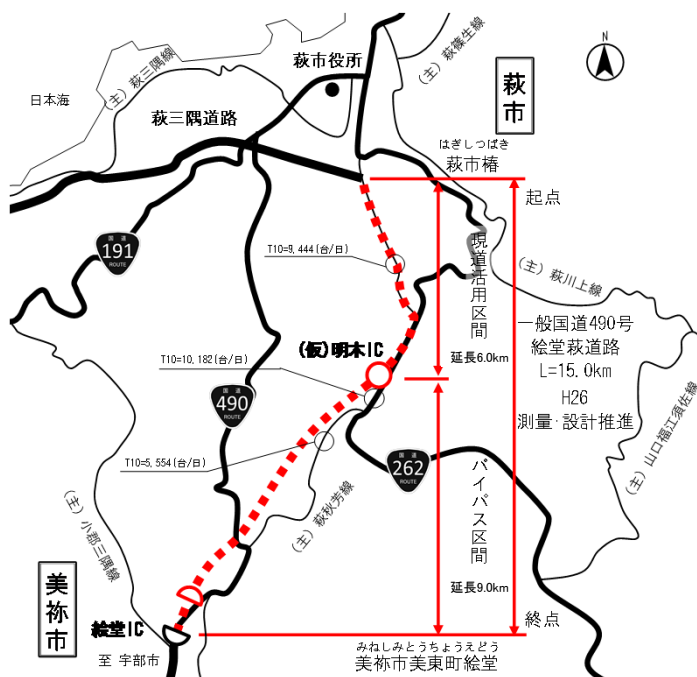
一般国道490号絵堂萩道路は、小郡萩道路の一部を構成し、高速性や定時性及び安全性の向上により、救急医療活動の支援など地域の安心・安全の確保や、地域産業の活性化等を目的とした延長15.0kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県美祢市美東町絵堂～萩市椿

3. 平成26年度 予定事業内容

新規事業として、測量、設計に着手します。



4. 期待される整備効果

■ 第二次及び第三次救急医療送施設への搬送時間の短縮

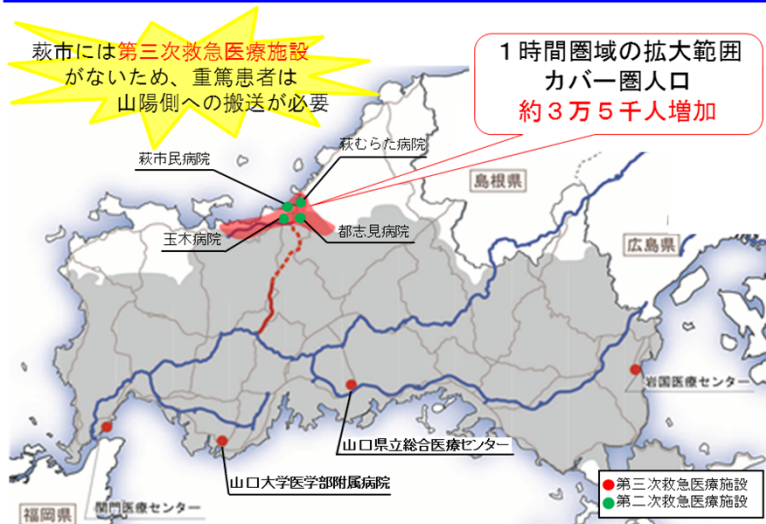
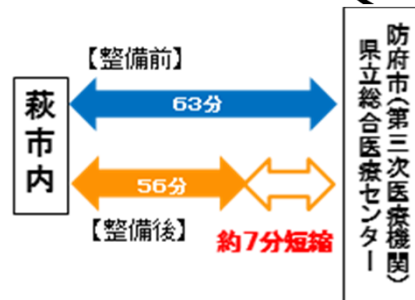
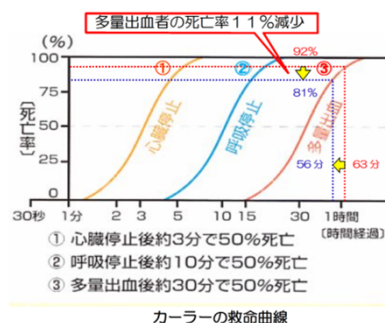


図 第三次救急医療施設からの1時間圏域の拡大



萩市内から第三次医療機関（防府市）までの所要時間



カラーの救命曲線

とっとり 鳥取港防波堤整備事業(国、鳥取県)

国 : 事業費190百万円
鳥取県 : 事業費199百万円

港-1

【鳥取県】

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

鳥取港は、国際物流ターミナル(水深10m)等を中心に、山陰地方東部経済圏の拠点港として機能しています。一方、鳥取港に入出港する船舶が通航する千代航路では、冬季風浪や台風等により港口付近で大小の波が発生し、中小貨物船の安全な航行に影響を及ぼしています。

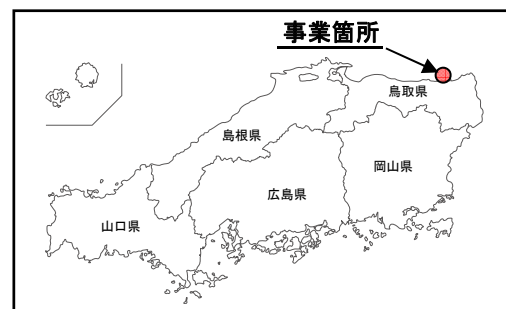
このため、西浜航路を新設するとともに、港内の静穏度を確保するため、防波堤の整備を推進します。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市

3. 平成26年度 予定事業内容

防波堤(第1)(西)の消波工事等、防波堤(第3)(撤去)のケーソン据付工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

山陰地方の中央に位置する境港は、背後圏に製紙、木材加工、鉄鋼等、多くの企業が立地し、原材料の輸入や製品の輸出等を通じ、地域の経済活動を支えています。また、平成21年には韓国、ロシアとを結ぶ環日本海国際定期貨客船が就航するなど、日本海沿岸地域を代表する国際物流拠点として更なる役割を担うことが期待されています。

しかし、貨物量の増加や船舶の大型化に伴い、大型岸壁やふ頭用地の不足等の問題が顕在化してきており、非効率な輸送の解消が喫緊の課題となっています。

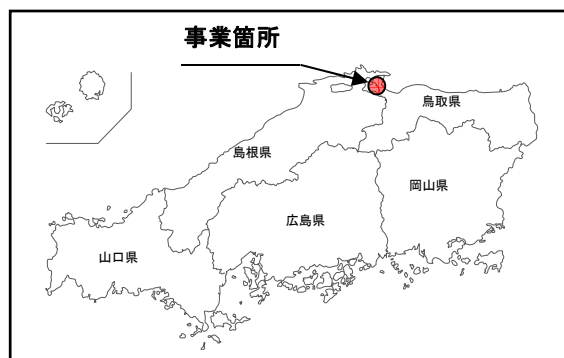
このため、外港中野地区に、3万トン級の大型船に対応した国際物流ターミナルを整備するとともに、既存ふ頭の再編を行うことで、境港全体の機能強化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県境港市

3. 平成26年度 予定事業内容

岸壁(水深12m)のケーソン据付工事、
裏込工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、将来増加する多様な貨物の取扱を円滑に行うことが可能となるとともに、利用企業の物流コストの削減が図られること等を通じ、地域産業の国際競争力強化、雇用の確保等に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

浜田港福井地区は、国際コンテナ貨物や、石炭、原木等を扱う主要ふ頭を擁しているが、福井地区と背後圏を結ぶ臨港道路福井1号線は、国道9号接続部周辺において、増加する港湾車両の渋滞が慢性化しています。また、同地区には耐震強化岸壁が整備されていることから、大規模地震時において、耐震強化岸壁と背後圏とを結ぶ円滑な輸送路の確保が必要となっています。

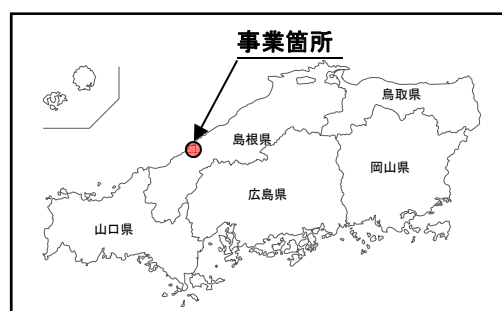
このため、本事業では浜田港周辺で整備が進められている山陰自動車道等の道路ネットワークと連携し、更なる増加が見込まれる港湾貨物の安全かつ効率的な輸送を図るため、また、大規模地震時の緊急物資等の円滑な輸送を図るために、浜田港福井地区において臨港道路の整備を行います。

2. 事業箇所

島根県浜田市

3. 平成26年度 予定事業内容

臨港道路福井4号線の橋梁下部工事、
土工(盛土工事・切土工事)等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、山陰自動車道等の道路ネットワークの効果を最大限に活用することが可能となり、輸送コストの削減、利用企業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

また、大規模地震発生時には、福井地区の耐震強化岸壁を活用した緊急物資輸送等を通じて、背後圏の経済活動を出来る限り早期に回復することに寄与します。

河下港国内物流ターミナル整備事業(島根県)

事業費200百万円

港-4

【島根県】

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

島根県東部に位置する河下港は、石材、石灰石、スラグ、LPG(液化石油ガス)などを扱う物流拠点港であり、また、島根県地域防災計画で防災拠点として位置づけられている港です。

しかし、北西に開く湾口からの風浪による岸壁の稼働率低下が課題となっていることから、港内静穏度の確保を図るための防波堤(沖)の整備を推進します。

2. 事業箇所

島根県出雲市

3. 平成26年度 予定事業内容

防波堤(沖)の本体工事、基礎工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、災害活動時の拠点港として地域全体の防災機能の向上に寄与します。

また、背後の荷主等事業者の物流機能の効率化が促進され、地域産業の競争力の強化に寄与します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

水島港は、我が国の基幹産業が集積する水島臨海工業地帯を擁し、中・四国第1位の取扱貨物量を誇る港です。平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（穀物、鉄鉱石）に選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、生産拠点である水島地区と物流拠点である玉島地区間の港湾貨物輸送の円滑化や、玉島地区における国際コンテナ貨物の増加、船舶大型化、大規模地震への対応といった港湾機能の強化を図ることが喫緊の課題となっています。

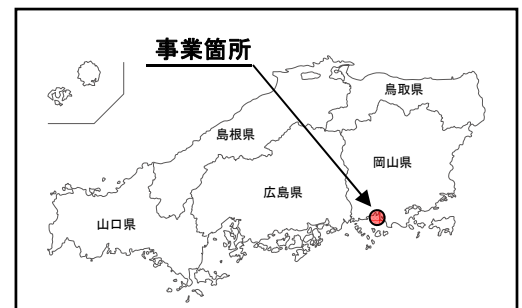
このため、両地区を結ぶ臨港道路と、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市

3. 平成26年度 予定事業内容

臨港道路の橋梁上部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、物流コストの削減、国際競争力の強化を図り、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。また、大規模災害に対する地域の災害対応力の強化を通じ、国土強靱化に寄与します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

国際拠点港湾であり、平成23年5月には国際バルク戦略港湾（穀物、鉄鉱石）にも選定された水島港においては、今後、船舶の大型化への対応等の機能強化を効率的に進めるため、浚渫土砂の処分先を確保することが喫緊の課題となっています。

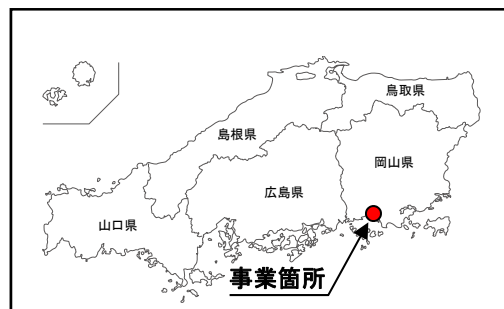
このため、^{たましま}玉島地区において、浚渫土砂を受け入れるための埋立護岸の整備を推進します。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市

3. 平成26年度 予定事業内容

廃棄物埋立護岸の上部工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、航路・泊地の機能強化に伴う浚渫土砂の効率的な処分が可能となり、水島港における事業効果の早期発現に寄与します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

広島港廿日市地区は、広島港における輸入貨物量の約5割を占め、各種製造業のエネルギー源としての需要が拡大しているLNG（都市ガスの主原料となる液化天然ガス）の一大輸入拠点です。

しかし、広島港の施設は、水深の制約により世界標準の大型船が利用できないことから、輸送コストの増加を招いており、その対策が急務となっています。

このため、安定的かつ安価なエネルギー供給による各種製造業の競争力の確保を図るべく、官民の連携により、水深12mの航路・泊地の整備を推進します。

2. 事業箇所

広島県廿日市市

3. 平成26年度 予定事業内容

航路・泊地（水深12m）の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、LNGの安定的かつ安価な供給が図られ、LNGを利用する各種製造業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

事業推進

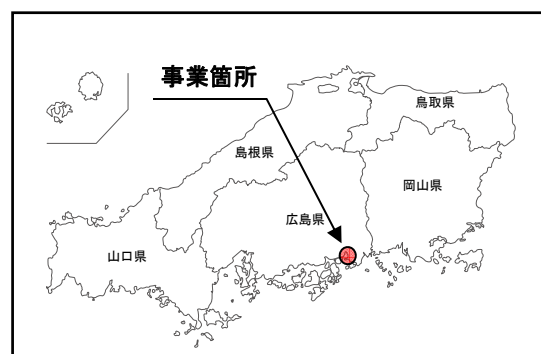
1. 事業の必要性及び概要

尾道糸崎港は、輸入原木を取扱う船舶の大型化への対応や、港内での筏輸送で生じる木皮流出による環境悪化への対応が課題となっています。

このため、大型船による効率的な輸送に対応する国際物流ターミナル(水深12m等)の整備を推進します。併せて、発生する浚渫土砂^{しゅんせつ}を有効活用して、干潟の造成にも取り組んでいます。

2. 事業箇所

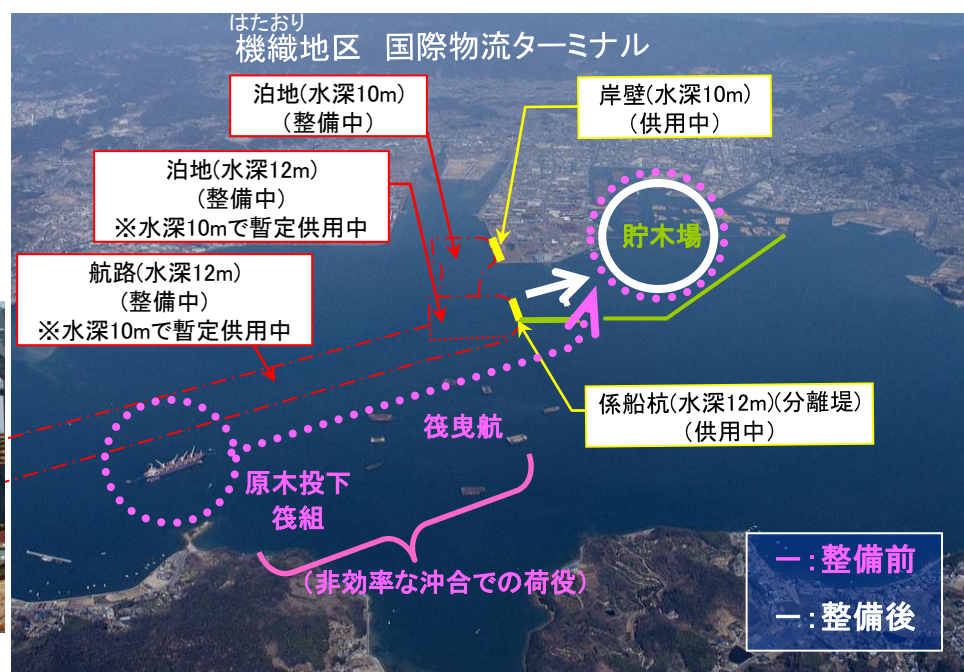
広島県福山市～尾道市



3. 平成26年度 予定事業内容

航路・泊地の浚渫土砂を有効活用して造成する干潟の覆砂工事等を推進します。

【原木水面投下状況】



4. 期待される整備効果

本事業により、木材運搬船の大型化への対応が可能となり、海上輸送の効率化による地域産業の国際競争力強化や雇用の確保及び港内環境の改善に寄与します。

併せて、浚渫土砂を活用した干潟造成により、海域環境の保全に資することが期待されます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

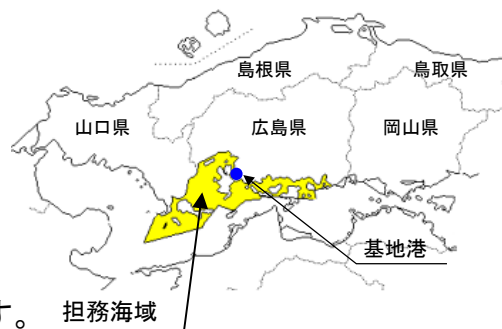
海面清掃船「おんど2000」により、『航行船舶の安全確保』『海洋の汚染の防除』を目的に、海面に浮遊するごみの回収を実施します。

2. 事業箇所

広島県福山市沖 ～ 山口県柳井市沖

3. 平成26年度 予定事業内容

担務海域(2,400km²)内の海面浮遊ごみの回収を実施します。

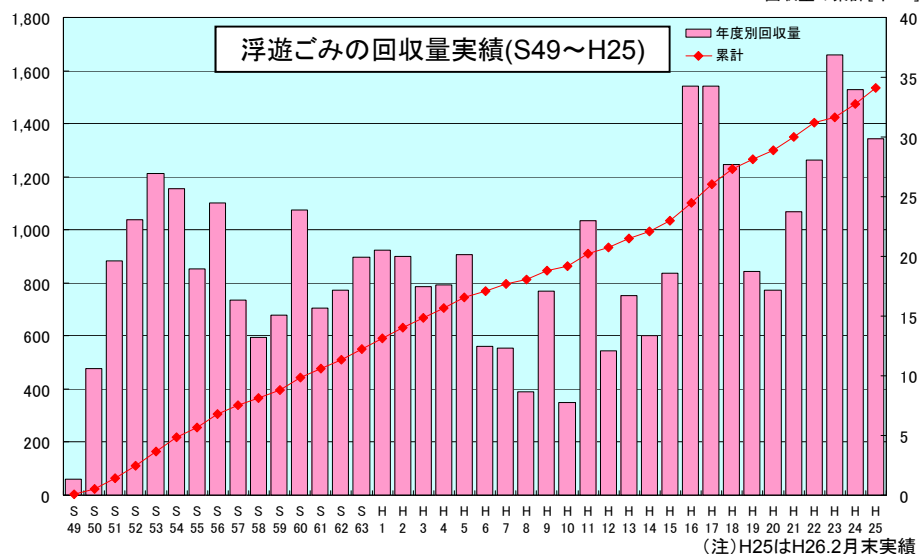


海面清掃船「おんど2000」諸元

1. 全長 30.70m
2. 全幅 11.60m
3. 深さ 3.34m
4. 総トン数 144トン
5. 航行速力 14.5ノット
6. 機関出力 749kW×2台
7. ごみコンテナ 25m³×2台

年度別回収量実績[m3]

回収量の累計[千m3]



4. 期待される整備効果

本事業により、流木などを原因とする海難事故を未然に防ぎ、また、海岸等に漂着するごみの低減にもつながることから、航行船舶の安全確保や海洋の汚染の防除に寄与しています。

1. 事業の必要性及び概要

新規着手

完成予定

広島空港は、中国地方の拠点空港であり、背後圏の経済活動を支えるため、重要な役割を担っています。

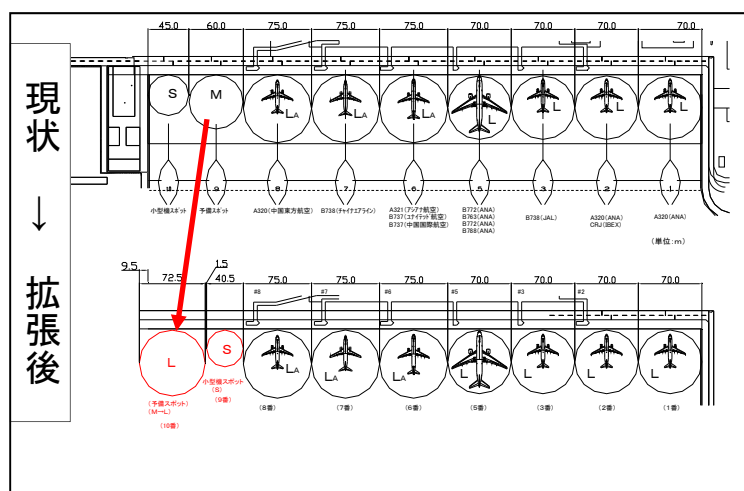
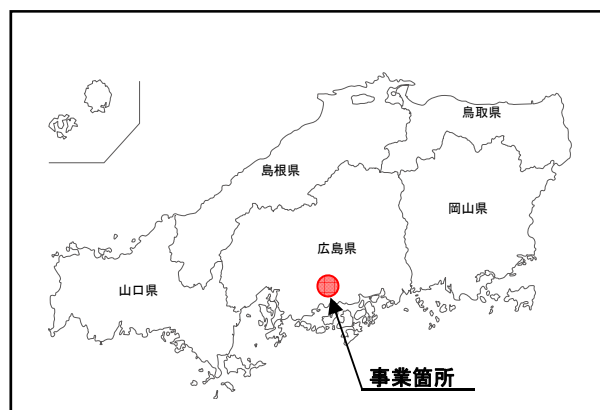
しかし、機材故障や悪天候等による緊急着陸時に駐機する予備スポットが大型機に対応できていないため、隣接する小型機用スポットに利用制限がかかっていました。このようなことから、緊急時に確実かつ安全な駐機が可能となるよう本来必要な予備スポット(大型機対応)の拡張整備に着手します。

2. 事業箇所

広島県三原市本郷町

3. 平成26年度予定事業内容

予備スポットを中型機対応から大型機対応スポットへ拡張します。



4. 期待される整備効果

航空機の安全かつ安定した運航を確保することができるため、今後も国際・国内航空ネットワークの拠点としての重要な機能を発揮することができます。

1. 事業の必要性及び概要

老朽化対策

広島空港は、中国地方の拠点空港であり、背後圏の経済活動を支える重要な役割を担っています。

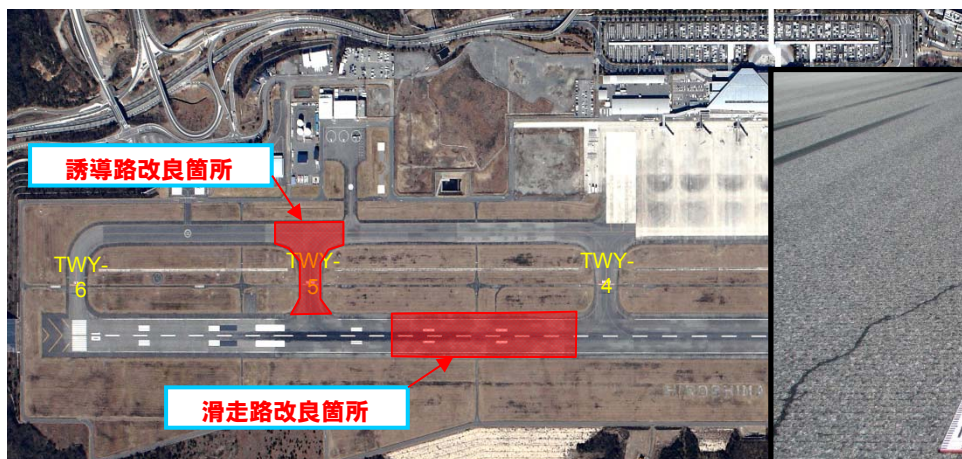
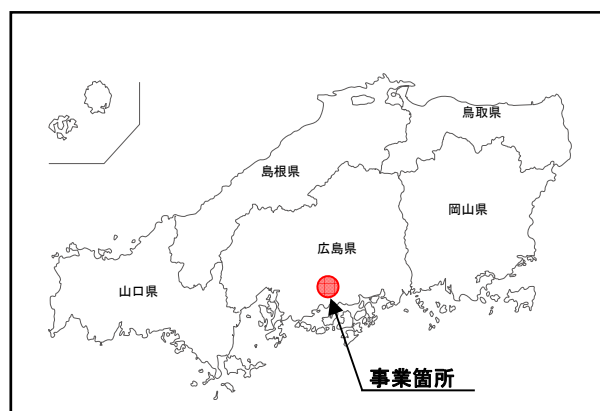
しかし、滑走路及び誘導路については、前回の舗装から約10年が経過し、舗装の経年劣化による強度低下やひび割れなどが確認されたことから、航空機の安全運航を維持するため、老朽化した舗装の改良整備を行います。

2. 事業箇所

広島県三原市本郷町

3. 平成26年度予定事業内容

滑走路及び誘導路について、痛んだ舗装を切削した後、新たに舗装を実施し復旧します。



舗装表面の経年劣化によるひび割れの発生

4. 期待される整備効果

航空機の安全かつ安定した運航を確保することができるため、今後も国際・国内航空ネットワークの拠点としての重要な機能を発揮することができます。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

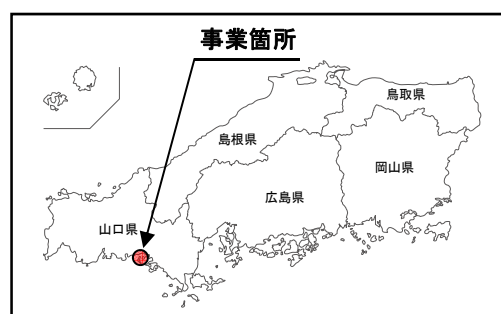
徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（石炭）に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

近年、背後企業の生産設備、発電設備等の増強に伴い、発電用燃料の石炭輸入が増加しているものの、船舶の大型化に対応した航路・泊地の水深が不足していることから、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、徳山地区^{とくやま}および新南陽地区^{しんなんよう}において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県周南市



3. 平成26年度 予定事業内容

徳山地区：航路（水深14m）、泊地（水深14m）の測量設計を実施します。

新南陽地区：航路（水深12m）、泊地（水深12m）の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、石炭等のバルク貨物の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として、地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、同港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、同港背後企業から発生する港湾関連車両は、慢性的に混雑している国道2号を利用せざるを得ず、非効率な輸送形態となっています。また、室の木地区から発生する港湾関連車両は、生活道路を通行せざるを得ないことから、周辺的生活環境の改善が課題となっています。

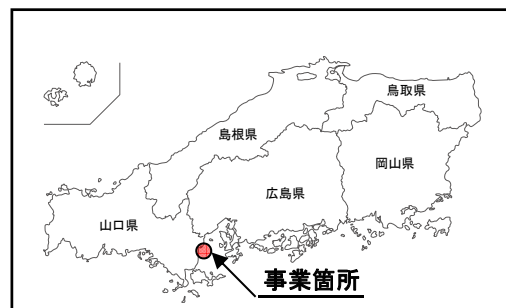
このため、港湾貨物の輸送円滑化を図るため、臨港道路の整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県岩国市

3. 平成26年度 予定事業内容

臨港道路の上部工事、付帯設備工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業より、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化を通じて、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、生活道路を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、生活環境の改善に資することが期待されます。

生活道路を利用する
港湾関連車両

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

三田尻中関港は背後に自動車関連企業が立地しており、活発な企業活動が港湾施設を介して展開されています。しかし、現在、岸壁(水深7.5m)前面の泊地が未完成であることから、輸送船舶の安全かつ効率的な輸送が確保できていない状況にあります。

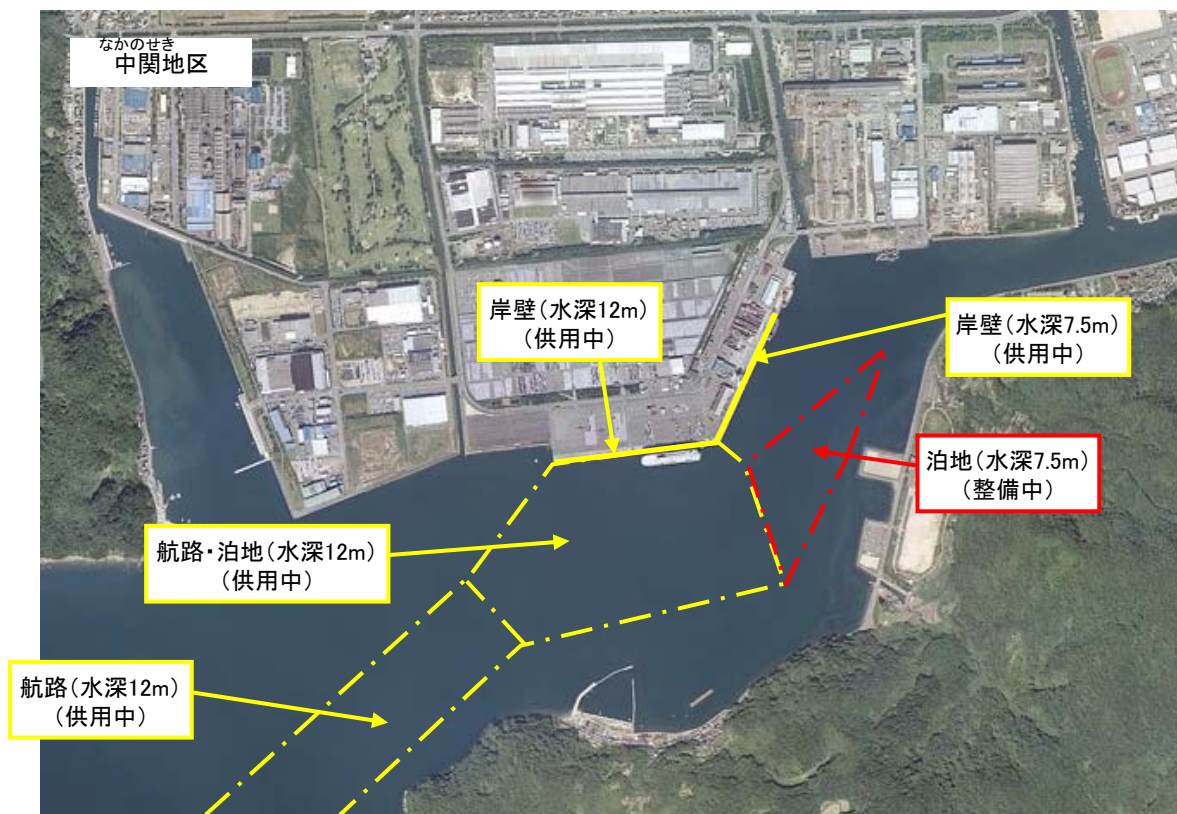
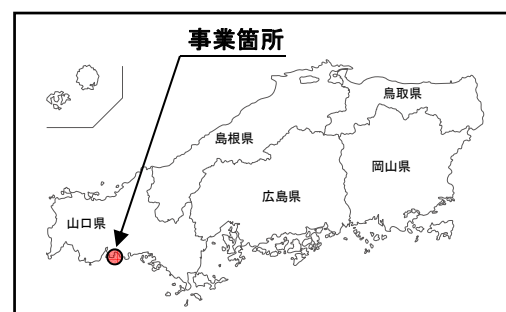
このため、効率的かつ安全な輸送を確保するとともに、背後立地企業の国際競争力強化のために国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県防府市

3. 平成26年度 予定事業内容

泊地(水深7.5m)の浚渫工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、輸送船舶の物流効率化と安全性の確保が図られることにより、地域産業の国際競争力の強化に寄与します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（石炭）に徳山下松港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mでの暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

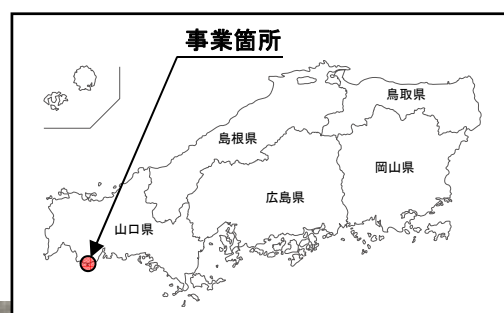
このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県宇部市

3. 平成26年度 予定事業内容

航路（水深13m）の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減され、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

港湾施設の老朽化対策事業

国 : 事業費707百万円
山口県: 事業費330百万円

港-17

【島根県・広島県・山口県】

1. 事業の必要性及び概要

老朽化対策

高度成長期に集中的に整備された港湾施設については、今後一斉に老朽化を迎えることが予測され、これにより、社会資本のライフサイクルコストの増大、老朽化を起因とした事故等による国民への公共サービスの低下などが大きな課題とされています。

このため、老朽化により港湾機能に支障が生じないように、効率的・戦略的な港湾施設の老朽化対策を実施します。

2. 事業箇所

三隅港(島根県浜田市)、呉港(広島県呉市)、岩国港(山口県岩国市)、
三田尻中関港(山口県防府市)、宇部港(山口県宇部市)

3. 平成26年度 予定事業内容

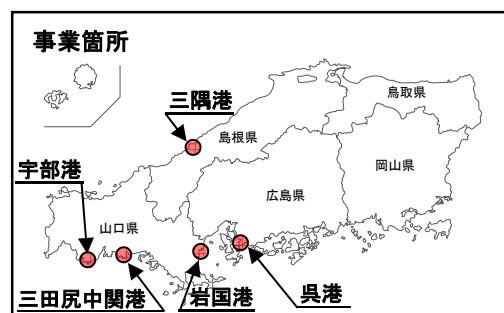
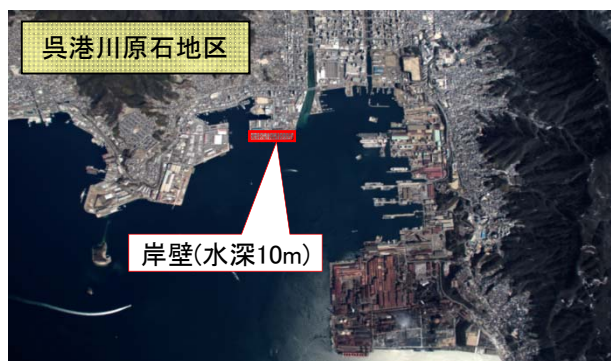
三隅港(直轄事業): 埋没した航路(水深16m)の浚渫工事を実施します。

呉港(直轄事業): 老朽化した岸壁(水深10m)の対策に必要な測量設計を実施します。

岩国港(直轄事業): 老朽化した岸壁(水深10m)の舗装工事を実施します。

三田尻中関港(山口県事業): 老朽化した岸壁(水深7.5m)の本体工事等を実施します。

宇部港(直轄事業): 老朽化した岸壁(水深13m)の舗装工事を実施します。



老朽化しエプロンに亀裂が生じた岸壁



老朽化しエプロンに段差が生じた岸壁

港湾施設の老朽化状況の一例: 呉港川原石地区岸壁(水深10m)

4. 期待される整備効果

本事業により、既設港湾施設の延命化およびライフサイクルコストの低減が図られます。

Ⅲ．社会資本総合整備事業の概要

1．社会資本総合整備事業

◇社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。

◇活力創出、水の安全・安心、市街地整備、地域住宅支援といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備等を総合的・一体的に支援。

◇平成24年度補正予算において、地方公共団体が行う、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組を集中的に支援するため、防災・安全交付金を創設。

2．予算の概要

社会資本総合整備事業関係〔2,566億円(0.97)〕
(再掲)

※「社会資本総合整備事業」は、「社会資本整備総合交付金」、「防災・安全交付金」をいう。

社会資本総合整備事業については、地方公共団体等が作成した社会資本総合整備計画に基づき、同計画の目標を実現するための事業に対し、地方公共団体の要望を踏まえ、下記の方針のとおり所要額を配分します。

1．社会資本整備総合交付金

経済・地域の活性化を推進する観点から、都市・地域の競争力を強化する成長基盤の整備、都市機能の街なかへの集約化・集住による都市構造の再構築や多様な世代が交流し、安心して健康に暮らせる住環境の実現、観光振興の取組の強化など、PPP/PFIの活用等により官民の多様な関係者が連携して取り組む、あるいは民間投資を喚起する総合的な整備計画に対して重点配分を行います。

2．防災・安全交付金

国土強靱化等の取組により国民の安全・安心の確保を推進する観点から、大規模地震・津波や頻発する風水害・土砂災害に対する総合的な事前防災・減災対策、総点検を踏まえたインフラ長寿命化計画の推進など総合的な老朽化対策等を緊急に進める総合的な整備計画に対して重点配分を行います。

その際、以下の整備計画への配分に特に配慮します。

- 各事業の重点配分の対象事業を総合的に組み合わせて以下のイメージのように横串・大括り化した整備計画
 - ・ 防災・減災に関する総合的な計画に基づき、広域的かつ関係機関が共同して分野横断的に、ハード・ソフト事業に取り組む整備計画
 - ・ インフラ長寿命化基本計画の考え方に則って、地方公共団体の区域内のインフラを総点検した上で、地方公共団体等が策定した長寿命化計画に基づいて取り組む整備計画
- 効果促進事業を効果的に組み合わせて効率的に目標を達成する創意工夫がなされている整備計画

■都道府県・政令市が管理する道路の平成26年度供用予定事業
【改築事業】

防災・安全交付金

事業主体	事業実施箇所	事業名	延長 (km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画	
				計画名	配分国費 [百万円]
鳥取県	鳥取市	(一) 国安桂木線 橋本工区	1.0	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,852
鳥取県	江府町	(国) 482号 江尾工区	0.2	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,852
鳥取県	岩美町	(主) 鳥取国府岩美線 十王峠工区	1.7	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,852
島根県	美郷町	(国) 375号 湯抱バイパス	3.6	災害に強く、安全安心な暮らしを守る道路整備(防災・安全)	7,091
広島県	北広島町	(国) 433号 川戸拡幅2工区	0.7	広島県における安全・安心な道づくり	4,564
広島県	福山市	(主) 神辺水呑線(Ⅰ期)	1.2	広島県における安全・安心な道づくり	4,564
広島県	尾道市	(一) 長江線	0.8	広島県における安全・安心な道づくり	4,564
山口県	柳井市	(主) 柳井上関線 伊保庄工区	1.2	子どもたちが安心して通学でき、未来につながるやまぐちのみちづくり	948
山口県	宇部市	(主) 宇部美祢線 平栗工区	1.7	子どもたちが安心して通学でき、未来につながるやまぐちのみちづくり	948
山口県	下関市	(国) 491号 一ノ俣拡幅	0.4	だれもが安心して快適に通行できる交通環境を目指したやまぐちのみちづくり	3,193
山口県	下関市	(主) 豊浦清未線 阿内中組工区	0.7	だれもが安心して快適に通行できる交通環境を目指したやまぐちのみちづくり	3,193
山口県	下関市	(一) 下関川棚線 吉見工区	1.3	だれもが安心して快適に通行できる交通環境を目指したやまぐちのみちづくり	3,193

社会資本整備総合交付金

事業主体	事業実施箇所	事業名	延長 (km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画	
				計画名	配分国費 [百万円]
鳥取県	鳥取市	(主) 郡家鹿野気高線 岡木工区	1.3	高速道路ICへのアクセス向上による地域活性化支援	454
鳥取県	八頭町	(一) 大坪隼停車場線 大坪工区	1.0	交通の円滑化による地域活性化支援	1,277
鳥取県	江府町	(国) 482号 助沢工区	0.2	交通の円滑化による地域活性化支援	1,277
鳥取県	鳥取市	(主) 鳥取河原線 菫蒲工区	1.1	交通の円滑化による地域活性化支援	1,277
鳥取県	日野町～伯耆町	(主) 日野溝口線 矢倉峠Ⅱ期工区	1.3	交通の円滑化による地域活性化支援	1,277
鳥取県	日南町	(主) 阿毘縁菅沢線 吉鈺工区	0.3	交通の円滑化による地域活性化支援	1,277
島根県	浜田市	(一) 熱田インター線 熱田工区	1.1	産業活動を支えるIC等の重要交通拠点へアクセスする道路の整備	2,128
岡山県	浅口市	南浦金光線(金光IC以西)	0.9	晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現	1,275
岡山県	浅口市	南浦金光線(金光IC以东)	1.7	晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現	1,275
岡山県	高梁市	(一) 宇戸谷高梁線 玉川橋	0.6	晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現	1,275
広島県	竹原市～東広島市	(国) 432号 大仙バイパス	1.1	高速道路IC等へのアクセス向上による新たな経済成長	1,233
広島県	福山市	(主) 加茂油木線 東免工区	0.6	広島都市圏及び備後都市圏の中枢拠点機能向上と周辺地域の魅力ある地域づくりの支援	910
山口県	防府市	(一) 中ノ関港線 植松～大崎工区	1.3	高速交通拠点や物流拠点へのアクセス向上による、やまぐちの産業力・観光力の強化を図るみちづくり	679
山口県	上関町	(主) 光上関線 蒲井工区	0.8	新たな活力を創造し、安全で快適なやまぐちのみちづくり	1,050
山口県	上関町	(主) 光上関線 赤石工区	0.2	新たな活力を創造し、安全で快適なやまぐちのみちづくり	1,050
広島市	広島市	広島新交通1号線外1路線(白島新駅)	0.2	「行きよい」都心づくりのための交通環境の整備・充実(活力創出基盤)	988
広島市	広島市	新白島駅連絡線(国道横断部)	0.1	「行きよい」都心づくりのための交通環境の整備・充実(活力創出基盤)	988

社会資本総合整備事業(鳥取県)

交-1

事業費32,833百万円

(社会資本整備総合交付金11,258百万円、防災・安全交付金21,575百万円)

●社会資本整備総合交付金(主要事業)

○鳥取県における流域一体となった総合的な水域の安全・安心対策の推進

【鳥取県及び8市町村】 計画期間:H22～H26

地球温暖化に伴う集中豪雨の多発、海面上昇、都市化の進展による被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な水域の対策を実施することにより、災害に強い地域を作るとともに、良好な水質環境を保持した安心安全な市民生活の確保を図ることを目標とした河川事業、海岸事業、下水道事業を行います。

○山陰海岸ジオパーク圏域広域観光活性化計画

【鳥取県(兵庫県と連携)】 計画期間:H25～H29

H22年10月に世界ジオパークネットワークに加盟した“山陰海岸ジオパーク”圏域において、鳥取・兵庫に分布する観光地間のアクセスを強化するとともに、ジオパークを広く宣伝するためのラッピング列車の運行やジオパーク旅行商品の企画によるジオツーリズムの推進、ジオパークの魅力を実際に歩いて体感してもらう自然歩道の整備、ジオパークの文化的資産を資料や映像で紹介する山陰海岸学習館の拡充等によって山陰海岸ジオパークの魅力を高め、周遊観光を促進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ります。

○鳥取県社会資本総合整備計画(地域住宅計画Ⅱ期)

【鳥取県】 計画期間:H23～H27

1. 事業の必要性及び概要

「真の住宅困窮者の居住の安定のための住宅セーフティーネットの構築」「安全・安心・快適な住まいづくり、まちづくりの実現」「地域と地場産業の活性化のため、県産材の活用など地域に根ざした住まいづくりの推進」を目標とした住宅事業を行います。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●県営住宅の建替(木造低層化)



【建替前】



【建替後(イメージ)】

●防災・安全交付金(主要事業)

○鳥取県における流域一体となった総合的な水域の安全・安心対策の推進(防災・安全)

【鳥取県及び15市町及び境港管理組合】 計画期間:H22～H26

地球温暖化に伴う集中豪雨の多発、海面上昇、都市化の進展による被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な水域の対策を実施することにより、災害に強い地域を作るとともに、良好な水質環境を保持した安心安全な市民生活の確保を図ります。

○安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出

【鳥取県及び19市町】 計画期間:H23～H27

鳥取県は、平成12年鳥取県西部地震以降、安全で安心できる生活空間の整備を求められており、橋梁の老朽化に対応した長寿命化や耐震化の他、貴見箇所の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、安全で安心できる生活空間を創出します。

○鳥取県管理港湾及び境港における物流機能向上・施設の長寿命化による安全・安心な港湾環境の創出(防災・安全)

【鳥取県及び境港管理組合】 計画期間:H22～H26

鳥取自動車道や山陰道(H20年代開通予定)、米子自動車道等の高速道路網に近接する鳥取県管理港湾(鳥取港・田後港・米子港)及び境港は海陸交通の結節点であり、物流拠点としての役割が今まで以上に期待される場所です。また境港においては境港―東海(韓国)―ウラジオストク(ロシア)を結ぶ日本唯一の国際定期貨客船が就航しており、物・人ともに北東アジアのゲートウェイとして重要な役割を担っています。

物流機能の向上及び安全・安心な港湾環境の創出により、港湾のさらなる活性化を図ります。

○道路施設の適確な維持管理の推進

【鳥取県及び智頭町】 計画期間:H22～H26

1. 事業の必要性及び概要

道路ストックの総点検として、道路施設の落下、倒壊等による第三者被害の防止の観点から早急な点検を実施します。また、点検の結果を踏まえ対策が必要とされたトンネル等について早急に修繕事業を実施します。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●適確な維持管理により、施設の安全性と信頼性を確保するとともに施設の長寿命化を図る。



社会資本総合整備事業(島根県)

交-2

事業費47,954百万円

(社会資本整備総合交付金15,183百万円、防災・安全交付金32,771百万円)

●社会資本整備総合交付金(主要事業)

○江津駅前のにぎわいの再生

【島根県及び江津市】 計画期間:H24~H28

中心市街地である江津駅前周辺は、鉄道の敷設とともに発展してきたが、近年ではJR江津駅利用者の減少、空き店舗の発生や大型店舗の撤去等により商業機能が低下し、大規模低未利用地や居住人口の減少などの問題を抱えている。また、周辺道路の未整備もあり、地域住民や来訪者の回遊性に乏しく、賑わいが失われつつあります。

このことから、地区内の道路や広場等を整備することにより、町中の利便性と回遊性を向上させるとともに、都市福利施設の移転集約を図り、あらゆる人が訪れ、交流できる賑わい空間を実現させていきます。

○第2期島根県住宅・住環境整備計画(地域住宅計画 第2期島根県地域)

【島根県及び19市町村】 計画期間:H24~H28

品質・性能の高い住宅づくり、地域の実情に応じた居住環境づくり、効果的な住宅セーフティーネットづくり、安全で快適な居住環境づくりを目標とした住宅事業を行います。

○尾道松江線沿線地域における観光ブランド力向上にむけた広域観光活性化計画

【島根県(広島県と連携)】 計画期間:H25~H29

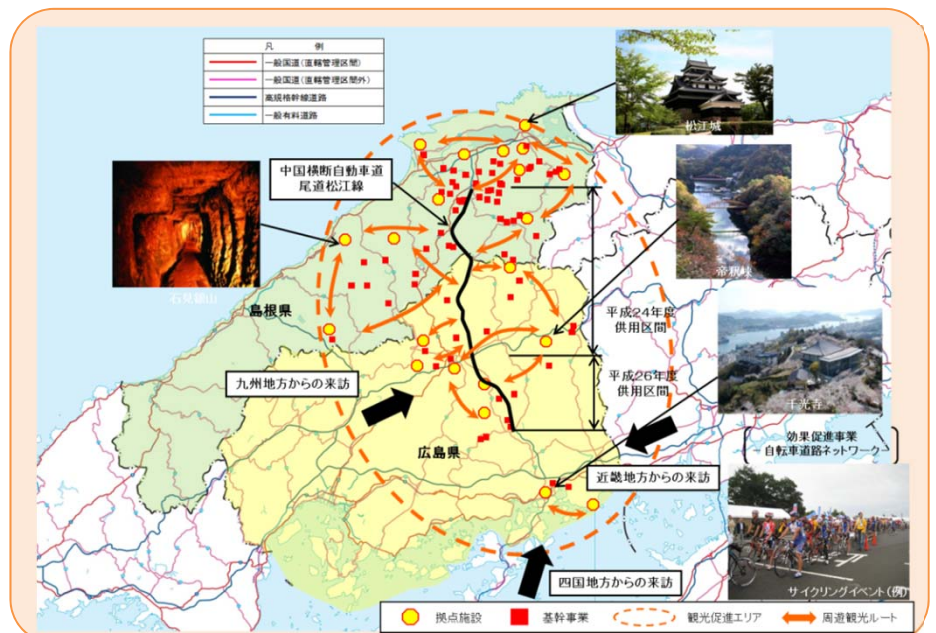
1. 事業の必要性及び概要

「風光明媚な鞆の浦」、「世界遺産の石見銀山」、「尾道市周辺の神社仏閣」といった歴史的資産など多くの観光施設を有する広島県と島根県が連携し、広域的な周遊観光ルートを形成することにより、広く地域外からの来訪者の増加を図り地域の活性化に寄与します。

このため、観光地周辺の道路を整備し尾道松江線沿線地域における観光ブランド力向上を図ります。

2. 事業内容(代表事業箇所)

○尾道松江線のインターチェンジと観光文化資源をつなぐ交通ネットワークの強化や観光地周辺の環境整備



●防災・安全交付金(主要事業)

○島根県内各都市における生活空間の安全確保に向けた整備

【島根県及び出雲市】 計画期間：H24～H28

島根県内各都市における市街地部にて、歩行者や自転車等が安全かつ快適に通行できる通学路等の街路空間を創出し、児童や高齢者等も安心して移動できるまちづくりを推進します。

○地域活性化を図るみなと整備(防災・安全)

【島根県及び7市町村】 計画期間：H22～H26

港湾へのアクセス道路の整備、旅客船岸壁の改良、港湾環境の整備と、緊急物資輸送拠点港の岸壁整備、防災緑地整備を併せて行うことにより、港湾利用者の利便性及び安全性の向上を図ります。

○総合的な水の安全・安心基盤整備

【島根県及び隠岐の島町】 計画期間：H22～H26

総合的な水の安全・安心基盤整備を実施することにより、清らかで親しみやすい水環境の創造と、災害に強い地域を作り、安全・安心で快適な生活の確保を図ります。

○島根県における下水道事業の推進(防災・安全)

【島根県及び8市町】 計画期間：H22～H26

1. 事業の必要性及び概要

下水道未普及地域の解消により、快適な生活環境の創出と良好な水環境の保全を図るとともに、浸水対策の推進により安全・安心な地域の形成を目指します。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●老朽化した下水道設備の更新



【島根県宍道湖東部浄化センター全景】



(汚泥掻き寄せ機)

【経年劣化にともなう腐食状況】

社会資本総合整備事業(岡山県)

交-3

事業費43,760百万円

(社会資本整備総合交付金17,473百万円、防災・安全交付金26,287百万円)

●社会資本整備総合交付金(主要事業)

○岡山県の安全・安心で快適なまちづくりを目指した街路整備

【岡山県及び3市】 計画期間:H22~H26

人と物のスムーズな移動による快適生活県の向上を図るため、渋滞を解消し、交通流を円滑化することにより、安全・安心で快適に移動できる道路空間を創出します。

○岡山県地域住宅等整備計画

【岡山県】 計画期間:H23~H27

「快適生活県おかやま」の実現のため、高齢者等県民すべての「安全・安心」と「子育て支援」を重点的に推進し、岡山県の地域特性を生かした快適な住生活の確保を目指します。

○庭園都市おかやま水環境整備計画

【岡山市】 計画期間:H22~H26

1. 事業の必要性及び概要

下水道の整備により、公衆衛生を向上させ快適な生活環境を創出し、旭川等の河川や児島湖及び児島湾の水質保全に寄与し、水と緑が魅せる心豊かな庭園都市の創造を目指します。

2. 事業内容(代表事業箇所)

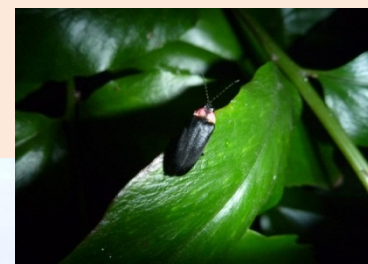
●下水道整備による水質改善



【岡山駅周辺】



【能登川用水路】



【水質の改善によりホタルが生息】

●防災・安全交付金(主要事業)

○岡山県の暮らしの安心・地域活性化を目指した街路整備(防災・安全)

【岡山県及び3市】 計画期間:H24～H28

通学路や自動車道の整備により生活空間の安全を確保するとともに、緊急輸送道路の整備によりインフラを再構築することで、暮らしとの安心と地域活性化を実現します。

○岡山県南における総合的な港湾海岸の高潮対策の推進

【岡山県】 計画期間:H22～H26

平成16年に既往最高潮位を記録した台風16号や23号などにより浸水被害が発生した海岸において、高潮対策事業及び老朽化対策緊急事業を実施し、県民の安全安心を確保します。

○岡山県全体における水の安全安心基盤の確保に向けた地域づくり(防災・安全)

【岡山県及び岡山市及び総社市】 計画期間:H22～H26

集中豪雨の多発に伴う被害リスクの増大に対し、浸水対策を実施することにより、水害に強い県土づくりを推進し、安心安全な市民生活の確保を図ります。

○岡山県地域住宅等整備計画(防災・安全)

【岡山県】 計画期間:H23～H27

1. 事業の必要性及び概要

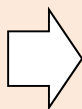
「快適生活県おかやま」の実現のため、高齢者等県民すべての「安全・安心」と「子育て支援」を重点的に推進し、岡山県の地域特性を生かした快適な住生活の確保を目指します。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●老朽化した公営住宅の建替



【建替前】



【建替後】

社会資本総合整備事業(広島県)

交-4

事業費70,541百万円

(社会資本整備総合交付金31,576百万円、防災・安全交付金38,966百万円)

●社会資本整備総合交付金(主要事業)

○広島県における流域下水道事業の推進

【広島県】 計画期間:H22~H26

太田川、芦田川及び沼田川は、それぞれ本県を代表する河川であり、生活用水をはじめ、工業用水、農業用水として重要な水源となっています。また、瀬戸内海も本県の経済を支えるとともに、日本初の国立公園に指定されるなど県民の貴重な憩いの場になっています。一方、各河川の流域は、近年都市化の伸展がめざましく、公共用水域の汚濁が進行している状況にあります。

このため、太田川、芦田川及び沼田川の各流域下水道事業により、広域的な下水道整備のスケールメリットを働かせ、健全な水環境の回復を図ります。

○広島駅南口地区の再生とにぎわいの創出

【広島市】 計画期間:H23~H27

広島駅南口B・Cブロック地区は、本市の交通結節点として重要な位置にありながら、老朽建築物が密集して有効な土地利用がなされていない状況にあります。そこで、本地区において市街地再開発事業を施行し、建築物の不燃化と土地の高度利用を推進して都市機能を更新するとともに、商業機能の集積及び都心居住の推進を図り、広島市の陸の玄関にふさわしい地区に再生します。

また、地区の再生とあわせて歩行者空間を整備し、回遊性の向上とにぎわいの創出を図ります。

○高速道路IC等へのアクセス向上による新たな経済成長

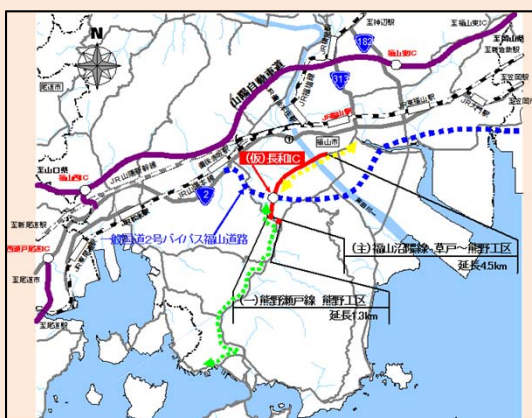
【広島県及び7市町】 計画期間:H25~H29

1. 事業の必要性及び概要

本県道路の強みである平成20年代半ばに完成する県境を越える井桁状の高速道路ネットワークの整備に合わせ、県内各地域から高速道路IC等へのアクセス道路を整備することで、高速道路等の利便性の向上や行動範囲の更なる拡大による物流基盤・観光基盤の強化を図り、新たな経済成長を目指します。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●高速道路IC等へのアクセス道路整備



●防災・安全交付金(主要事業)

○広島県域における県土一体となった総合的な土砂災害防止対策の推進

【広島県】 計画期間：H22～H26

最も土砂災害危険区域が多いわが県では、ハード対策の推進を図るとともに、警戒避難体制整備や特定開発行為等のソフト対策を併せた土砂災害防止対策を積極的に行う事により、近年多発する豪雨に対して安全で安心な県土を築きます。

○広島県の港湾施設における住民や観光客の利便性・安全性の向上(防災・安全)

【広島県及び2市】 計画期間：H22～H26

広島県の港湾施設について、防波堤、臨港道路、浮棧橋等の整備、改良、修繕等を一体的に実施し、住民や観光客の利便性及び安全性の向上を図ります。

○広島県における安全・安心な道づくり

【広島県及び20市町】 計画期間：H25～H29

1. 事業の必要性及び概要

地震や頻発する風水害・土砂災害に対する防災・減災対策及び道路ストックの点検・老朽化対策の実施と、通学路の交通安全事業及び無電柱化事業の推進を図り、道路利用者にとって安全・安心な道づくりを目指します。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●防災・減災対策の実施等



【落石発生状況】

社会資本総合整備事業(山口県)

交-5

事業費61,533百万円

(社会資本整備総合交付金22,898百万円、防災・安全交付金38,635百万円)

●社会資本整備総合交付金(主要事業)

○高速交通拠点や物流拠点へのアクセス向上による、やまぐちの産業力・観光力の強化を図るみちづくり

【山口県】 計画期間:H25～H29

山陽自動車道・中国自動車道のインターチェンジや岩国錦帯橋空港等の高速交通拠点及び港湾等の物流拠点へのアクセス道路を整備することで、瀬戸内の基幹産業の強化や観光産業の振興を図ります。

○山口県における「産業力・観光力」の強化に資するみなとづくり

【山口県】 計画期間:H25～H29

国内物流ターミナル等の整備により、内貿貨物の集約による物流コスト削減や地域の活性化を図り、山口県の産業力・観光力の強化を目指します。

小型船溜まりの整備により、小型船の集約による物流の効率化を図り、山口県の産業力の強化を目指します。

○新山口駅周辺における機能的な都市基盤が整い、発展していくまち

【山口市】 計画期間:H22～H26

1. 事業の必要性及び概要

新山口駅周辺は、山口県のほぼ中央に位置する交通の要衝、陸の玄関として、新山口駅の駅南地区を中心に広域的なエリアを管轄する事業所やホテル等の集積が進み、経済・産業部門における広域的な拠点性を高めています。

駅前広場をはじめとした都市基盤の整備を行うことにより、「山口らしさ」を考慮した市及び県の玄関としてふさわしい都市空間を創出するとともに、周辺地域の回遊性、交流に配慮した整備を行い、利用者の利便性やにぎわいの向上を図ります。

2. 事業内容(代表事業箇所)



【整備前】



新山口駅完成イメージ

●防災・安全交付金(主要事業)

○子どもたちが安心して通学でき、未来につながるやまぐちのみちづくり

【山口県】 計画期間：H25～H29

通学路における緊急合同点検の対策箇所について、歩道の整備、交差点改良を行い、子供たちが安心して通学できる通学路の整備を進めます。

○山口県における総合的な水の安全・安心基盤整備の推進(防災・安全)

【山口県及び17市町】 計画期間：H25～H29

平成21年7月中国・九州北部豪雨や平成25年7月豪雨などにより近年浸水被害や土砂災害が各地で多発している現状を踏まえ、県下一円でハード整備とソフト対策を一体的に推進することにより、県民の生命と財産を守り、県土の保全と活用を図ります。

○安全で安心して暮らせるためのやまぐち下水道長寿命化対策の推進

【山口県】 計画期間：H25～H29

1. 事業の必要性及び概要

流域下水道浄化センター設備の老朽化による機能停止を未然に防ぎ、快適な生活環境の保持を図ります。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●朽化した下水道設備の更新



【山口県周南流域浄化センター全景】



【経年劣化にともなう腐食状況】